

IBM ThinkPad 380Z
ユーザーズ・リファレンス

IBM

IBM ThinkPad 380Z
ユーザーズ・リファレンス

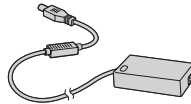
注

本書がサポートする製品をご使用になる前に、xiiページの『安全に正しくお使いいただくために』、155ページの付録B、『取り扱い上のヒント』、および157ページの付録C、『特記事項』を必ずお読みください。

AC アダプターについて

ThinkPad の AC アダプターは、日本国内での使用を前提として、次の規格に適合しています。

- 定格：
 - 入力: AC 100V 50/60Hz
 - 出力: DC 16V
- 型式認可番号：
第 91 - 56011 号 または 第 91 - 56055 号

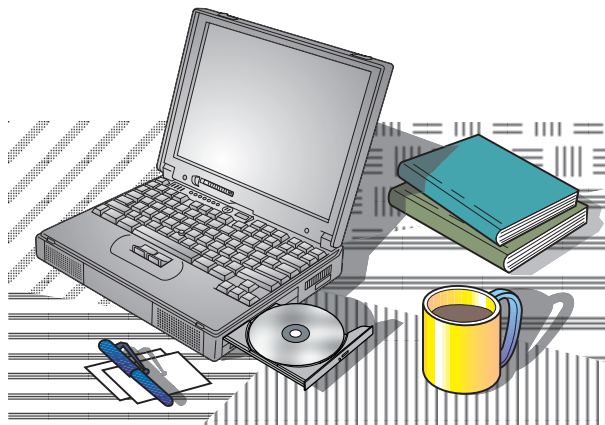


第 1 版 (1998 年 8 月)

原典	27L2662 IBM ThinkPad 380Z User's Reference
発行	日本アイ・ビー・エム株式会社
担当	ナショナル・ランゲージ・サポート

**このたびはIBM ThinkPad 380Z を
お買い上げいただき、
ありがとうございます**

ThinkPad 380Z は
お客様の技術的要件と高い信頼にお応えできるよう開発されました。
モバイル・コンピューターのニーズにしっかりと取り組んだ製品を
今後も作り続けるため、
セットアップ・ガイドを参照して、IBM にお客様登録をしていただくよう
お願いいたします。



機能の特徴

IBM ThinkPad の世界へようこそ!

高い機能をもつこのオールインワン・ノートブック・コンピューターには、お客様のコンピューター環境を、より豊かで楽しいものにする数々の先進技術と使いやすい機能が装備されています。これらの機能のいくつかを次で紹介いたします。紹介されている機能の詳細とその他の機能については、本書の該当する章を参照してください。

高速プロセッサ

Intel® 高速プロセッサ搭載により、高速データ処理が可能になり、パフォーマンスが向上しました。

大容量のハードディスク・ドライブ

大容量ハードディスク・ドライブは、増加するデータにも充分に対応できます。このハードディスク・ドライブは、オプションでアップグレードすることができます。

大型カラー液晶ディスプレイ

大型の 13.3 インチ TFT (Thin-Film Transistor) 液晶ディスプレイは、鮮明でクリアな文字とグラフィックスを表示できます。

拡張 CD-ROM ドライブ

データ読み取り速度が 10~24 倍速の拡張 CD-ROM ドライブが、コンピューターのマルチメディア機能を高めます。

リチウム・イオン・バッテリー・パック

大容量のリチウム・イオン・バッテリー・パックにより、ThinkPad を長時間携帯して使用できます。

オーディオ機能

ThinkPad には、オーディオ機能が内蔵されており、サウンドの録音および再生が可能です。再生機能では、2 つの高品質ステレオ・スピーカーと 1 つのサブウーファーから成る 3 つのスピーカーによって、3D サウンドをお楽しみいただけます。さらに、ThinkPad では、DOS サウンド・ブラスター Pro ゲームもサポートしています。

オーディオ機能の使用法 ➡ ステップ・アップ・ガイド。

PC カード・サポート

ThinkPad には、16 ビット PC カード、CardBus カードおよび ZV (Zoomed Video) カードを取り付けられる 2 つの PC カード用スロットが装備されています。

PC カードの取り付け方法 → 64ページの『PC カードの取り付け』

通信

PC カードのモデムを使用すると、効率的なデータ通信および FAX 通信が可能になります。ThinkPad の赤外線通信機能を使えば、もう 1 台の赤外線ポートを装備した ThinkPad や他のシステムと、ワイヤレスでデータ交換をすることができます。

目次

機能の特徴	iv
本書について	x
安全に正しくお使いいただくために	xii
絵表示について	xii
危険/注意ラベルの表示について	xii
レーザーに関する承諾事項	xv
第1章 ご使用の ThinkPad について	1
各部の機能と名称	2
システム状況インディケータ	7
ThinkPad の機能	10
キーボードの機能	10
CD-ROM ドライブ	17
ThinkPad ユーティリティ・プログラム	20
システムのバックアップ	33
導入済みアプリケーション CD	33
Product Recovery CD-ROM	33
ディスケット・ファクトリー	33
ConfigSafe	34
最新のソフトウェアの入手方法	34
バッテリー・パックの交換	35
第2章 ThinkPad のカスタマイズ	39
トラックポイントのカスタマイズ	40
メモリーの増設	43
DIMM の取り付け	44
DIMM の取り外し方法	47
ハードディスク・ドライブのアップグレード	49
マウス、数値キーパッド、および外付けキーボードの接続	54
マウスまたは数値キーパッドの接続	54
外付けキーボードとマウスの接続	56
トラックポイントの使用不可	58

外付けディスプレイの接続	59
PC カードの取り付け	64
PC カードの取り外し	67
PC カード・モデム (オプション) の取り付け	68
ポート・リプリケーターの使用	70
CardBus スロットを使用可能にするには (Windows 98 の場合)	72
第3章 システムの保護	73
パスワードの使用	74
パスワードの入力	76
パスワードの設定	76
パスワードの変更または消去	80
パーソナライゼーション・エディターの使用	86
パーソナル・データの入力	86
パーソナル・データの削除	89
ロック機能の使用	90
セキュリティねじの使用	91
第4章 問題が起こったら...	93
よく聞かれる質問とその答え	94
考慮事項および制限事項	103
省電力機能の使用	107
PC カードの使用	108
USB コネクタに関する考慮事項	108
CardWizard に関する考慮事項	109
2 枚目の CardBus カードの使用	109
マイクロホンの使用	109
問題判別ガイド	111
問題判別表	112
エラー・コードまたは画面上のメッセージ	113
エラー・コードまたは画面上のメッセージで表示されない問題	119
入力装置の問題	120
サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードの問題	121
液晶ディスプレイ (LCD) の問題	124
インディケータの問題	125
バッテリーの問題	125
CD-ROM ドライブの問題	126

赤外線通信の問題	127
汎用シリアル・バス (USB) の問題	128
PC カードの問題	128
プリンターの問題	133
外付けディスプレイの問題	134
ポート・リプリケーターの問題	137
その他のオプションの問題	139
ソフトウェアの問題	141
その他の問題	142
ThinkPad のテスト	143
削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復	145
リカバリー CD の使用	145
導入済みアプリケーション CD の使用	145
第5章 サービス体制	147
お使いの ThinkPad に関する情報	148
オプション・リスト	148
ID 番号の記録	148
問題記録用紙	149
付録A. 製品仕様	151
機能	151
仕様	153
付録B. 取り扱い上のヒント	155
付録C. 特記事項	157
西暦 2000 年対応および説明	157
商標	158
用語集	161
索引	165

本書について

本書には、IBM ThinkPad 380Z を操作するのに役立つ情報が記載されています。ThinkPad を実際に使用する前に、*セットアップ・ガイド*と本書の第 1 章を必ずお読みください。

- 第 1 章『ご使用の **ThinkPad** について』では、ThinkPad の基本機能を紹介します。
- 第 2 章『**ThinkPad** のカスタマイズ』では、オプションの取り付け方法およびトラックポイントの使用法について説明します。
- 第 3 章『システムの保護』では、パスワードの使用、パーソナライゼーション機能、およびロックの使用について説明します。
- 第 4 章『問題が起こったら』では、ThinkPad に問題が起こった場合の対処方法について説明します。また、問題判別ガイドと、削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復方法についての説明が記載されています。
- 第 5 章『サービス体制』では、IBM のサポートおよびサービスの各種オプションについて説明します。
- 付録 A.『製品仕様』では、ThinkPad に関する機能と仕様について説明します。
- 付録 B.『取り扱い上のヒント』では、ThinkPad を使用するとき知っておく必要のある事柄について説明します。

『用語集』では、本書で使用する用語を定義します。また、本書の最後には『索引』が付いています。

— 本書で使われるアイコン —

次は、ThinkPad で使用する各オペレーティング・システムに固有の手順や説明を表すためのものです。



Microsoft® Windows 98®
に関する情報



IBM Operating System/2®
(OS/2)® に関する情報



Microsoft® Windows 95®
に関する情報



IBM PC/DOS に関する情報



Microsoft® Windows
NT® に関する情報





Microsoft® Windows
3.1® に関する情報

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書には、本製品を安全に正しくご使用いただくための安全表示が記述されています。この取扱説明書を保管して、必要に応じて参照してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への安全表示については、製品を正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

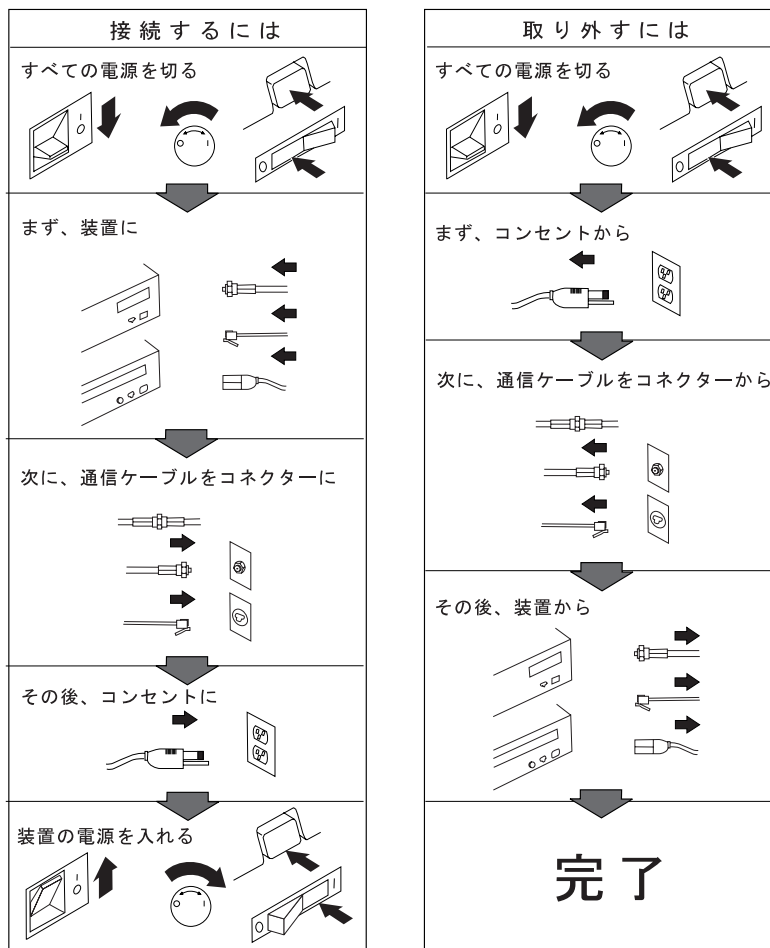
危険/注意ラベルの表示について

この製品の外部または内部に黄色地に黒文字で表示されているラベルがある場合は、安全上に関しての、危険または注意ラベルです。必ず表示の指示に従ってください。

この取扱説明書に記述されている内容以外に、危険または注意ラベルによる表示がある場合は (たとえば製品上)、必ずそのラベルの表示による指示に従ってください。

⚠危険

- 電源コードは、正しく設置された電源コンセントに接続してください。
- 電源コードは、電話ケーブル、および通信ケーブルには危険な電流が流れています。感電を防止するために、コンピューターまたは接続装置を設置または移動するとき、またはカバーを開ける際には、下記の手順でケーブルの接続および取り外しを行ってください。



電話ケーブル、通信ケーブルまたはテレビのアンテナ線を接続する製品は、雷の発生時にはケーブルの接続および取り外しをしないでください。

⚠ 危険

充電式バッテリー・パックを分解、焼却、ショートさせないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に液晶ディスプレイを捨てないでください。液晶ディスプレイの廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

⚠ 危険

リチウム・バッテリー (IBM P/N 02K6498 UL - 認定済みコンポーネント・ファイル No.MH12210) は、IBM 代理店または IBM 特約店でのみお求めになれます。これには、リチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、および廃棄が原因で爆発する危険性があります。バッテリーを水に浸したり、**100°C**以上に熱したり、修理や分解をしないでください。液晶ディスプレイの廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

⚠ 注意

液晶ディスプレイ (LCD) 内の蛍光灯の中には水銀が含まれています。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に **LCD** を捨てないでください。**LCD** の廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

LCD はガラス製なので、**ThinkPad** を乱暴に扱ったり落としたりすると壊れることがあります。**LCD** が壊れて内部の液体が目に入ったり、手についた場合は、すぐに水で **15** 分以上洗ってください。その後、何らかの症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。

レーザーに関する承諾事項

IBM ThinkPad 380Z に装備されている CD-ROM ドライブはレーザーを使用しています。次に示す CD-ROM ドライブの分類ラベルが、ドライブの表面に貼られています。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1
LUOKAN 1 LASERLAITE
APPAREIL A LASER DE CLASSE 1
KLASS 1 LASER APPARAT

このドライブは EN60825 の要件に準拠していると認定されています。

危険

CD-ROM を分解しないでください。**CD-ROM** 内部にはお客様による調節の必要な部品はありません。

本書で指定された内容以外の、お客様による整備、調整、または手順を行った場合、レーザーの放射および露出の危険があります。

Class I (1) のレーザー製品は危険物とみなされていません。この CD-ROM ドライブには、760~810 ナノメートルの波長で作動する Class I (1) の 0.5 ミリワットの aluminum gallium-arsenide レーザーが入っています。このレーザー・システムおよび CD-ROM ドライブの設計は、通常の操作、保守を維持する限り、Class I (1) レベルを越えるレーザー放射は起こらないことを保証しています。

第1章

ご使用の ThinkPad について

本章では、ThinkPad の基本的な情報について説明します。

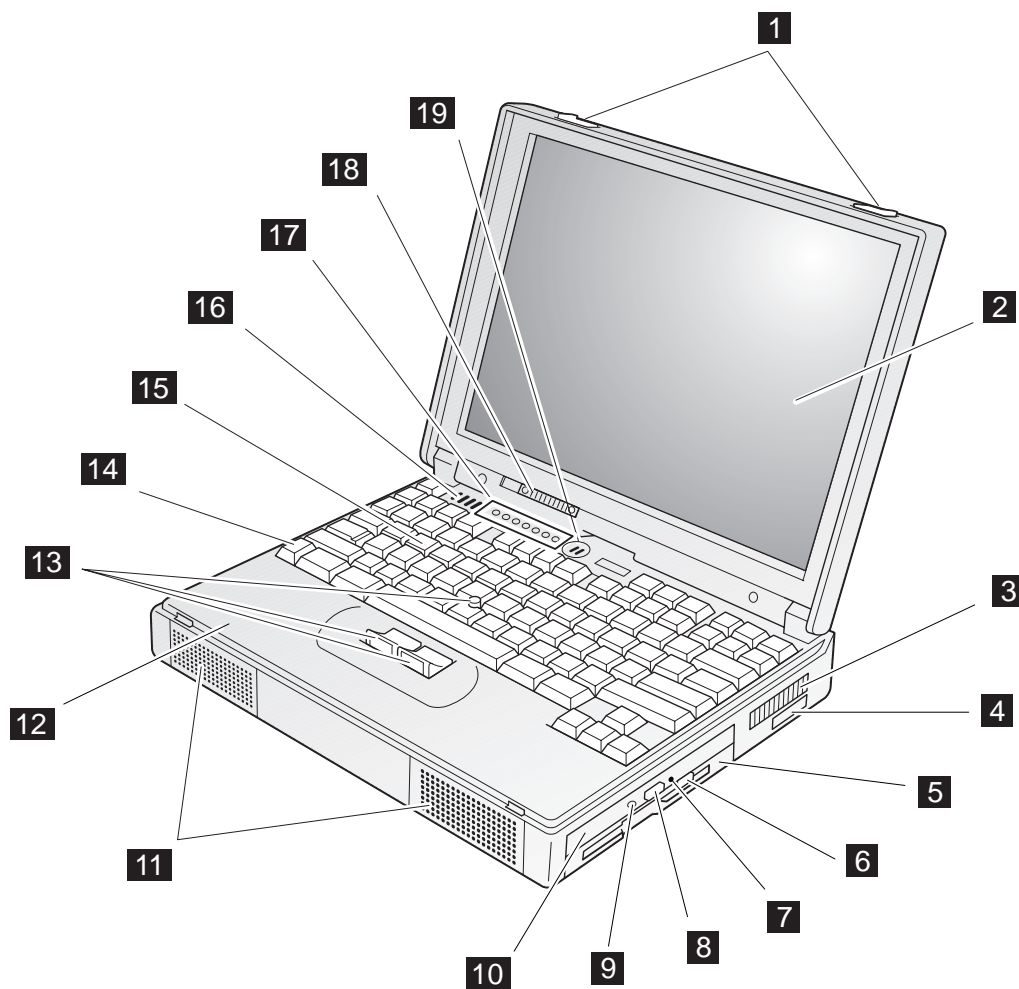
注

ThinkPad の電源をオフにした場合は、再度電源を入れるまでに 5 秒以上お待ちください。また、ThinkPad をサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードにした場合も、5 秒以上待ってから通常の操作状態に戻してください。

各部の機能と名称	2
システム状況インディケータ	7
ThinkPad の機能	10
キーボードの機能	10
トラックポイント	10
Fn キー機能	13
数値キーパッド	16
CD-ROM ドライブ	17
ThinkPad ユーティリティ・プログラム	20
Easy-Setup	20
ThinkPad 機能設定プログラム	29
システムのバックアップ	33
導入済みアプリケーション CD	33
Product Recovery CD-ROM	33
ディスクレット・ファクトリー	33
ConfigSafe	34
最新のソフトウェアの入手方法	34
バッテリー・パックの交換	35

各部の機能と名称

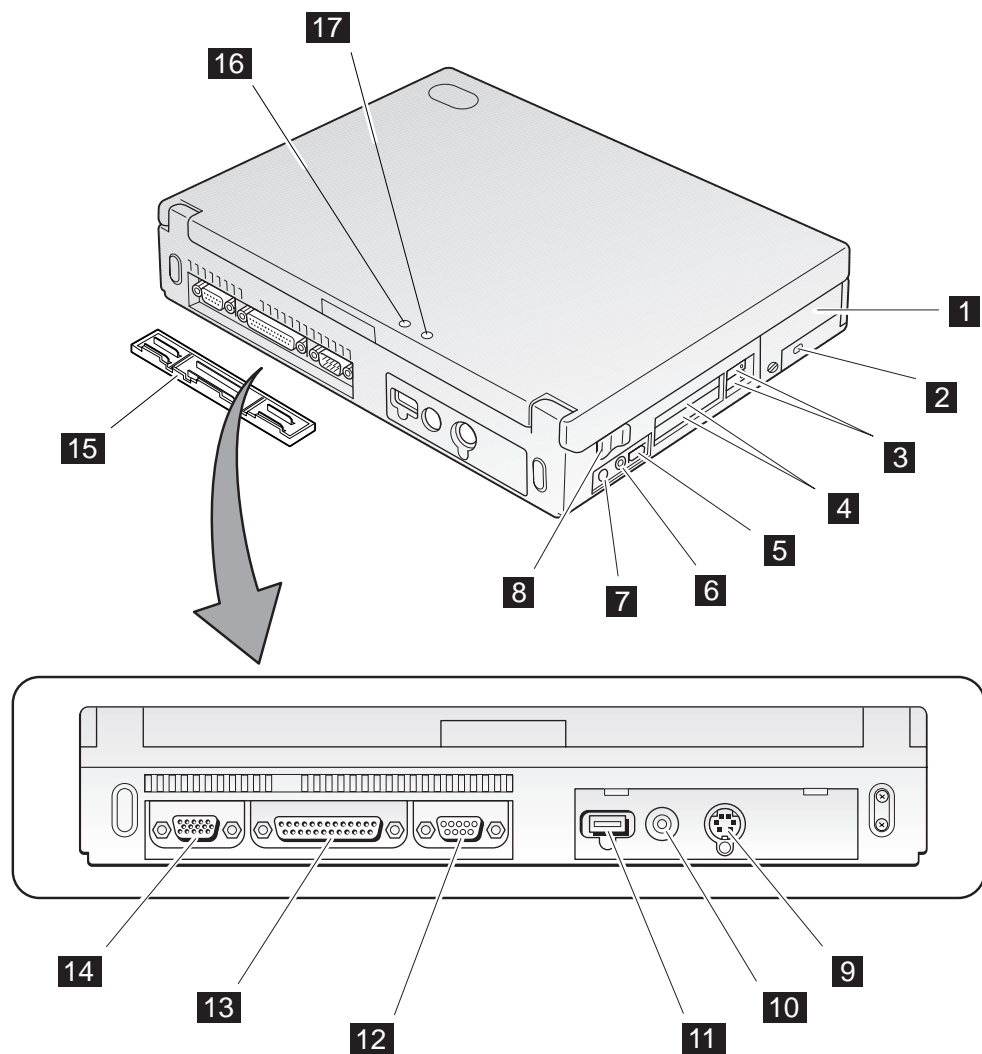
正面図



- 1** **LCD** ラッチ。これを外側に向けてスライドすると液晶ディスプレイが開きます。
- 2** カラー液晶ディスプレイ (**LCD**) パネル。ThinkPad の出力を表示します。
- 3** 放熱孔。ThinkPad の内部を常に冷却した状態に保ちます。空気の流れを妨げる物を放熱孔の前に置かないでください。冷却ファンは電源オン時に始動し、その後は、ThinkPad 内部の温度に応じて、停止したり始動したりします。
- 4** 赤外線ポート。赤外線通信機能をもつ他のデバイスと通信を行うことができます。
- 5** ディスケット・ドライブ。ディスクからのデータの読み取り、またはディスクへのデータの書き込みをします。
- 6** ディスケット排出ボタン。ディスク・ドライブからディスクを取り出すときに押します。
- 7** 非常用 **CD-ROM** 取り出し用穴。CD-ROM 排出ボタンで CD-ROM トレイが出てこない場合に使用します。ピンの先などをこの穴に差し込むと、CD-ROM トレイが排出されます。
- 8** **CD-ROM** 排出ボタン。CD-ROM ドライブから CD-ROM トレイを出すときに押します。このボタンは、ThinkPad の電源がオンの場合にのみ作動します。
- 9** **CD-ROM** ドライブ使用中インディケータ。CD-ROM ドライブの CD-ROM からデータが読み取られているときにオンになります。
- 10** **CD-ROM** ドライブ。CD-ROM からデータを読み取ります。
- 11** ステレオ・スピーカー。 **16** のサブウーファーと連動して、3D サウンドを可能にします。
- 12** パーム・レスト。キーボードの使用中に、手のひらを乗せる場所です。
- 13** トラックポイント。組み込み式のポインティング・デバイスで、マウスと同様の機能を果たします。
- 14** **Fn** キー。ファンクション・キーとともに使用して、**Fn** キー機能を実行します。
- 15** キーボード。ThinkPad にデータを入力するために使用します。(キーボード上の数値キーパッドの使用法については、16 ページを参照してください。)
- 16** サブウーファー。 **11** のステレオ・スピーカーと連動して、3D サウンドを可能にします。
- 17** システム状況インディケータ。インディケータとその記号です。(7 ページを参照してください。)
- 18** 輝度調節つまみディスプレイの輝度を調節します。
- 19** 内蔵マイクロホン。オーディオ対応のアプリケーション・プログラムを使用する場合に、このマイクロホンから音声を ThinkPad に取り込めます。

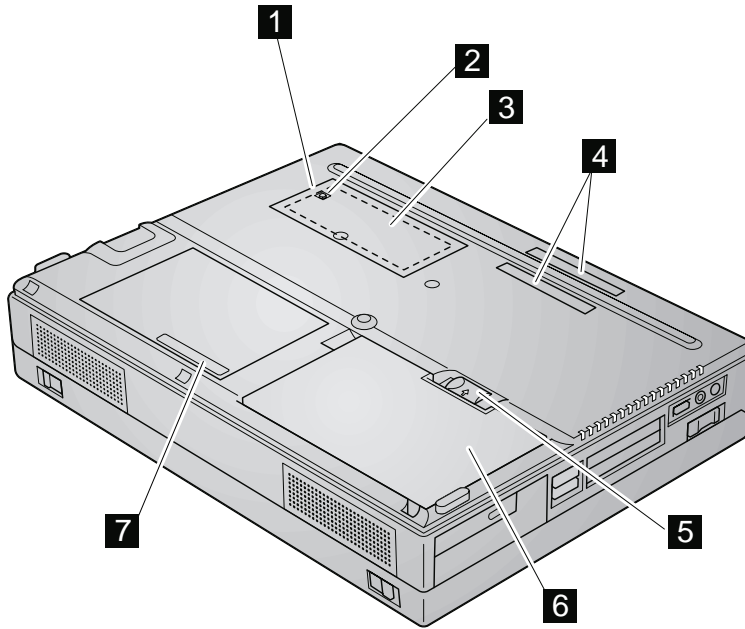
各部の機能と名称

背面図



- 1** ハードディスク・ドライブ。オプションを取り付けてアップグレードできます。(49 ページを参照してください。)
ThinkPad に付属のセキュリティーねじによって、ハードディスク・ドライブが簡単に取り外せないようにできます。(91 ページを参照してください。)
- 2** セキュリティー・キーホール。セキュリティー・システム・ロックをここに取り付けます。
- 3** **PC** カード排出ボタン。PC カード・スロットから PC カードを取り出すときに押します。
- 4** **PC** カード・スロット。PC カード、CardBus カード、および ZV (Zoomed Video) カードを挿入します。
- 5** 音量調節つまみ。内蔵スピーカーの音量を調節します。
- 6** マイクロホン/ライン入力ジャック。直径 3.5mm ($\frac{1}{8}$ インチ) のジャックで、マイクロホンまたは外付けのステレオ・オーディオ機器を接続します。
- 7** ヘッドホン・ジャック。直径 3.5 mm ($\frac{1}{8}$ インチ) のジャックで、ステレオのヘッドホンまたは外付けスピーカーを接続します。
- 8** 電源スイッチ。ThinkPad の電源をオンまたはオフにします。
- 9** 外付け入力装置コネクタ。マウス、キーボード、または数値キーパッドをここに外付けで接続します。
- 10** 電源ジャック。AC アダプターのケーブルをここに接続します。
- 11** 汎用シリアル・バス (**USB**) ・コネクタ。USB インターフェースに対応するデバイスをここに接続できます。
- 12** シリアル・コネクタ。シリアル・デバイス用の 9 ピンのケーブルをここに接続します。
- 13** パラレル・コネクタ。パラレル・プリンターの信号ケーブルをここに接続します。
- 14** 外付けディスプレイ・コネクタ。外付けディスプレイをここに接続します。
- 15** コネクタ・カバー。取り外し可能なカバーです。
- 16** サスペンド・モード・インディケータ。サスペンド・モードの状態を示します。(7 ページを参照してください。)
- 17** バッテリー・インディケータ。バッテリーの状態を示します。(7 ページを参照してください。)

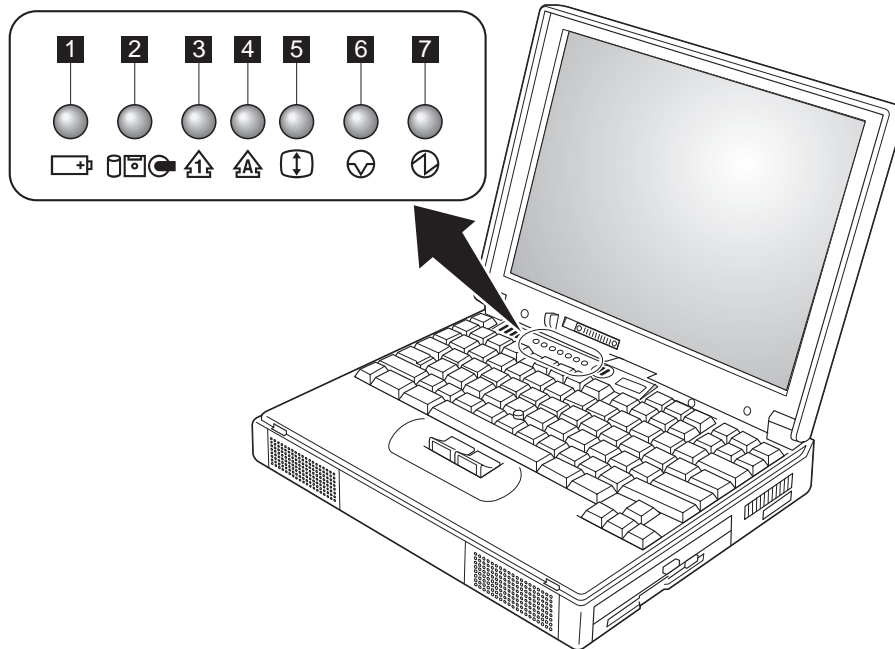
底面図 (バッテリー・パックを取り付けた状態)












- 1** メモリー・スロット・カバー。メモリー・スロットのカバーです。
- 2** 電源遮断スイッチ。アプリケーションが停止した場合や、ThinkPad が入力をまったく受け付けなくなった場合に、ThinkPad の電源を強制的にオフにするために使用します。ボールペンなどの先でスイッチを押してください。
- 3** メモリー・スロット。オプションのメモリー・モジュール (DIMM) を取り付ける場所です。
- 4** 拡張コネクタ。ポート・リブリケータ (オプションとして使用可能) をここに接続できます。
- 5** バッテリー・パック・ロック。バッテリー・パックのロックやその解除を行います。
- 6** バッテリー・パック。ThinkPad 用の内蔵電池です。
- 7** 製造番号 (S/N)。ThinkPad を識別する番号です。

システム状況インディケーター

ThinkPad のシステム状況インディケーターは、オン、オフ、または色 (緑およびオレンジ) によって ThinkPad の現在の状況を示すものです。各インディケーターの役割は記号で表されます。次に、各記号の位置と意味を示します。



システム状況インディケータ

記号	ランプの色	意味
1 バッテリー 	緑	操作に十分なバッテリー残量があります。
	オレンジ	バッテリー・パックを充電しています。
	オレンジ点滅	バッテリー・パックを充電する必要があります。このインディケータがオレンジの点滅を始めると、ThinkPad でピープ音が 3 回鳴ります。
2 ドライブ使用中 	オレンジ	ハードディスクまたはディスク・ドライブのデータを読み書きしているとき、あるいは CD-ROM ドライブのデータを読んでいるときにオンになります。このインディケータがオンになっている間は、ThinkPad をサスペンド・モードにしたり、ThinkPad の電源をオフにしないでください。
3 ナム・ロック 	緑	このインディケータがオンになっている場合は、キーボードの一部のキーを数値キーパッドとして使用することができます。 [Shift] キーを押しながら [NumLk] キーを押すことによって、数値キーパッド機能を使用可能または使用不可にできます。詳細については、16ページの『数値キーパッド』を参照してください。
4 キャップス・ロック 	緑	このインディケータがオンになっている場合は、Caps Lock (キャップス・ロック) モードで入力できます。このモードでは、 [Shift] キーを押さなくても、アルファベット (A ~ Z) はすべて大文字で入力されます。 [Shift] キーを押しながら [Caps Lock] キーを押すことによって、キャップス・ロック・モードを使用可能または使用不可にできます。
5 スクロール・ロック 	緑	このインディケータがオンになっている場合は、スクロール・ロック・モードが使用できます。矢印キー ( ,  ,  , ) が画面スクロール機能キーとして作動します。この状態では、矢印キーでカーソルを移動させることはできません。この機能が使用可能かどうかは、使用するアプリケーション・プログラムによります。 [ScrLk] キーを押すことによって、スクロール・ロック・モードを使用可または使用不可にできます。

記号	ランプの色	意味
6 サスペンド・モード 	緑	ThinkPad がサスペンド・モードであることを示します。(ステップ・アップ・ガイドを参照してください。)
	緑点滅	ThinkPad がサスペンドまたはハイバネーション状態に移行中である、またはサスペンド状態やハイバネーション状態から通常の操作状態へ移行中であることを示します。
7 電源 	緑	ThinkPad が使用できる状態であることを示します。 ThinkPad の電源がオンで、サスペンド・モードに入っていないときにオンになります。

ThinkPad の機能

ここでは、次の機能について説明します。

- キーボードの機能
- CD-ROM ドライブ
- ThinkPad ユーティリティ・プログラム

キーボードの機能

ThinkPad のキーボードには、次の機能が付いています。

- トラックポイント
- Fn キー機能
- 数値キーパッド

トラックポイント

キーボードには、トラックポイントという特殊なポインティング・デバイスが組み込まれています。これを使用すると、ポインティング、選択、およびドラッグなどの操作を、通常のタイピング位置から指を離さずに一連の手順の中で行えます。

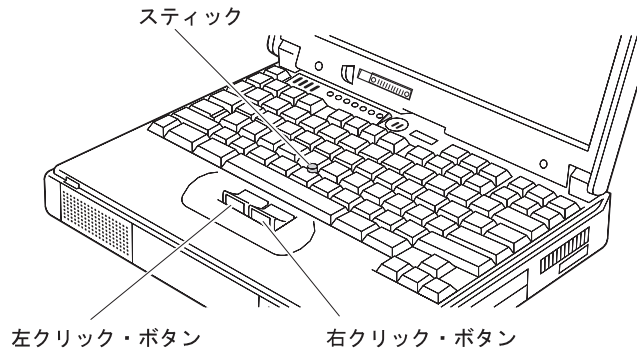


トラックポイントをカスタマイズすることによって、次の機能をカスタマイズできます。

- プレス・セレクト
- 感度

詳細情報 → 40ページの『トラックポイントのカスタマイズ』

トラックポイントは、キーボード上のスティックとキーボード手前の 2 つのクリック・ボタンとで構成されています。画面上のカーソルの動きは、スティックの先についてるキャップを押す指の圧力によってコントロールできます。圧力は、キーボード面に対して平行に前後左右に加えます。スティック自体は動きません。カーソルの移動速度は、スティックに加えられる圧力の強さによって決まります。左および右クリック・ボタンの機能は、通常のマウスの左および右ボタンに対応し、使用するソフトウェアによって異なります。



トラックポイントをはじめてお使いになる場合は、最初に、次の説明をお読みください。

- 1 両手をタイプ位置に置き、カーソルを移動させたい方向に、人差し指でスティックをゆっくりと押します。

スティックを LCD 方向に押すと、カーソルが画面の上方向に移動します。スティックを手前に押すと、カーソルが画面の下方向に移動します。また、スティックを左右の方向に押すと、カーソルが左右の方向に移動します。



カーソルがドリフト (浮動) する場合があります。これは、故障ではありません。このような場合は、カーソルの動きが止まるまでトラックポイントを使用しないでください。



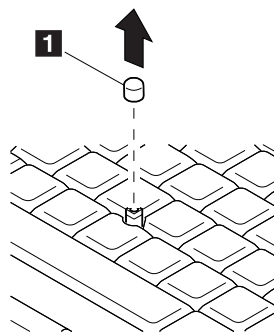
2 使用するソフトウェアの指示どおりに、親指を使ってクリック・ボタンを押し、選択およびドラッグ操作をします。

プレス・セレクトを使用可能にすると、トラックポイントのスティックを、左クリック・ボタンまたは右クリック・ボタンと同じように機能させることができます。詳細情報 →40ページの『トラックポイントのカスタマイズ』



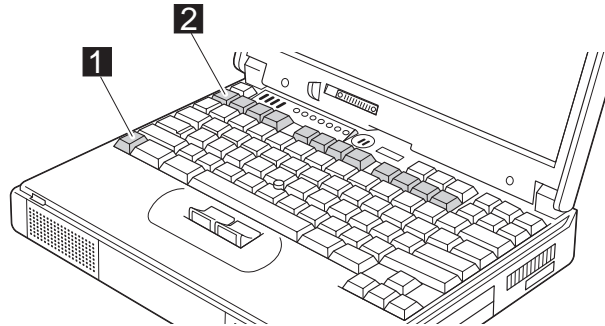
キャップの交換

トラックポイントのスティックの先に付いているキャップ **1** は着脱式です。必要に応じて、付属の予備キャップと交換できます。また、付属品を使い切ってしまった場合は、オプションでもご購入いただけます。




Fn キー機能

Fn キー機能は、特定の操作を瞬時に実行する便利な機能です。次の表で示す機能を使用する場合は、**Fn** キー **1** を押しなが、対応するファンクション・キー (**F1** ~ **F12**) **2** を押します。



Fn キー・ロック機能


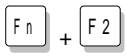
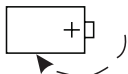











Fn キーを 1 回押すだけで **Fn** キーを押し続けたときと同じ状態になるように、ThinkPad を設定できます。







「ThinkPad 機能設定」構成プログラムを始動し(29ページの『ThinkPad 機能設定プログラム』を参照してください)、「ユーザー補助」() アイコンをクリックしてから、「Fn キー・ロック」に対して「使用可能にする」をクリックします。また、コマンド・プロンプトで PS2 FNS E と入力しても同じように設定できます。

Fn キー・ロック機能を使用可能にしたあとで、**Fn** キーを 1 度だけ押してから、どれかファンクション・キーを押してください。ThinkPad は、**Fn** キー + ファンクション・キーが押されたときと同じように作動します。

Fn キー・ロック機能を使用可能にしたあとで **Fn** キーを 2 回押すと、ファンクション・キーを単独で押しても、**Fn** キー + そのファンクション・キーと一緒に押したように認識されます。これを止めるには、もう一度 **Fn** キーを押す必要があります。

次の表で、**Fn** キーと組み合わせが可能なキーの機能を示します。

機能とアイコン	キーの組み合わせ	意味
省電力機能		
バッテリー・メーター・プログラム表示のオンおよびオフ 	 (OS/2 または Windows ユーザーのみ)	このキーの組み合わせを使用すると、バッテリーの残量を示すウィンドウが表示されます (または消えます)。 バッテリー残量のパラメーターを設定できます。 注: このキーの組み合わせを使用するには、事前にバッテリー・メーター・プログラムを始動しておく必要があります。 バッテリー・メーター・プログラムを始動する手順は、次のとおりです。 1. 「スタート」ボタンをクリックします。 2. カーソルを、「プログラム」、「ThinkPad」の順に移動してから、「バッテリーメーター」をクリックします。
パワー・モードの切り替え 		パワー・モードが次のように変化します。 
バッテリー使用時の省電力機能		
スタンバイ・モード 		ThinkPad はスタンバイ・モードになります。このモードに関する詳細  ステップ・アップ・ガイド
サスペンド・モード 		ThinkPad はサスペンド・モードになります。このモードに関する詳細  ステップ・アップ・ガイド
ハイバネーション・モード 		ThinkPad はハイバネーション・モードになります。このモードに関する詳細  ステップ・アップ・ガイド

機能とアイコン	キーの組み合わせ	意味
その他の機能		
LCD と外付けディスプレイの切り替え 	 + 	外付けディスプレイが接続されている場合、ThinkPad の出力が次の順序で表示されます。 
スクリーン・エクスパンション	 + 	LCD 画面の表示サイズが、実際の LCD サイズより小さい場合に、表示サイズが拡大モードと通常モードとで切り替わります。



ThinkPad がサスペンド・モードのときにファンクション・キーを押さずに **Fn** キーを単独で押すと、ThinkPad は通常の操作状態に戻ります。

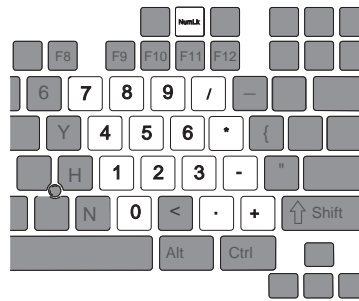
数値キーパッド

ThinkPad のキーボードの一部は、数値キーパッドの機能を使用可能にすれば、数値キーパッドのテン・キーのように使用することができます。(ただし、キーボードまたは数値キーパッドを外付けで接続しているときは、キーボード上のこの数値キーパッド機能は使用できません。)

Shift キーを押しながら **NumLk** キーを押すと、数値キーパッドの機能を使用可能または使用不可にできます。



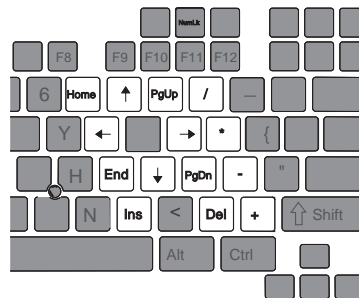
数値キーパッドの機能は、キーの手に印刷されています。



数値キーパッドとして使用しているときに、**Shift** キーを押したまま数値キーパッドの各キーを押すと、一時的にカーソル制御キーや画面制御キーとして使用できます。



カーソル制御キーおよび画面制御キーの機能は、キーには印刷されていません。



CD-ROM ドライブ

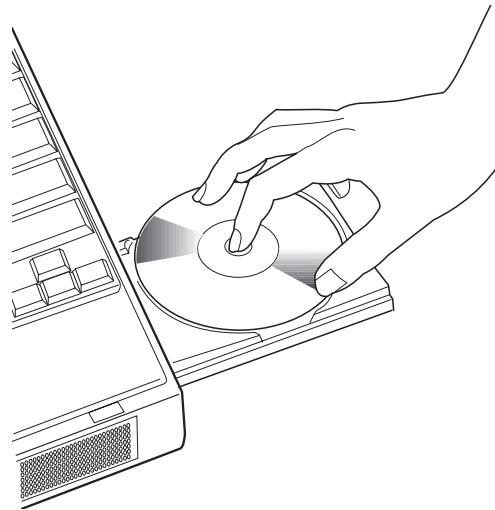
ThinkPad には CD-ROM ドライブが内蔵されています。

ThinkPad は次の CD をサポートします。

- 音楽 CD
- フォト CD
- CD-ROM または CD-ROM XA
- ビデオ CD

CD-ROM ドライブを使用する手順は、次のとおりです。

- 1** ThinkPad の電源をオンにします。
- 2** ThinkPad の側面にある CD-ROM 排出ボタンを押して、CD-ROM トレイを引き出します。
- 3** CD を中央の回転軸に合わせます。カチッと音がして CD が正しい位置に収まるまで、CD の中央部をしっかりと押します。

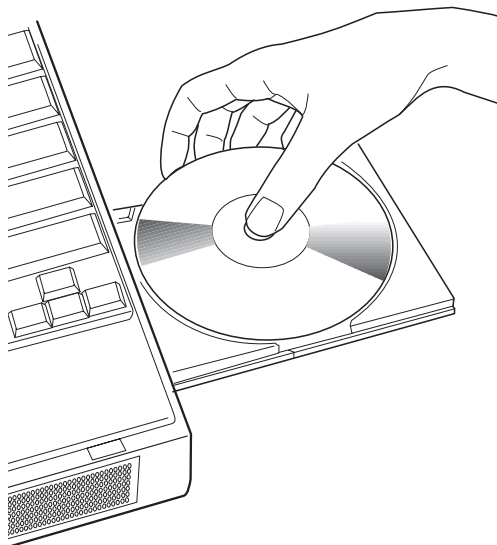


- 4** しっかりと閉じるまで、トレイを ThinkPad の中に押し込みます。

CD のデータへのアクセス方法は、その CD のタイプにより異なります。

CD を取り出す手順は、次のとおりです。

- 1** その CD のアプリケーション・プログラムを終了します。
- 2** CD-ROM 排出ボタンを押して、CD-ROM トレイを引き出します。
- 3** 回転軸を押さえながら、CD の端を持って静かに引き上げます。



- 4** しっかりと閉じるまで、トレイを ThinkPad の中に押し込みます。



CD の取り扱い

CD は高密度の媒体です。CD の取り扱いには十分な注意を払い、手入れを行って、データを正確に読み取れるようにしておく必要があります。CD の信頼性を維持するには、次のことを守ってください。

- CD は必ず端を持ってください。CD の表面に触れないでください。
- CD の汚れや指紋を取るには、乾いたやわらかい布でディスクの中央から外側に向かってふきとります。CD 上を回転するようにふくと、データが損失する原因となります。
- CD の表面には何も書かないでください。
- CD を直射日光の当たる場所に保管したり、置いたりしないでください。
- CD に液体をこぼさないでください。
- CD の汚れを落とすときに、ベンジン、シンナー、またはその他のクリーナーを使用しないでください。必ず、市販の CD-ROM クリーナーをご使用ください。
- CD を曲げたり折ったりしないでください。

ThinkPad ユーティリティ・プログラム

ThinkPad には、次のユーティリティ・プログラムが用意されており、簡単に構成できるようになっています。

- Easy-Setup
- 「ThinkPad 機能設定」プログラム

ここでは、これらのユーティリティ・プログラムの概要について説明します。

Easy-Setup

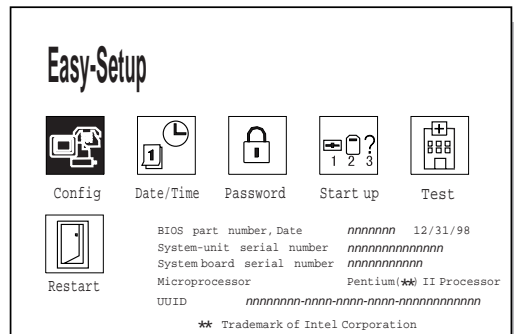
ThinkPad には、各種のセットアップ・パラメーターを選択するための *Easy-Setup* と呼ばれる使いやすいプログラムが内蔵されています。

- 「**Config**」：ご使用の ThinkPad の構成を設定します。
- 「**Date/Time**」：日付と時刻を設定します。
- 「**Password**」：パスワードを設定します。
- 「**Start up**」：始動デバイスの優先順位を設定します。
- 「**Test**」：システムをテストします。
- 「**Restart**」：システムを再起動します。

Easy-Setup を始動する手順は、次のとおりです。

1 ThinkPad の電源をオフにし、ディスク・ドライブにディスクが入っている場合は、それを取り出します。

2 **[F1]** キーを押しながら、ThinkPad の電源をオンにします。「Easy-Setup」メニューが表示されるまで **[F1]** キーを押し続けます。

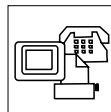


- 3 矢印キーまたはトラックポイントを使って変更したいアイコンに移動し、そのアイコンをクリックします。
サブメニューが表示されます。
- 4 変更したい項目を変更します。
- 5 サブメニューを終了するには、「Exit」をクリックします。
- 6 「Easy-Setup」メニューを終了するには、「Restart」をクリックします。
ThinkPad が再起動します。



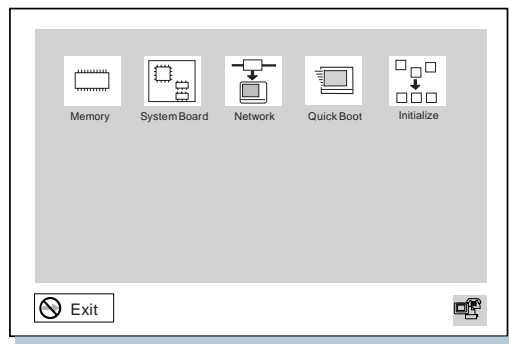
画面の配色の変更

「Easy-Setup」メニュー画面の配色を変更するには、**Ctrl** + **Pgup** キーまたは **Ctrl** + **PgDn** キーの組み合わせを使用します。
元の配色に戻すには、**Ctrl** + **Home** キーを押してください。



Config

「Config」アイコンをクリックすると、次のような「Config」サブメニューが表示され、そこに、取り付けられているメモリーとシステム・ボードに関する情報が表示されます。



「Memory」アイコンによって、取り付けられているメモリーのサイズと使用できるメモリー容量が表示されます。



「**System Board**」アイコンによって、取り付けられているシステム・ボードについての情報が表示されます。



「**Network**」アイコンによって、Wake-On-LAN 機能と Flash アップデート機能を使用可能または使用不可にします。これらの機能は、拡張ポート・リプリケーター (EtherJet 機能付き) (オプション) でのみ使用できます。



「**Quick Boot**」アイコンによって、シンプル・ブート・フラグ機能を使用可能または使用不可にします。



シンプル・ブート・フラグ機能

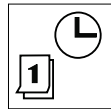
この機能は、BIOS およびオペレーティング・システムの動作とブート・パフォーマンスを、インストールされているオペレーティング・システムと以前のブートに基づいて自動的に最適化します。

この機能が使用可能になっていて、プラグ・アンド・プレイ対応のオペレーティング・システムがインストールされると、システム BIOS は、システム割り込み、メモリー・ウィンドウ、およびシステム内の全装置の入出力ポート範囲といった、ハードウェア・リソースの構成を行いません。

プラグ・アンド・プレイ対応でないオペレーティング・システムを使用する場合は、この機能を使用不可にして、**BIOS** がハードウェア・リソースを構成するようにしてください。

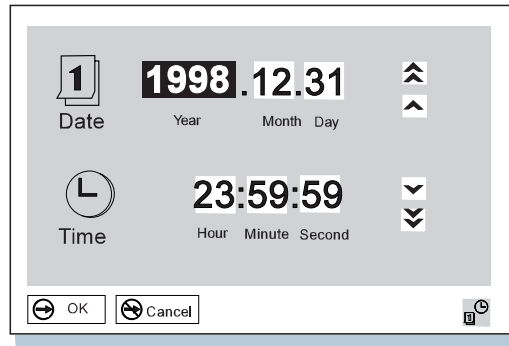


「**Initialize**」アイコンによって、デバイスの設定をすべて初期値に戻します。



Date/Time

「Date/Time」アイコンをクリックすると、次のような「Date and Time」サブメニューが表示されます。これは、現在の日付と時刻を設定するときに使用します。



日付と時刻を変更する手順は、次のとおりです。

- 1 カーソルを変更したいフィールド (年、月、日、時、分または秒) に移動し、日付や時刻を入力します。



入力する代わりに、ポインターを矢印アイコン(▲、▲、▼、または ▼)のどれかに合わせて日付や時刻を調節することもできます。

二重矢印アイコンをクリックすると、数字をさらに速くスクロールできます。

- 2 変更内容を保管するには「OK」をクリックし、それらを取り消す場合は「Cancel」をクリックします。



現在の日付と時刻の設定は、ThinkPad にインストールされているアプリケーションをオペレーティング・システムと共に使用して行うこともできます。

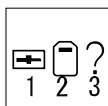


Password

「**Password**」アイコンをクリックすると、「Password」サブメニューが表示されます。これは、始動パスワード、ハードディスク・パスワード、およびスーパーバイザー・パスワードを設定するために使用します。 .br詳細情報 → 74ページの『パスワードの使用』



かぎのかかっていないアイコンは、パスワードがまだ設定されていないことを示します。



Start up

「**Start up**」アイコンをクリックすると、「Start up」サブメニューが表示されます。このサブメニューを使って、始動または起動に使用するデバイスの優先順位を変更できます。

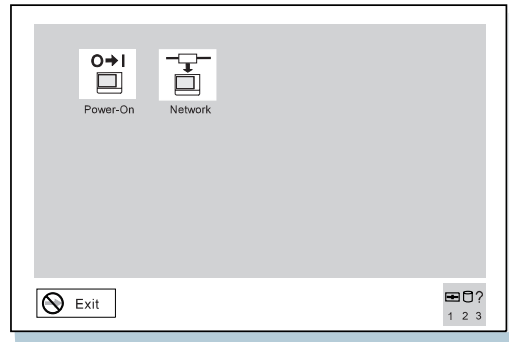
たとえば、複数の着脱式ハードディスク・ドライブや PC カードなど複数のデバイスにオペレーティング・システムがインストールされている場合は、それらのデバイスのどれかからシステムを起動できます。

重要

始動優先順位を変更したあとは、コピー、保管、およびフォーマット操作などで誤ったデバイスを指定しないよう、細心の注意が必要です。デバイスを誤って指定すると、データやプログラムが消されたり、上書きされたりすることがあります。

始動優先順位を変更する手順は、次のとおりです。

- 1 「Easy-Setup」メニューで「**Start up**」アイコンをクリックします。「Startup」サブメニューが表示されます。

**注:**

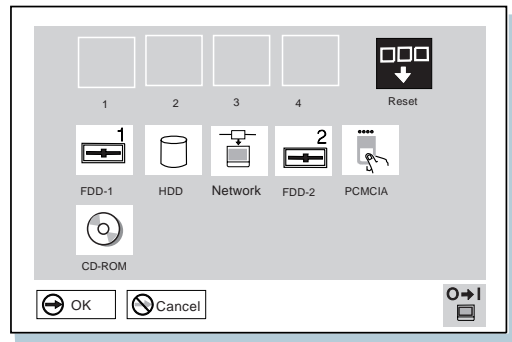
電源スイッチでオンにするときは、「**Power-On**」アイコンで始動優先順位を設定します。



Wake-On-LAN で始動するときは、「**Network**」アイコンで始動優先順位を設定します。Wake-On-LAN は、通常、LAN 管理者がネットワークを介してリモートで ThinkPad にアクセスするときに使用されます。この機能は、拡張ポート・リプリケーター (EtherJet 機能付き) (オプション) でのみ使用することができます。

2 次のアイコンのどれかをクリックしてください。

- サブメニューの「**Power-On**」アイコン。
「Power-On」サブメニューが表示されます。

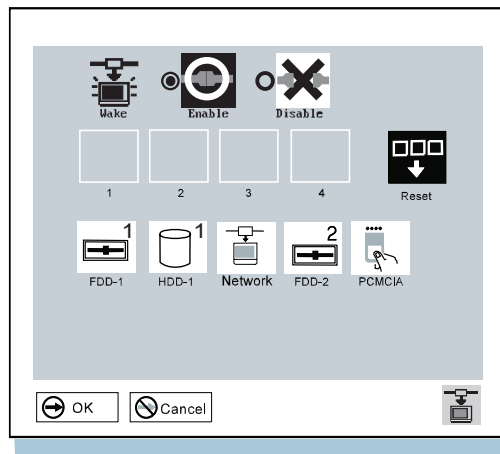


「**FDD-1**」アイコンは、ThinkPad 本体に取り付けられているディスク・ドライブを表します。ポート・リプリケーターにディスク・ドライブをもう一台接続している場合は、そのドライブは「**FDD-2**」になります。

- サブメニューの「**Network**」アイコン。

この機能は、拡張ポート・リプリケーター (EtherJet 機能付き) (オプション) でのみ使用できます。

「Network」サブメニューが表示されます。これを使用して、Wake-On-LAN 機能を使用可能または使用不可にできます。



Wake-On-LAN が使用可能な場合、ネットワーク管理者は、リモート・ネットワーク管理ソフトウェアを使用して、LAN に接続しているリモート・マシンの電源をオンにすることができます。使用している ThinkPad がネットワーク管理者のシステム管理のもとにない場合は、この機能を使用不可にしてください。

詳細情報 ➡ ステップ・アップ・ガイド

- 3** カーソルを「**Reset**」アイコンに移動し、クリックします。

4 始動優先順位を 1 番にするデバイスのアイコンを選択し、クリックします。

そのデバイスが、「1」と表示されたボックスに移動します。ただし、ハードディスク・ドライブを PC カードの前に設定できません。

- トークンリング・カードまたはその他のネットワーク・カードを使用して、リモート・プログラム・ロード (RPL) システムを行っている場合は、次の手順に従ってください。

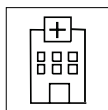
a 「Power-On」または「Network」サブメニューで「Network」アイコンを選択し、クリックします。「Speed」メニューが表示されます。

b トークンリング・カードを使用している場合は、使用するネットワークの速度（「4」または「16」）を選択し、クリックしてから、**Enter** キーを押します。

トークンリング・カード以外のネットワーク・カードを使用している場合は、ネットワークの速度を指定する必要はありません。**Esc** キーを押して、このメニューを終了してください。

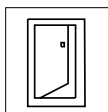
5 この手順を繰り返して、他のデバイスの始動優先順位を設定します。最大 4 台のデバイスを設定することができます。

6 「OK」をクリックするか、**Enter** キーを押して、変更内容を保管します。



Test

「Test」アイコンを押すと、「Test」サブメニューが表示されます。これは、ThinkPad のハードウェア・エラーを検査する診断テストを実行するときに使用します。詳細情報 → 143ページの『ThinkPad のテスト』



Restart

「Restart」アイコンを押すと、Easy-Setup プログラムを終了し、ThinkPad を再起動します。

ThinkPad 機能設定プログラム

「ThinkPad 機能設定」プログラムを使うと、ThinkPad の内蔵デバイスを必要に応じてセットアップしたり、カスタマイズすることができます。たとえば、ポートを使用可能または使用不可にしたり、ThinkPad の LCD と外付けディスプレイを切り替えたり、さらに省電力機能を設定したりできます。

重要

「ThinkPad 機能設定」プログラムの詳細を表示するには、「ヘルプ」ボタンをクリックしてください。

ここでは、「ThinkPad 機能設定」プログラムの始動方法について説明します。




Windows 98 の場合:

Windows 98 で「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動するには、タスクバー **1** の右側にある「ThinkPad」アイコンをダブルクリックしてください。



また、次の手順に従って、ThinkPad 機能設定プログラムを始動することもできます。

1. 「スタート」 () をクリックします。
2. カーソルを、「プログラム」、「ThinkPad」の順に移動して、「ThinkPad 機能設定」をクリックします。

次のウィンドウが表示されます。



- 1** 「ディスプレイ・デバイス」ボタン。これらのボタンのどれかをクリックして、画面の表示先をLCD 単独、CRT ディスプレイ単独、または LCD と CRT ディスプレイ両方のどれかに設定します。
- 2** 「電源設定」ボタン。事前設定の電源オプションを変更します。
- 3** 「デバイスマネージャを開く」ボタン。「システム・プロパティ」ウィンドウを表示します。このウィンドウでデバイスを使用可能または使用不可にできます。
- 4** 「システム・リソース一覧を表示する」ボタン。「システム・リソース一覧」ウィンドウを表示します。このウィンドウで、メモリー・アドレスおよびその他の割り振りの設定をチェックできます。
- 5** 「ヘルプの目次」ボタン。オンライン・ヘルプを表示します。
- 6** 「デバイス」ボタン。ウィンドウから各デバイス用のボタンをクリックします。デバイスが使用可能な場合は、ボタンの横の赤いインディケータがオンになります。このインディケータがオフのときは、そのデバイスは使用できません。

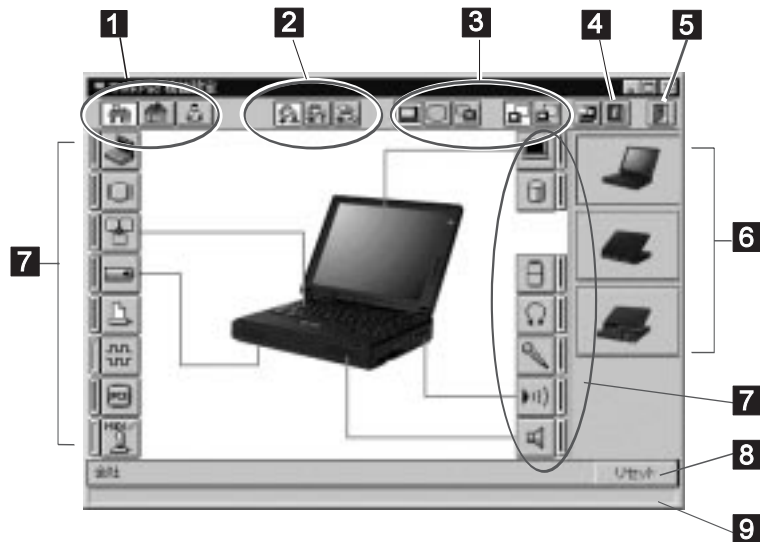


Windows NT の場合:

Windows NT で「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動する手順は、次のとおりです。

- 1 画面の下の隅にある「スタート」をクリックします。
- 2 カーソルを「プログラム」、「ThinkPad」に移動してから、「ThinkPad 機能設定」をクリックします。

次のウィンドウが表示されます。



- 1 「ワンタッチ設定」ボタン。これらのボタンのどれかをクリックして、システム構成を設定します。
- 2 「パワー・モード」ボタン。これらのボタンのどれかをクリックして、パワー・モードを「ハイ・パフォーマンス・モード」、「オート・モード」、または「カスタマイズ・モード」のどれかに設定します。
- 3 「ディスプレイ装置」ボタン。これらのボタンのどれかをクリックして、画面の表示先を LCD、外付けディスプレイ、または LCD+ 外付けディスプレイのどれかに設定します。プレゼンテーションを行う場合には、「プレゼンテーション・モード」ボタンをクリックして、ディス

プレイ・タイマーなどのシステム・タイマーを使用不可にし、プレゼンテーション中に画面が消えないように設定できます。

- 4 「ヘルプ」ボタン。オンライン・ヘルプを表示します。
- 5 「終了」ボタン。変更した設定値を保管して「ThinkPad 機能設定」ウィンドウを終了する場合は、このボタンをクリックします。
- 6 「描写方向」ボタン。ThinkPad の正面、背面、またはポート・リブライケーター装着時を表すボタンをクリックして、ハードウェアの位置を表示できます。
- 7 「デバイス」ボタン。ウィンドウから各デバイス用のボタンをクリックします。次に、表示されるウィンドウからそのデバイスのオプションを設定します。デバイスが使用可能な場合は、ボタンの横の赤いインディケーターがオンになります。このインディケーターがオフのときは、そのデバイスは使用できません。
- 8 「リセット」ボタン。このボタンをクリックすると、各オプションに対して初期値を設定し、変更した値を取り消します。
- 9 「ステータス」バー。各デバイス・ボタンにカーソルを合わせると、ボタンが示すデバイスの名前と状態がステータス・バーに表示されます。

画面の右上隅にある最小化ボタンをクリックすると、ウィンドウの上部のみが表示されます。

システムのバックアップ

システムのバックアップを作成したり、オペレーティング・システムを再インストールできるように、ThinkPad には次の機能があります。

- 導入済みアプリケーション CD (Windows 98 のみ)
- Product Recovery CD-ROM
- 「ディスクット・ファクトリー」プログラム
- ConfigSafe
- 最新のソフトウェアの提供 (Web)

削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアについて → 145ページの『削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復』

導入済みアプリケーション CD

初期インストール済み ThinkPad 用サポート・ソフトウェアおよびデバイス・ドライバを、インストールまたは再インストールする場合に使用します。(導入済みアプリケーション CD の使用方法 → 145ページの『導入済みアプリケーション CD の使用』)

Product Recovery CD-ROM

誤ってハードディスクの内容を削除または損傷してしまった場合は、Product Recovery CD-ROM (以下、リカバリー CD) を使って、初期インストールされているハードディスクの内容を、購入時の状態に回復することができます。(リカバリー CD の使用方法 → 145ページの『リカバリー CD の使用』)

ディスクット・ファクトリー

「ディスクット・ファクトリー」プログラムには、ThinkPad 用のいくつかのサポート・ソフトウェアが入っています。

このプログラムを使用して、いくつかのサポート・ソフトウェアを作成することができます。(ディスクット・ファクトリーの使用方法 → ステップ・アップ・ガイド)

新しいオペレーティング・システム (Windows NT など) やサポート・ソフトウェアのインストールに関する詳細情報 → ステップ・アップ・ガイド。

ConfigSafe

ConfigSafe とは、Windows 98、Windows 95、または Windows NT 用のアプリケーションの 1 つです。これは、システム設定情報を定期的に保存するものです。たとえば、新しいデバイス・ドライバやソフトウェアのインストール後に ThinkPad が正しく作動しなくなったときに、ConfigSafe を使用すると、インストール前のシステム設定情報のバージョンが復元されます。この状態で ThinkPad を設定し、起動させることが可能です。

最新のソフトウェアの入手方法

IBM は、インターネット Web ページやパソコン通信で、最新ハードウェア・デバイス・ドライバおよびシステム BIOS を提供しています。

<http://www.ibm.co.jp/pc/home/download.html>

詳細情報 ➡ ステップ・アップ・ガイド

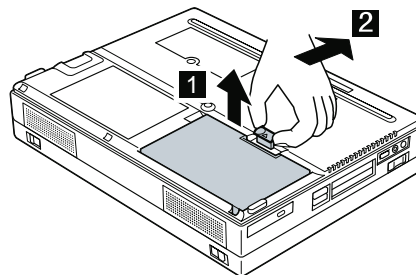
バッテリー・パックの交換

バッテリー・パックを交換する手順は、次のとおりです。

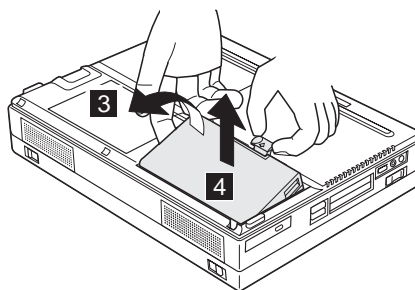


- バッテリー・パックについては次の制約事項があるので、注意してください。
 1. ThinkPad 380、380D、385D、380E、380ED、または 385ED に付属しているバッテリー・パックは、380Z では使用できません。
 2. ThinkPad 380XD または 385XD のプロセッサが Intel Pentium II ではないモデルに付属しているバッテリー・パックは、380Z では使用できません。
 3. ご使用のThinkPad では、Li-Ion バッテリー・パック (2635) (部品番号 73H9793) を使用できません。
- バッテリー・パックは、ThinkPad がハイバネーション・モードになっているときにも交換できます。(ThinkPad がサスペンド・モードのときは交換できません。) ただし、PC カードを使っている場合は、ThinkPad がハイバネーション・モードにならない場合があります。その場合は、ThinkPad の電源をオフにしてください。

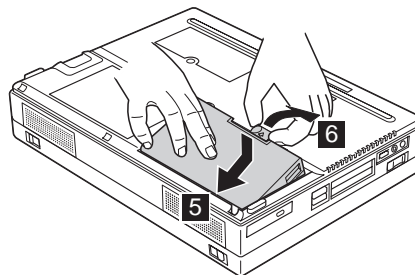
- 1** ThinkPad の電源をオフにするか、ハイバネーション・モードに入ります。
- 2** LCD を閉じて、ThinkPad を裏返します。
- 3** バッテリー・パックのロックを引き上げて **1**、ThinkPad の背面方向にスライドします **2**。



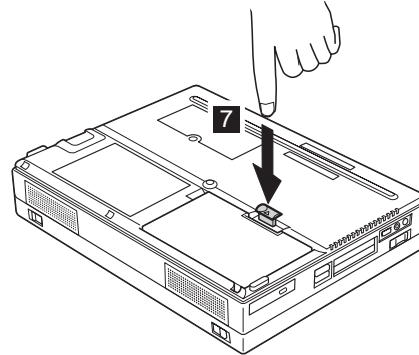
- 4** バッテリー・パック側面のくぼみの部分 **3** に指をかけて、ThinkPad からバッテリー・パック **4** を持ち上げます。



- 5** 図のように、フル充電した予備のバッテリー・パックを取り付け **5**、バッテリー・パック・ロックを ThinkPad の背面方向にスライドします **6**。



6 バッテリー・パック・ロックを押します **7**。



7 ThinkPad を元通りにしてからLCD を開き、ThinkPad の電源をオンにします。

これで、バッテリー・パックの交換は完了しました。

バッテリー・パックの交換

第2章


ThinkPad のカスタマイズ

本章では、装置を外付けで取り付ける方法とメモリーを追加する方法について説明します。

トラックポイントのカスタマイズ	40
メモリーの増設	43
DIMM の取り付け	44
DIMM の取り外し方法	47
ハードディスク・ドライブのアップグレード	49
マウス、数値キーパッド、および外付けキーボードの接続	54
マウスまたは数値キーパッドの接続	54
外付けキーボードとマウスの接続	56
トラックポイントの使用不可	58
外付けディスプレイの接続	59
PC カードの取り付け	64
PC カードの取り外し	67
PC カード・モデム (オプション) の取り付け	68
ポート・リプリケーターの使用	70
CardBus スロットを使用可能にするには (Windows 98 の場合)	72

トラックポイントのカスタマイズ

トラックポイントをカスタマイズする手順は、次のとおりです。

- 1 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。
- 2 「トラックポイント」アイコン () をクリックします。
- 3 「トラックポイントのプロパティ」をクリックします。
「トラックポイントのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
このウィンドウで、次の機能を設定できます。
 - プレス・セレクト
 - 感度

「プレス・セレクト」のページの使用



「プレス・セレクト・オン」のボックスにチェック・マークを付けてプレス・セレクトを使用可能にすると、トラックポイントのスティックを、左クリック・ボタンまたは右クリック・ボタンと同じように機能させることができます。

- 「ドラッグ・オン」にチェック・マークを付けると、トラックポイントのスティックを軽く押すことで、トラックポイントで選択したアイコンをドラッグできるようになります。

- 「リリース・セレクト - オン」にチェック・マークを付けると、トラックポイントからすばやく指を離すだけで、簡単にクリックできるようになります。カーソルをアイコン上に移動したあと、トラックポイントからすばやく指を離した瞬間にクリックが入力されます。続けてトラックポイントをもう一度押すと (プレス・セレクト) ダブルクリックと同様の効果が得られます。
- 「プレス・セレクトへの割り当て」プレス・セレクトに左クリック・ボタン、右クリック・ボタンのどちらの機能をもたせるかを選択します。たとえば、「左ボタン」を選択すると、カーソルをプログラムのアイコンに合わせ、トラックポイントのスティックを 2 回軽く押すことにより、そのプログラムを始動できるようになります。

スティックを押すタイミングの調節は、「クリックの速さ」で設定します。



クリックの速さの設定を遅くし過ぎた場合は、意図しないクリック、カーソルの遅れ、またはドラッグの遅れなどが起こることがあります。また、設定を速くし過ぎた場合は、プレス・セレクトの操作が困難になります。

トラックポイントのカスタマイズ

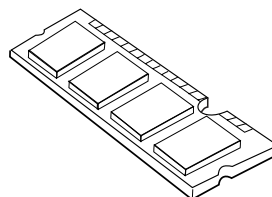
「感度」ページの使用



この機能は、ポインターとプレス・セレクトの両方の感度を同時に調節します。「重く」の方にスライドさせると、カーソルの動きは鈍くなり、プレス・セレクトは、より強く押さなければ入力できなくなります。また、「軽く」の方にスライドさせると、カーソルの動きは軽くなり、プレス・セレクトは弱く押すだけで入力できるようになります。

メモリーの増設

メモリーの増設は、プログラムの実行速度を速くするのに効果的な方法です。ThinkPad のメモリー容量は、オプションのメモリー・モジュール (DIMM) を増設して、増やせます。



数種類の容量のDIMM (最大 64 MB) を取り付けることができます。DIMM は、ThinkPad の底面にあるメモリー・スロットに直接取り付けます。ご使用の ThinkPad のメモリー容量は、最大 96 MB まで拡張できます (32 MB の標準装備されているメモリーに加えてオプションの 64 MB の DIMM を 1 枚使用する場合)。

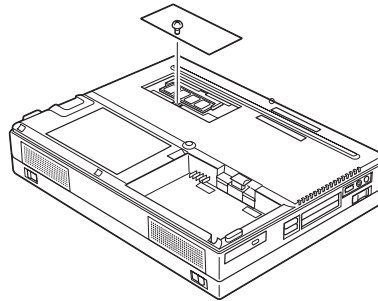
重要

ご使用の ThinkPad は、60 ns の EDO DRAM (Extended Data Out DRAM) カードのみをサポートします。70 ns の EDO DRAM カードまたは SDRAM (Synchronous DRAM) カードはサポートしません。適切なメモリー・オプションは、IBM 特約店または IBM 代理店でお求めになれます。

DIMM の取り付け

DIMM を取り付ける手順は、次のとおりです。

- 1** ThinkPad の電源をオフにし、ACアダプターやその他のケーブル類を取り外します。
- 2** LCD を閉じて ThinkPad を裏返し、バッテリー・パックを取り外します。
- 3** メモリー・スロット・カバーのネジを緩め、カバーを取り外します。

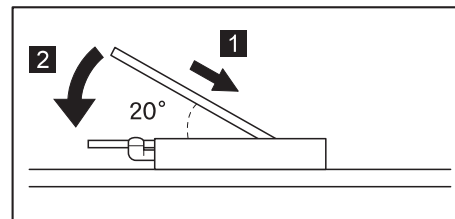
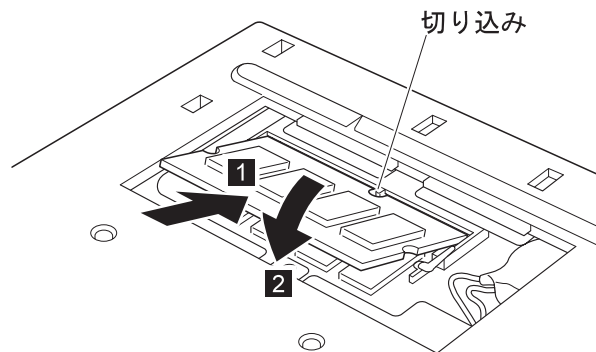


重要

DIMM の損傷を避けるため、DIMM の接点部分には手を触れないでください。

4 DIMM をメモリー・スロットに取り付けます。

- a** DIMM の切り込みのある側を探す。
- b** DIMM の切り込みのある側をソケット右側の突起部分に合わせ、DIMM を約 20 度の角度でソケットに差し、奥までしっかりと押し込む **1**。
- c** カチッと音がして正しい位置に収まるまで DIMM を手前に倒す **2**。




5 最初にメモリー・スロット・カバーの後ろ側を合わせてからカバーを元通りにメモリー・スロットの上に取り付け、ネジで締めます。

6 バッテリー・パックを元に戻します。

7 ThinkPad を表に向けてから、電源をオンにします。次に、画面の左上隅に新しいメモリー・サイズが表示されるかどうかを確認します。

たとえば、32 MB の基本メモリーをもつ ThinkPad に 32 MB の DIMM を取り付けた場合は、次のように表示されるはずです (合計メモリー・サイズを計算する方法については、次のページを参照してください)。




064960 KB OK

これで、DIMM の取り付けは完了しました。すべてのケーブルを元通りに接続してください。



1. 次のような状況になった場合は、ThinkPad の電源をオフしてから、44ページに戻って DIMM を取り付け直してください。その後、Easy-Setup でメモリー・テストを実行してください(28ページ参照)。

- メモリー・カウントの下にエラー・コード 201 が表示された場合。



048576 KB OK
201

- メモリー・サイズの合計が、計算したサイズと違う場合。

エラー・コード 225 は、取り付けたメモリーが ThinkPad でサポートされていないことを意味します。

2. ThinkPad のメモリー容量を変更した場合は、次のようにして、ハイバネーション・ファイルを作成し直す必要があります。

- a) Autoexec.bat ファイル内に次の 1 行があるかどうか確認します。

```
C:¥THINKPAD¥PS2 HFILE C >nul
```

ある場合は、次のように行頭に “rem” を入力します。

```
rem C:¥THINKPAD¥PS2 HFILE C >nul
```

- b) ThinkPad の電源をオフにします。
 c) 追加した DIMM を取り外します。
 d) ThinkPad の電源をオンにし、ハイバネーション・モードを使用不可にします。
 e) ThinkPad の電源をオフにします。
 f) 再度 DIMM を取り付けます。
 g) ThinkPad の電源をオンにし、ハイバネーション・モードを使用可能にします。

ハイバネーション・モードを使用不可および使用可能にする方法

➔ ステップ・アップ・ガイド



メモリー・サイズの合計の計算方法

メモリー・サイズは、基本メモリー・サイズ (32192 KB) に DIMM のメモリー・サイズ (単位は KB) を加えたものが表示されます。

たとえば、32 MB の DIMM を取り付けけた場合は、メモリーの合計サイズは次のように計算されます。

注: 1 MB=1024 KB

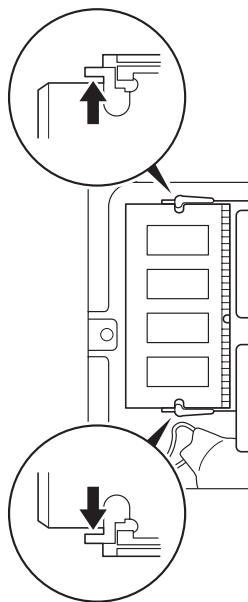
$$32 \times 1024(\text{KB}) + 32192(\text{KB}) = \mathbf{64960(\text{KB})}$$

DIMM の取り外し方法

- 1 ThinkPad の電源をオフにし、AC アダプターおよびその他のケーブル類を取り外します。
- 2 LCD を閉じて ThinkPad を裏返し、バッテリー・パックを取り外します。

3 メモリー・スロット・カバーのネジを緩めて、カバーを取り外します。

4 ソケットの両端の切り込み部分を同時に外側に押します。



5 DIMM を取り外します。

DIMM は安全な場所に保管しておいてください。

6 メモリー・スロット・カバーを取り付けてから、ネジを元通りに締めます。

7 バッテリー・パックを元に戻します。

8 ThinkPad を元通りにしてから、取り外した AC アダプターやケーブル類を接続し直します。

ハードディスク・ドライブのアップグレード

ThinkPad に標準装備されている組み込み式のハードディスク・ドライブをオプションのハードディスク・ドライブと交換すると、ThinkPad の記憶容量を増やすことができます。オプションのハードディスク・ドライブは、IBM 特約店または IBM 代理店でお求めいただけます。



ハードディスク・ドライブの交換は、アップグレードや修理の目的でのみ行ってください。本機のハードディスク・ドライブは、たびたび交換するようには設計されていません。

重要

ハードディスク・ドライブの取り扱い上の注意

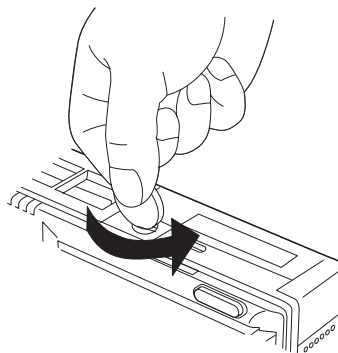
- 落としたり、物理的な衝撃を与えないでください。
- カバーに圧力をかけないでください。
- コネクタには触れないでください。

このドライブは非常にデリケートです。取り扱いを誤ると、重大な損傷やハードディスク内のデータの損失の原因となります。ハードディスク・ドライブを取り外す前に、ハードディスク内のすべての情報のバックアップ・コピーを作成してください。システムの作動中やサスペンド・モード中、あるいはハイバネーション・モード中には、ハードディスク・ドライブを絶対に取り外さないでください。

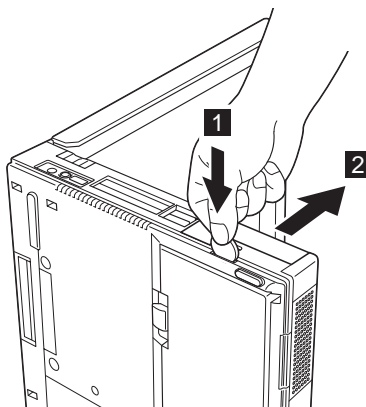
ハードディスク・ドライブを交換する手順は、次のとおりです。

- 1** ThinkPad の電源をオフにし、AC アダプターやその他のケーブル類を取り外します。
- 2** バッテリー・パックを取り外します (→ 35ページの『バッテリー・パックの交換』)。

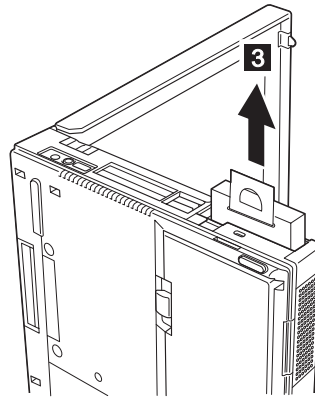
- 3** LCD を開きます。次に、ThinkPad を右側を下にして立て、コインを使ってコイン型ネジを左回り (時計の針と反対回り) に回して外します。



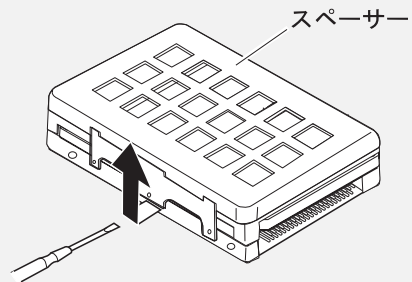
- 4** コイン **1** を使ってハードディスク・ドライブ・ベイのカバーを開けてから、そのカバー **2** を外します。



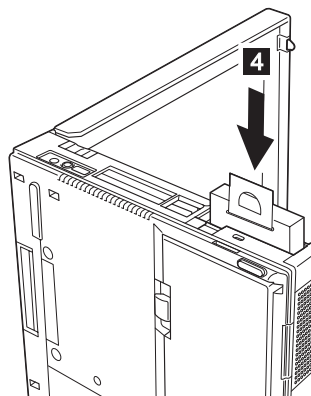
- 5** ハードディスク・ドライブのストラップ **3** を引き上げて、ハードディスク・ドライブを取り外します。



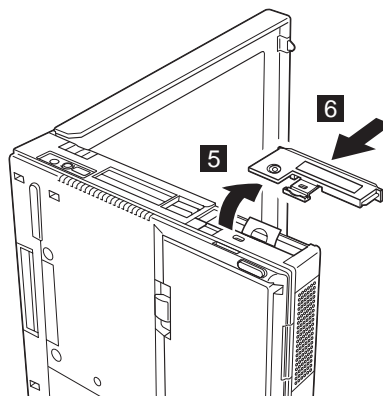
- ハードディスク・ドライブを無理に差し込まないでください。コネクターはデリケートなため、損傷するおそれがあります。
- 取り付けるハードディスク・ドライブにスペーサーが付いている場合は、小さいドライバーなどを使ってスペーサーを外します。



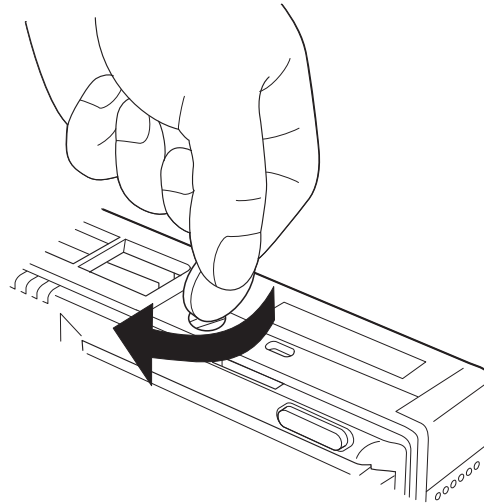
- 6** ストラップが付いている側が ThinkPad の底面になるようにして、交換用のハードディスク・ドライブを差し込みます **4**。



- 7** ストラップを寝かせ **5**、カバーのガイドを ThinkPad のガイドに合わせてから、カバーを ThinkPad にスライドして取り付けます **6**。



- 8** ネジを元通りに締めます。これでハードディスク・ドライブの取り付けが完了しました。




コイン型ネジをセキュリティーねじに交換して、ハードディスク・ドライブを簡単に取り外せないようにできます。詳細情報 → 91ページの『セキュリティーねじの使用』

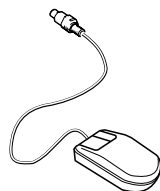
- 9** バッテリー・パックを ThinkPad に取り付けます (35 ページを参照してください)。
- 10** ThinkPad の表を上に出します。ThinkPad に AC アダプターを接続してから、電源をオンにします。

マウス、数値キーパッド、および外付けキーボードの接続

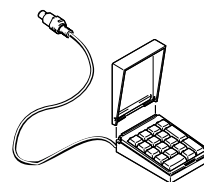
ここでは、ThinkPad にマウス、数値キーパッド、および外付けキーボードを接続する方法について説明します。

マウスまたは数値キーパッドの接続

マウスまたは数値キーパッドを、ThinkPad 背面の外付け入力装置コネクタ（）に外付けで接続することができます。

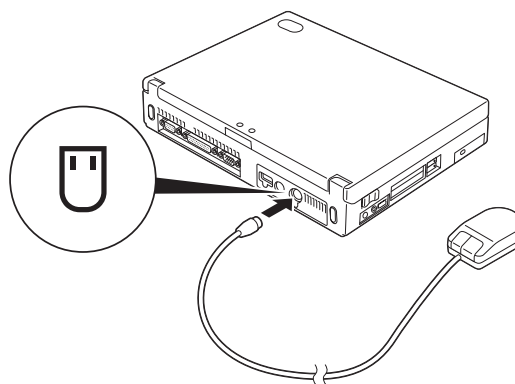


マウス



数値キーパッド

マウスを接続する場合は、図のように、外付け入力装置コネクタに直接接続します。

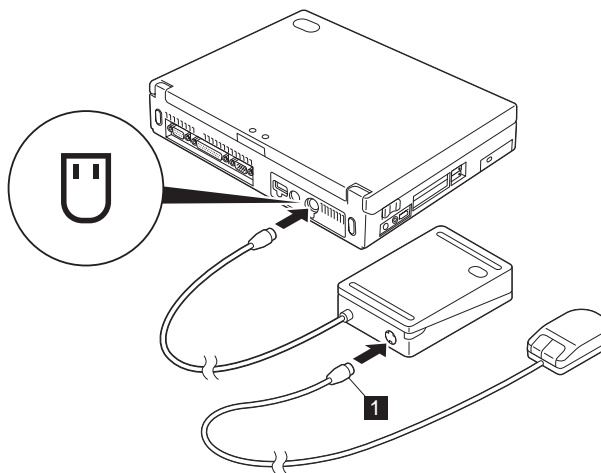


マウス、数値キーパッド、および外付けキーボードの接続

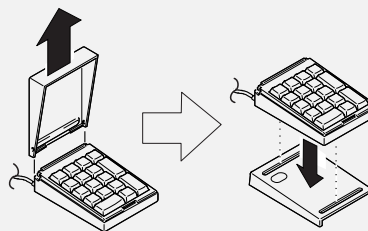
重要

ポインティング・デバイスとして IBM ミニーマウスとトラックポイントを同時に使うことができます。IBM ミニーマウス以外のマウスを接続する場合 → 58ページの『トラックポイントの使用不可』

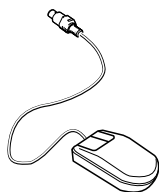
数値キーパッドとマウスを同時に使用したい場合は、まず数値キーパッドのケーブルを ThinkPad 本体に接続し、次にマウス・ケーブルを数値キーパッドの背面のコネクターに接続します **1**。



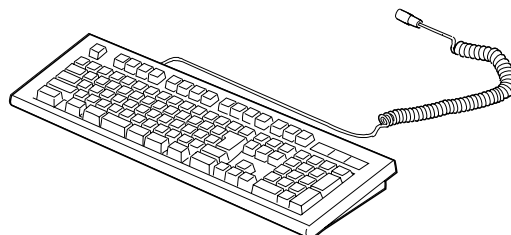
数値キーパッド・カバーを取り外し、数値キーパッドのスタンドとして使用できます。



外付けキーボードとマウスの接続



マウス



外付けキーボード

ThinkPad に外付けキーボードを接続する場合は、次のどちらかを使用してください。

- キーボード/マウス・コネクタ (オプション)
- ポート・リプリケータ (オプション)

外付けキーボードは、**ThinkPad** 本体の外付け入力装置コネクタに直接接続しても、作動しません。

外付けキーボードを接続すると、次のキーが使用できなくなります。

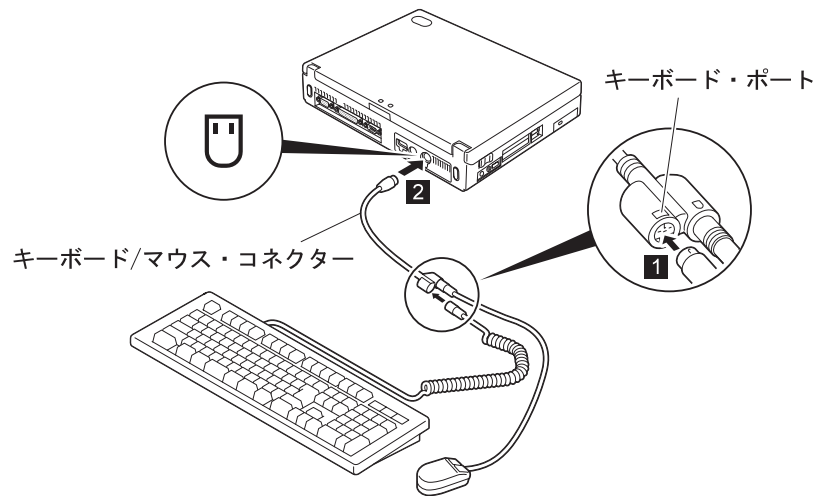
- ThinkPad 本体のキーボード上の数値キーパッド
- 外付けの数値キーパッド

代わりに、外付けキーボードの数値キーパッドを使用してください。

マウス、数値キーパッド、および外付けキーボードの接続

キーボード/マウス・コネクタを接続する場合は、ThinkPad の電源をオフにし、外付けキーボードをキーボード/マウス・コネクタのキーボード・ポートに接続してから **1**、キーボード/マウス・コネクタを ThinkPad に接続します **2**。

マウスは、キーボード/マウス・コネクタのマウス・ポートに接続します。



トラックポイントの使用不可

トラックポイントは、システムに接続された別のマウス (ポインティング・デバイス) と同時に作動するように設計されていますが、マウスの種類によっては、それらを使用する前にトラックポイントを使用不可にする必要があります。次のようなマウスはこれに該当します。

- 外付け入力装置コネクタに接続された PS/2 マウスと完全な互換性のないマウス
- シリアル・コネクタに接続されたマウス
- 汎用シリアル・バス (USB) コネクタに接続されたマウス

トラックポイントを使用不可にする手順は、次のとおりです。

1 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。

29ページの『ThinkPad 機能設定プログラム』を参照してください。

2 「トラックポイント」 () アイコンをクリックします。

3 トラックポイントで「自動使用不可」をクリックします。

この設定では、マウスが外付け入力装置コネクタが接続されたときに、自動的にトラックポイントが使用不可になります。マウスが接続されていないときは、トラックポイントは使用可能になります。



シリアル・コネクタまたは汎用シリアル・バス (USB) コネクタに接続されたマウスを使用する場合は、「使用しない」を選択する必要があります。

外付けディスプレイの接続

ここでは、ThinkPad の LCD と外付けディスプレイの使用方法について説明します。また、DOS のアプリケーションを使用する場合の考慮事項についても記述します。




ThinkPad の LCD は、*TFT (Thin-Film Transistor)* テクノロジーを採用しています。このタイプの LCD は、XGA (1024x768 の解像度) ビデオ・モードで 1,677 万色を出力します。

VGA (640x480 の解像度)モードよりも高解像度をサポートする外付けディスプレイを接続すれば、最大 1280x1024 の解像度で表示できます。

重要

ムービーの再生中やゲームのプレイ中など、動画の作動中は、ディスプレイの表示モードを変更しないでください。アプリケーションをいったん終了してからディスプレイの表示モードを変更してください。

外付けディスプレイを接続する手順は、次のとおりです。

- 1 ThinkPad の電源をオフにします。
- 2 外付けディスプレイを ThinkPad の背面にある外付けディスプレイ・コネクタ () に接続してから、電源コンセントに接続します。
- 3 外付けディスプレイと ThinkPad の電源をオンにします。
- 4 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。
29ページの『ThinkPad 機能設定プログラム』を参照してください。
- 5 「LCD と CRT ディスプレイ両方」 () アイコンまたは「CRT ディスプレイ単独」 () アイコンをクリックして、ディスプレイの表示モードを変更します (Windows 98 の場合は、画面の 左上、Windows NT の場合は、画面の 上部中央よりやや右寄りにあります)。

重要

VGA モード (640x480 の解像度) のみをサポートする外付けディスプレイを接続する場合は、「LCD と CRT ディスプレイ両方」を選択 しないでください。選択すると、外付けディスプレイの画面が乱れ、出力も表示されなくなることがあります。さらに、画面が損傷する場合があります。代わりに「CRT ディスプレイ単独」を使用してください。




また、**Fn** + **F7** キーを押して、ディスプレイの表示モードを変更することもできます。

6 次のようにして、ディスプレイの表示先とディスプレイ・デバイス・ドライバーを設定します。



詳細情報 → 62ページの『解像度、色数、およびリフレッシュ・レート』

- a) 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。
- b) 「外付けディスプレイ」() アイコンをクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- c) 「詳細」ボタンをクリックします。
- d) 「モニタ」タブをクリックします。
- e) 「変更」ボタンをクリックします。

「デバイス・ドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。画面の指示に従い、「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し、ディスプレイ・リストからディスプレイのタイプを選択します。

7 ThinkPad を再起動して、新しい設定を有効にします。



ThinkPad がサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードになっているときに、外付けディスプレイを取り外さないでください。
ThinkPad が通常の操作状態に戻ったときに外付けディスプレイが接続されていないと、**LCD** には何も表示されません。この制限事項は、いずれの解像度も同様です。

解像度、色数、およびリフレッシュ・レート: 次の表は、ThinkPad または外付けディスプレイで表示可能な解像度、色数、およびリフレッシュ・レートを示しています。この表を使用して、表示モード（「**LCD 単独**」、「**CRT ディスプレイ単独**」、または「**LCD と CRT ディスプレイ両方**」）を設定してください。



オペレーティング・システムをインストールする場合、XGA モードを使うには ThinkPad 用のディスプレイ・ドライバをインストールする必要があります。

- 出力を LCD または LCD と外付けディスプレイの両方に表示する場合（「**LCD 単独**」または「**LCD と CRT ディスプレイ両方**」）

解像度	サポートされる色数
640x480 (VGA)	16 色、256 色、65,536 色、および約 1,677 万色
800x600 (SVGA)	256 色、65,536 色、および約 1,677 万色
1024x768 (XGA)	256 色、65,536 色、および約 1,677 万色
1280x1024 (SXGA) (仮想画面)	256 色



ThinkPad で生成される高解像度の画面イメージの一部を表示するために、*仮想画面* 機能を使用することができます。画面の他の部分は、トラックポイントや他のポインティング・デバイスを動かすことで見ることができます。

- 出力を外付けディスプレイに表示する場合
 (「CRT ディスプレイ単独」)

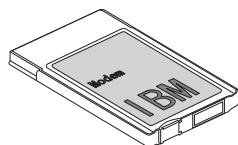
解像度	サポートされる色数	リフレッシュ・レート
640x480 (VGA)	256 色、65,536 色、および約 1,677 万色	60 Hz、75 Hz、および 85 Hz
800x600 (SVGA)	256 色、65,563 色、および約 1,677 万色	60 Hz、75 Hz、および 85 Hz
1024x768 (XGA)	256 色、65,536 色、および約 1,677 万色	60 Hz、70 Hz、75 Hz、85 Hz
1280x1024 (SXGA)	256 色	60 Hz



外付け CRT の製品によっては、解像度やリフレッシュ・レートが制限されていることがあります。

PC カードの取り付け

ここでは、PC カードの取り付け方法について説明します。



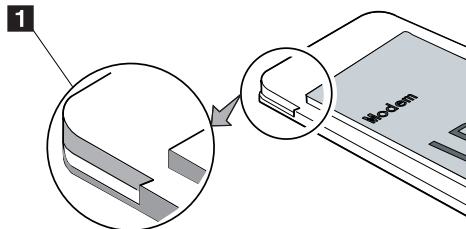
重要

ThinkPad がサスペンド・モードのときは、PC カードを取り付けないでください。取り付けると、システムが停止する場合があります。

ThinkPad には 2 つの PC カード・スロット (上段スロットと下段スロット) があり、次のタイプのカードをサポートします。

- PC カード (タイプ I、タイプ II、およびタイプ III)
- CardBus
- ZV (Zoomed Video)

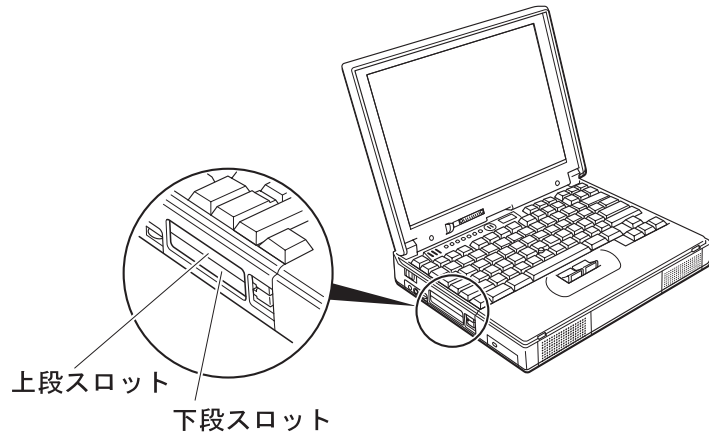
1 PC カードの切り込み **1** のある側を探します。



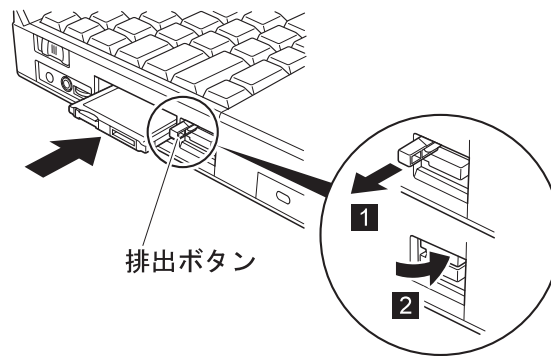
2 PC カードのタイプに合った PC カード・スロットに PC カードを差し込みます。



- XJACK** コネクター付きの PC カードは、上段スロットに差し込んでください。
- タイプ I またはタイプ II の PC カードは、上段スロット、下段スロットのどちらかに差し込んでください。
- タイプ III の PC カードは、下段スロットに差し込んでください。



- 3** PC カード排出ボタンが飛び出すまで、PC カードをコネクタにしっかりと差し込みます。そのあとで、排出ボタンを少し外に引き出し **1**、手前に倒します **2**。





- **Windows 98** の場合
PC カード・ドライバーをインストールしていない場合、Windows 98 は「PCMCIA カード・サービス・ウィザード」を始動して、PC カード・ドライバーをインストールします。画面の指示に従ってください。
- **Windows NT** の場合
ThinkPad には CardWizard という PC カード・サポート・ソフトウェアがあります。これにより、PC カードを ThinkPad に取り付けてすぐにそのカードが使用可能になります。「SystemSoft CardWizard」ウィンドウが表示され、新しいカードの情報を知らせます。

これで、PC カードの取り付けが完了しました。すぐに PC カードを使うことができます。PC カード・ソフトウェアの使用方法 ➡ [ステップ・アップ・ガイド](#)

PC カードの取り外し

PC カードを取り外す前に、そのカードを停止する必要があります。そうしないと、システムが停止したり、データが壊れたり損傷したりする可能性があります。

1 カードを停止します。

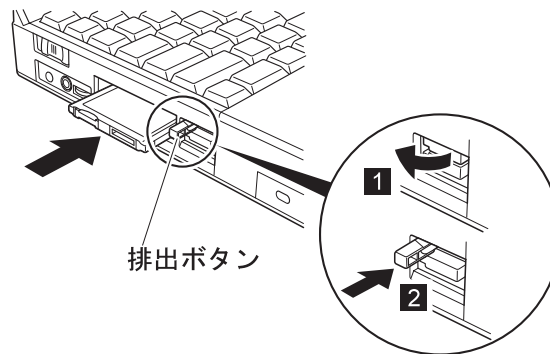
PC カードの停止方法 → [ステップ・アップ・ガイド](#)



CardSoft モードにあるとき、またはカードがすでに停止している場合は、「停止」オプションが灰色で表示されます。

2 取り出す PC カードの PC カード排出ボタンを持ち上げ **1**、PC カードが飛び出すまで PC カード排出ボタンを押します **2**。

3 PC カードを取り出し、安全な場所に保管します。



PC カードの使用に関する詳細情報 → [ステップ・アップ・ガイド](#)

PC カード・モデム (オプション) の取り付け

ここでは、一例としてオプションの PC カード・モデムを取り付ける手順を説明します。

重要

一般に、PC カード・モデムは、公衆電話回線 (アナログ回線) にしか接続できないので、デジタル電話回線では使用しないでください。アナログ回線以外の回線に接続すると、モデムやデジタル交換機が損傷することがあります。

⚠ 危険

感電事故を防止するため、雷雨時には電話ケーブルを電話用モジュラー・ジャックから抜き差ししないでください。

PC カード・モデムを取り付ける手順は、次のとおりです。

1 PC カード・モデムを PC カード・スロットに差し込みます。

画面の指示に従い、適切なモデム・デバイス・ドライバを構成してください。製造元のディスクレットからモデム・デバイス・ドライバをインストールする必要がある場合があります。PC カード・モデムに付属の資料を参照してください。

2 「スタート」をクリックし、カーソルを「設定」、「コントロールパネル」の順に移動します。

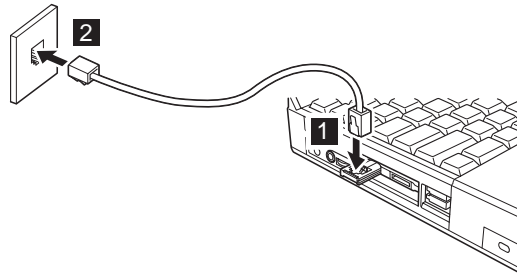
3 「コントロールパネル」をクリックしてから、「テレフォニー」をダブルクリックします。

「所在地情報」ウィンドウが表示されます。



4 必要な情報を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

- 5** PC カード・モデム付属の電話ケーブルの一方の端を PC カード・モデムに接続し **1**、ケーブルのもう一方の端を電話用モジュラー・ジャックに接続します **2**。



これで、PC カード・モデムの取り付けが完了しました。

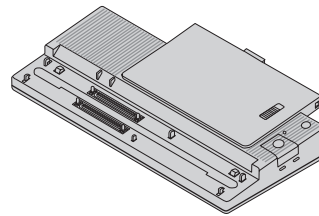
PC カード・サポート・ソフトウェアの詳細情報 ➡ ステップ・アップ・ガイド

ポート・リプリケーターの使用



ThinkPad を接続 (ドッキング) または取り外す (アンドッキング) 方法については、拡張ポート・リプリケーター (EtherJet 機能付き) に付属のユーザーズ・ガイドを参照してください。

ThinkPad を拡張ポート・リプリケーター (EtherJet 機能付き) にドッキングすると、ThinkPad 背面のコネクターがすべて隠れてしまうため、ThinkPad のコネクターが使用できなくなります。これらのコネクターの代わりに拡張ポート・リプリケーター (EtherJet 機能付き) 上のコネクターを使用することができ、さらに追加機能も使用できます。



拡張ポート・リプリケーター (EtherJet 機能付き)



ThinkPad には、ポート・リプリケーター (ThinkPad 560) を接続することもできます。

重要

拡張ポート・リプリケーター (EtherJet 機能付き) は AC 電源でしか動作しないので、拡張ポート・リプリケーター (EtherJet 機能付き) を ThinkPad からのバッテリー電源で使用することはできません。そのため、拡張ポート・リプリケーター (EtherJet 機能付き) の使用中は AC アダプターを外さないでください。使用中に AC アダプターを外すと、ThinkPad の誤動作の原因となります。



Windows 98 の場合

ThinkPad がサスペンド・モードのとき、または ThinkPad の電源がオフのときにも、ThinkPad のドッキングおよびアンドッキングが可能です。たとえば、ThinkPad をアンドッキングする場合、次のいずれかの方法を選べます。

- 「スタート」メニューの「取り出し」を選択します (サスペンド・モード)。
- ポート・リプリケーターの「排出要求」ボタンを押します (サスペンド・モード)。
- ThinkPad の電源をオフにして LCD を閉じます。

ハイバネーション・モードのときは、ThinkPad のドッキングまたはアンドッキングを行なわないでください。

Windows NT の場合

ThinkPad の電源がオフになっている場合にのみ、ThinkPad のドッキングまたはアンドッキングを行うことができます。

- ThinkPad の電源をオフにして LCD を閉じます。



ThinkPad またはポート・リプリケーターの電源オン・インディケータがオンになっていない場合は、**[Fn]** キーを押します。

CardBus スロットを使用可能にするには (Windows 98 の場合)

ThinkPad が、サスペンド・モードのときにポート・リプリケーターを接続すると、CardBus スロットが正しく機能しない場合があります。この場合は、次の手順で CardBus スロットを使用可能にします。

- 1** 「スタート」をクリックし、カーソルを「設定」に移動してから、「コントロール パネル」をクリックします。
- 2** 「システム」をダブルクリックします。
- 3** 「デバイス・マネージャ」をクリックし、「PCMCIA ソケット」をダブルクリックします。CardBus スロットが使用可能でない場合は、「PCMCIA ソケット」の下に、感嘆符 (!) が付いた **Texas Instruments PCI-1250 CardBus Controller** という行が 2 行が表示されます。
- 4** どちらかの行をクリックし、「削除」ボタンをクリックします。
- 5** もう一方の行をクリックし、「削除」ボタンをクリックします。
- 6** 「更新」ボタンをクリックします。

これで CardBus ソケットが使用可能になります。

第3章

システムの保護

本章では、ThinkPad の盗難または不正使用を防ぐ方法について説明します。また、名前や住所などのパーソナル・データをパスワード・プロンプト画面に表示する方法についても記述します。

パスワードの使用	74
パスワードの入力	76
パスワードの設定	76
パスワードの変更または消去	80
始動パスワードおよびハードディスク・ドライブ・パスワードの場合	80
スーパーバイザー・パスワードの場合	82
スーパーバイザー権限による始動パスワードの消去	84
パーソナライゼーション・エディターの使用	86
パーソナル・データの入力	86
パーソナル・データの削除	89
ロック機能の使用	90
セキュリティーねじの使用	91

パスワードの使用

ThinkPad には、使用許可を受けていない人が勝手にアクセスできないようパスワード設定機能が付いています。パスワードが設定されると、ThinkPad の電源を入れるたびにパスワード・プロンプトが画面に表示され、パスワードを入力しなければなりません。正しいパスワードが入力されない、ThinkPad を使うことはできません。

ThinkPad には、次のパスワードを設定することができます。

- 始動パスワード
始動パスワードは、使用許可を受けていない人が勝手に ThinkPad を使うのを防ぐためのものです。このパスワードには、次のセキュリティー機能があります。
 - 始動時に始動パスワードを入力する必要があるため、使用許可のない人は、勝手に ThinkPad を使うことができません。
 - サスペンド・モードから通常の操作を再開するときにも始動パスワードを入力する必要があるため、使用許可のない人は、勝手に ThinkPad を使うことができません。
- ハードディスク・ドライブ・パスワード
ハードディスク・ドライブ・パスワードは、セキュリティー機能の追加機能です。たとえば、始動パスワードを設定していたとしても、その ThinkPad のハードディスク・ドライブを取り外し、別の ThinkPad に取り付ければ、ハードディスク内のデータにアクセスすることができます。しかし、ハードディスク・ドライブ・パスワードを設定していれば、そのパスワードを知らない人は、ハードディスク・ドライブ上のデータにアクセスできなくなります。ハードディスク・ドライブ・パスワードには次のセキュリティー機能があります。
 - 始動時にハードディスク・ドライブ・パスワードを入力する必要があります。
 - ハードディスク・ドライブが他の ThinkPad に移動されていても、ハードディスク・ドライブ・パスワードを始動時に入力しなければなりません。そのため、たとえばハードディスク・ドライブが ThinkPad から取り外されても、使用許可を受けていない人はハードディスクにアクセスできないこととなります。
 - スーパーバイザー・パスワードを設定していない場合、ThinkPad がサスペンド・モードから通常の操作に戻るときにもハードディスク・ドライブ・パスワードを入力する必要があります。

- スーパーバイザー・パスワード
スーパーバイザー・パスワードはシステム管理者用のツールで、多くの ThinkPad を管理するために使われます。スーパーバイザー・パスワードはシステム管理者によって設定されるものであり、ユーザーには必要ありません。ユーザーは、スーパーバイザー・パスワードを知らなくても ThinkPad を起動することができます。ただし、Easy-Setup にアクセスするときだけは、スーパーバイザー・パスワードが必要です。このパスワードには次のセキュリティ機能があります。
 - システム管理者のみが Easy-Setup にアクセスできます。スーパーバイザー・パスワードが設定されていると、Easy-Setup を始動しようとするたびにパスワード・プロンプトが表示されます。
 - 使用許可を受けていない人からデータを保護するために始動パスワードを使うことができます。
 - たとえ始動パスワードが設定されている ThinkPad であっても、システム管理者であればスーパーバイザー・パスワードを使ってその ThinkPad にアクセスできます。スーパーバイザー・パスワードが始動パスワードよりも優先されるからです。
 - スーパーバイザー・パスワードは、ハードディスク・ドライブ・パスワードよりも優先されます。ハードディスクをスーパーバイザー・パスワードで保護し、使用許可を受けていない人がハードディスク内のデータにアクセスできないようにすることができます。
 - システム管理者は、同一のスーパーバイザー・パスワードを複数の ThinkPad に設定し、管理しやすくすることができます。
- その他のパスワード
「**ThinkPad** 機能設定」プログラムの「省電力」アイコンをクリックすると表示される「電源の管理のプロパティ」ウィンドウの「詳細」タブで、「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」にチェック・マークを付けると、サスペンド・モードから通常の操作に戻るためには、Windows 98 ログオン・パスワードが必要です。一部の Microsoft のオペレーティング・システムでは、独自の Windows 用パスワードを提供しています。これらのパスワードの設定方法、変更方法、使用方法については、オペレーティング・システムのユーザーズ・ガイドを参照してください。

パスワードの入力

パスワードを設定すると、画面の左上隅にパスワード・プロンプトが表示されます。このプロンプトは、ThinkPad の電源をオンにするたびに、またはサスペンド・モードから通常の操作状態に戻るたびに表示されます。

ただし、ThinkPad が設定されているタイマーまたはモデム着信による呼び出しによって通常の操作状態に戻る場合は、パスワード・プロンプトは表示されません。パスワード・プロンプトを表示させるには、任意のキーを押すか、ポインティング・デバイスを動かしてください。

パスワードを入力する手順は、次のとおりです。

1 パスワードを入力します。

キーを押すたびに“•”の記号が表示されます。パスワードを入力するときは指をキーからすばやく離してください。1つのキーを長く押し続けると、同じ文字が繰り返し入力されてしまいます。

2 **Enter** キーを押します。

正しいパスワードを入力すると「OK」が表示され、誤ったパスワードを入力すると「X」が表示されます。パスワードを3回間違えた場合は、ThinkPad の電源をオフにし、5秒以上待ってから、電源をオンにして入力してください。

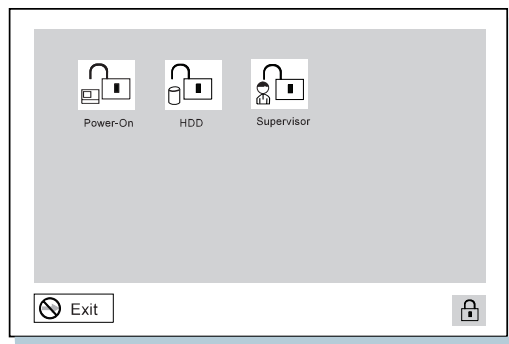
パスワードの設定

パスワードを設定する手順は、次のとおりです。

1 Easy-Setup を始動します。

- a) **F1** キーを押しながら、ThinkPad の電源をオンにします。
- b) 「Easy-Setup」メニューが表示されるまで **F1** キーを押し続けます。

2 「Easy-Setup」メニューの「Password」アイコンをクリックします。「Password」メニューが表示されます。



このアイコンを選択すると、始動 (**Power-on**) パスワードを設定するサブメニューが表示されます。



このアイコンを選択すると、ハードディスク・ドライブ (**HDD**) パスワードを設定するメニューが表示されます。



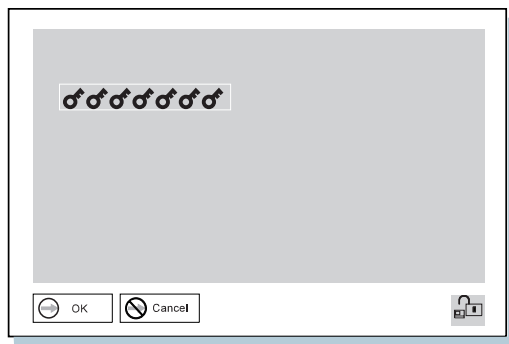
このアイコンを選択すると、スーパーバイザー (**Supervisor**) ・パスワードを設定するサブメニューが表示されます。



かぎのかかっていない「キーロック」アイコンは、パスワードが設定されていないことを示します。

3 「Power-On」(始動)、「HDD」(ハードディスク)、または「Supervisor」(スーパーバイザー)のうち、設定したいパスワードのアイコンをクリックします。

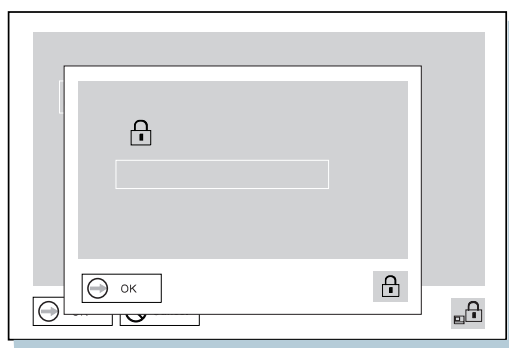
4 任意のパスワードを入力します。



英文字 (A~Z) と数字 (0~9) を組み合わせて、7 文字以内の任意の文字を使用できます。大文字と小文字 (たとえばA と a) は、同じ文字として扱われます。

パスワードを誤って入力してしまった場合は、**Backspace** キーを使用して消去し、パスワードを正しく入力し直してください。

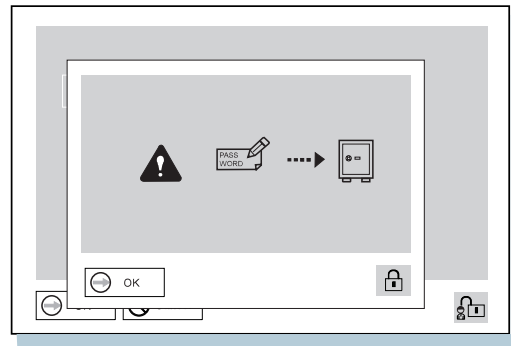
- 5** **Enter** キーを押します。次のパスワード確認用のウィンドウが表示されます。



- 6** 確認のため、もう一度パスワードを入力し、**Enter** キーを押します。



ハードディスク・ドライブ・パスワードまたはスーパーバイザー・パスワードを設定した場合は、次のようなウィンドウが表示されます。これは、パスワードをメモして安全な場所に保管しておくことを指示するものです。



これで、パスワードが設定されました。



パスワードを忘れないでください。

ハードディスク・ドライブ・パスワードやスーパーバイザー・パスワードを忘れた場合、パスワードを再設定することも、ハードディスクからデータを復元することもできません。IBM 特約店または IBM 販売店に ThinkPad をお持ちいただき、ハードディスクまたはシステム・ボードを交換していただくことになります。このサービスを受けるには、購入を証明するものが必要であり、有料になります。IBM 代理店や IBM 営業担当員でも、ハードディスク・ドライブを使用可能にすることはできません。

パスワードの変更または消去

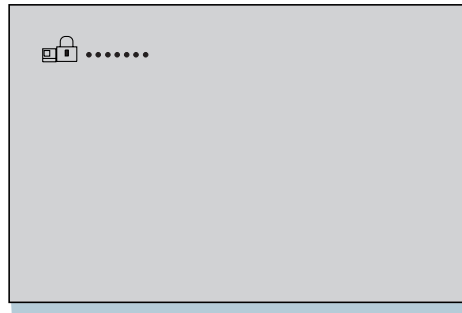
この機密保護機能は、他人が勝手にパスワードを消去し、ThinkPad を使用することを防いでいます。パスワードを変更または消去する手順は、次のとおりです。

始動パスワードおよびハードディスク・ドライブ・パスワードの場合

- 1 ThinkPad の電源をオフにし、5 秒以上待ってからもう一度オンにします。

パスワード・プロンプトが表示されます。

- 2 現在のパスワードを入力します。



- 3 **スペース** キーを押します。

パスワードを変更する場合は、ステップ 4 に進みます。

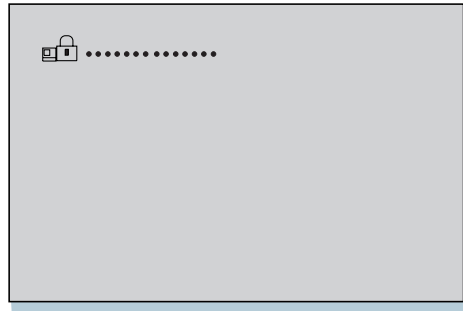
パスワードを消去する場合は、**Enter** キーを押します。

次のウィンドウが表示され、システムが再起動します。



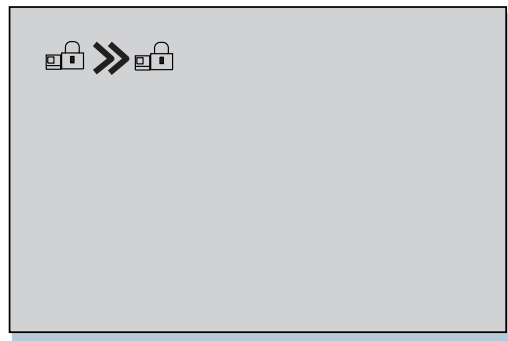
これで、パスワードは消去されました。残りのステップは省略してください。

- 4** パスワードを変更する場合は、新しいパスワードを入力してから、**スペース** キーを押します。



- 5** 確認のため、もう一度新しいパスワードを入力し、**Enter** キーを押します。

次のウィンドウが表示され、システムが再起動します。



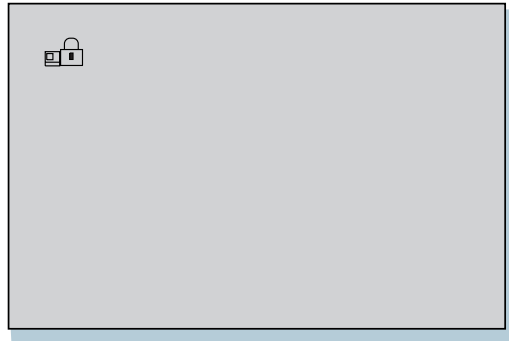
パスワードはメモし、安全な場所に保管しておいてください。

これで、パスワードが変更されました。

スーパーバイザー・パスワードの場合

1 Easy-Setup を始動します。

- a) **F1** キーを押しながら、ThinkPad の電源をオンにします。
- b) パスワード・プロンプトが表示されるまで、**F1** キーを押し続けます。



2 スーパーバイザー・パスワードを入力します。

「Easy-Setup」メニューが表示されます。

3 メニューの「**Password**」を選択します。

4 「**Supervisor**」を選択します。

パスワードを変更する場合は、ステップ 8 に進みます。

5 パスワードを消去する場合は、現在のパスワードを入力してから、

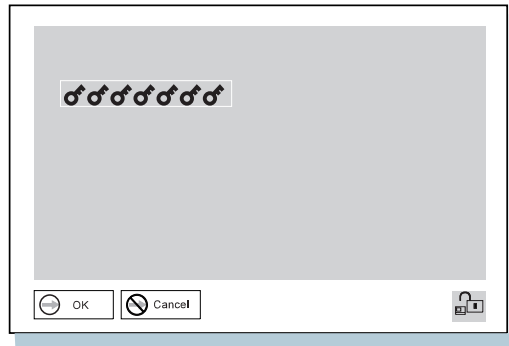
スペース キーを押します。

6 **Enter** キーを 2 回押します。

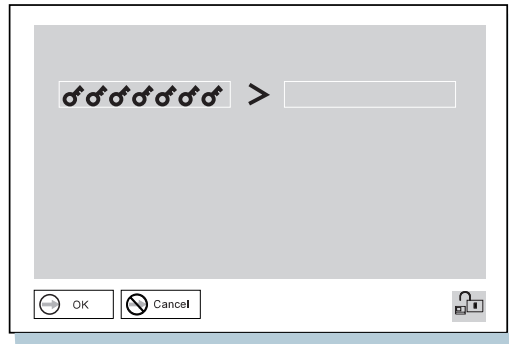
7 「**Exit**」をクリックしてから、「**Restart**」をクリックします。

これで、スーパーバイザー・パスワードは消去されました。ThinkPad が再起動します。残りのステップは省略してください。

- 8** パスワードを変更する場合は、現在のパスワードを入力してから、**スペース** キーを押します。



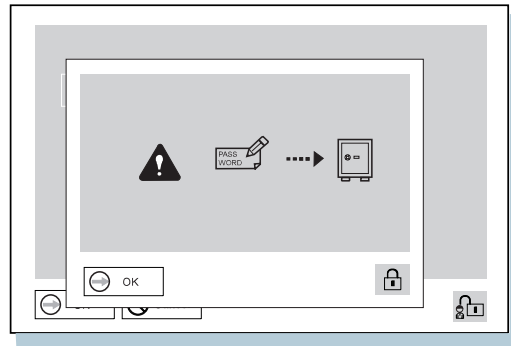
- 9** 新しいパスワードを入力してから、**Enter** キーを押します。



- 10** 確認のため、もう一度新しいパスワードを入力し、**Enter** キーを押します。



次のようなウィンドウが表示されます。これは、パスワードをメモして安全な場所に保管しておくことを指示するものです。



- 11** もう一度 **Enter** キーを押します。

- 12** 「Exit」をクリックしてから、「Restart」をクリックします。

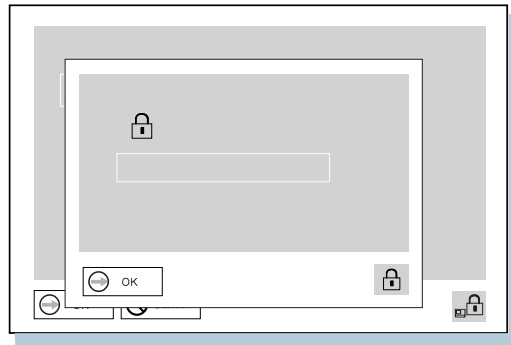
これで、スーパーバイザー・パスワードは変更されました。ThinkPad が再起動します。

スーパーバイザー権限による始動パスワードの消去

スーパーバイザー・パスワードを知っていれば (始動パスワードを知らなくても)、始動パスワードを消去することができます。

- 1** **F1** キーを押しながら、ThinkPad の電源をオンにします。
パスワード・プロンプトが表示されます。
- 2** スーパーバイザー・パスワードを入力します。
「Easy-Setup」メニューが表示されます。
- 3** メニューの「Password」を選択します。

- 4 メニューの「Power on」を選択します。
- 5 スーパーバイザー・パスワードを入力してから、**スペース** キーを押します。
- 6 **Enter** キーを押します。
「パスワード確認」ウィンドウが表示されます。



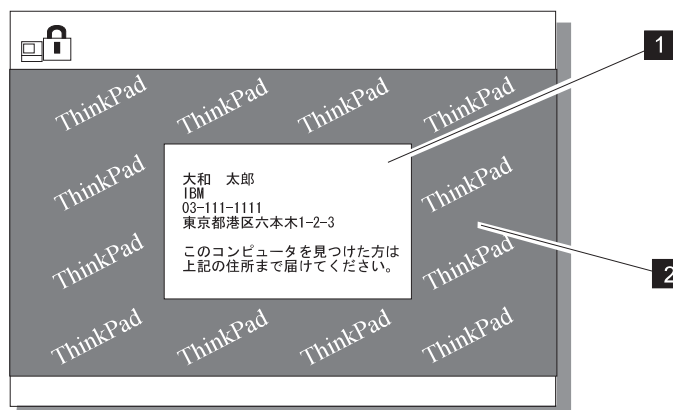
- 7 もう一度 **Enter** キーを押します。
- 8 「Exit」をクリックしてから、「Restart」をクリックします。
ThinkPad が再起動します。これで、始動パスワードは消去されました。

パーソナライゼーション・エディターの使用

パーソナライゼーション・エディターを使うと、ThinkPad の電源をオンにするたびに、名前や住所などの個人情報を表示できます。この機能は、複数の ThinkPad が使用されている場所で個々の ThinkPad を識別したり、盗難から防止するのに役立ちます。

パーソナル・データの入力

パーソナライゼーション機能によるパスワード・プロンプト画面には、パーソナル・データ領域 **1** と背景のビットマップ領域 **2** の 2 つの領域があります。



「パーソナライゼーション・エディター」で名前、住所、および会社名を登録する手順は、次のとおりです。



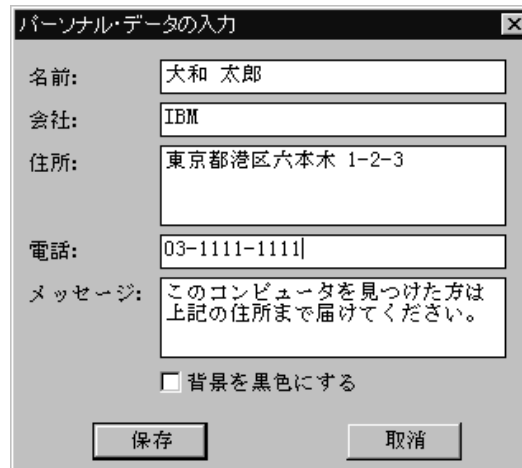
この情報を表示するには、始動パスワードをあらかじめ設定しておく必要があります。

- 1 ThinkPad の電源をオンにします。
- 2 導入済みアプリケーション CD のディスクット・ファクトリーを使って、「ユーティリティー・ディスクット (DOS, パーソナライゼーション)」を作成します。(詳細情報 → ステップ・アップ・ガイド)
- 3 「ユーティリティー・ディスクット (DOS, パーソナライゼーション)」をディスクット・ドライブに入れます。
- 4 次の手順で「パーソナライゼーション・エディター」をオープンします。
 - a) 「スタート」ボタンをクリックします。
 - b) カーソルを「プログラム」、「ThinkPad」の順に移動してから、「パーソナライゼーション・エディター」をクリックします。

次のウィンドウが表示されます。



- 5** 「パーソナル・データ」をクリックし、ボックス内に必要な情報を入力します。「OK」をクリックしてデータを保存します。



背景のビットマップを変更する場合は、ステップ 6 に進みます。変更しない場合は、ステップ 10 (89ページ) に進みます。

- 6** 「パーソナライゼーション・エディター」ウィンドウで「背景」を選択します。

「OK」を押すと、Windows の「ペイント」が自動的にオープンします。

- 7** イメージを作成したり、背景に色を付けたりします。

ビットマップ・サイズは、160x100 ピクセルにしてください。サイズを変更するには、「変形」を選択してから、「キャンパスの色とサイズ」を選択します。「幅」を 160 に、「高さ」を100に、「単位」をピクセルに指定し、「OK」を押します。

- 8** 「ファイル」から「名前を付けて保存」を選択し、作成した図形を「ユーティリティー・ディスク (DOS, パーソナライゼーション)」にファイルの種類を 16 色のビットマップに指定して保存します。



画面の全画面の大きさを確認したい場合は、「プレビュー」を選択してください。

- 9 **Enter** キーを押して、直前のウィンドウに戻ります。
- 10 システムを終了させ、ThinkPad の電源をオフにします。
- 11 「ユーティリティー・ディスクレット (DOS, パーソナライゼーション)」のバックアップ・コピーをディスクレット・ドライブに入れ、ThinkPad の電源をオンにします。
- 12 「メイン・メニュー」画面で「パーソナライゼーション・データの更新」を選択し、画面の指示に従います。
これで設定したパーソナル・データは「ユーティリティー・ディスクレット (DOS, パーソナライゼーション)」から ThinkPad の不揮発性メモリーに格納されます。
- 13 データを保管したら、ThinkPad の電源をオフにします。
- 14 パスワードが設定されていない場合は、設定してください。
詳細については、「ヘルプ」をクリックしてください。

入力した情報は、次に ThinkPad の電源をオンにしたときから表示されません。

パーソナル・データの削除

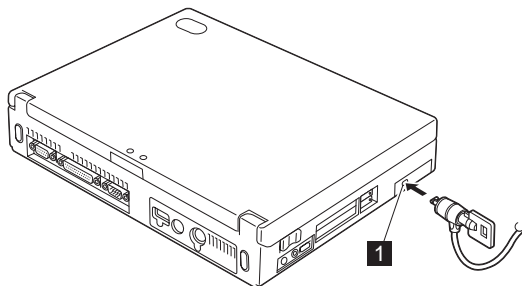
パーソナル・データを削除し、初期値のパスワード・プロンプトに戻す手順は、次のとおりです。

- 1 ThinkPad の電源をオフにします。
- 2 「ユーティリティー・ディスクレット (DOS, パーソナライゼーション)」をディスクレット・ドライブに入れ、ThinkPad の電源をオンにします。
- 3 「メイン・メニュー」画面で「パーソナライゼーション・データの削除」を選択し、画面の指示に従います。
- 4 データを更新したら、ThinkPad を再起動します。

ロック機能の使用

ThinkPad の不正使用防止のため、ThinkPad に市販のセキュリティー・システム・ロックを取り付けることができます (セキュリティー・システム・ロックは付属していません。ThinkPad に対応したものをご用意ください)。

セキュリティー・システム・ロックを ThinkPad 左側のキーホール **1** につなげ、ロックの鎖を安全で動かないものにつなぎます。



セキュリティー・システム・ロック装置と機密保護機能の評価、選択、および取り付けはお客様で行っていただきます。IBM では、その機能性、品質、および性能についての言及、評価、および保証は行いません。

セキュリティーねじの使用

ThinkPad に付属のセキュリティーねじを使用して、ハードディスク・ドライブを簡単に取り外せないようにできます。

コイン型ネジとセキュリティーねじを交換する手順は、次のとおりです。

- 1** ThinkPad の電源をオフにし、AC アダプターやその他のケーブル類を取り外します。
- 2** LCD を開きます。次に、ThinkPad を右側を下にして立て、コインを使ってコイン型ネジを外します。
- 3** セキュリティーねじを取り付け、2.5mm の六角レンチで締めます (六角レンチは付属していません。別途ご用意ください)。
- 4** ThinkPad の表を上に出します。ThinkPad に AC アダプターを接続してから、電源をオンにします。

セキュリティねじの使用

第4章

問題が起こったら . . .

よく聞かれる質問とその答え	94
考慮事項および制限事項	103
省電力機能の使用	107
PC カードの使用	108
USB コネクタに関する考慮事項	108
CardWizard に関する考慮事項	109
2 枚目の CardBus カードの使用	109
マイクロホンの使用	109
問題判別ガイド	111
問題判別表	112
エラー・コードまたは画面上のメッセージ	113
エラー・コードまたは画面上のメッセージで表示されない問題	119
入力装置の問題	120
サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードの問題	121
液晶ディスプレイ (LCD) の問題	124
インディケータの問題	125
バッテリーの問題	125
CD-ROM ドライブの問題	126
赤外線通信の問題	127
汎用シリアル・バス (USB) の問題	128
PC カードの問題	128
プリンターの問題	133
外付けディスプレイの問題	134
ポート・リプリケータの問題	137
その他のオプションの問題	139
ソフトウェアの問題	141
その他の問題	142
ThinkPad のテスト	143
削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復	145
リカバリー CD の使用	145
導入済みアプリケーション CD の使用	145

よく聞かれる質問とその答え

ここでは、よく聞かれる質問とその答えについて記述します。次の表で示すページに進み、そこで指示された処置をとってください。

質問	ページ
画面が消えるのを止める方法	96
赤外線ポートの設定方法	96
シリアル・コネクタの設定方法	97
トラックポイントとマウスの切り替え方法	98
ディスプレイの解像度の設定方法	98
外付けディスプレイの設定方法	99
バッテリーの寿命を最大限にする方法	101
オペレーティング・システムのインストール方法	102
リカバリー CD の使用方法	102

ここで扱う問題を解決するには、「ThinkPad 機能設定」プログラムを使用する必要があります。「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動するには、タスクバーの「ThinkPad」アイコンをダブルクリックしてください。

「ThinkPad 機能設定」プログラムのウィンドウが表示されます。



注: 「ThinkPad 機能設定」プログラムは、次の手順でも始動することができます。

1. 「スタート」ボタンをクリックします。
2. カーソルを「プログラム」、「ThinkPad」の順に移動してから、「ThinkPad 機能設定」をクリックします。

画面を消したくないときでも時間がたつと消えてしまいます。どのようにすれば、消えないようにできますか？

「ThinkPad 機能設定」プログラムを使えば、ディスプレイ・タイマーまたはシステム・スタンバイ・タイマーなどのシステム・タイマーをすべて使用不可に設定することができます。

- 1 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。
- 2 「省電力」アイコンをクリックし、「電源設定」タブをクリックします。

システム・タイマーは、特定の時刻を選択するのではなく、「なし」を選択することによって、使用不可にできます。

どのようにすれば、赤外線ポートを通信ポートとして使用可能にすることができますか？

赤外線ポートを使用不可にしている場合は、次に赤外線ポートを使う前に使用可能に設定する必要があります。赤外線ポートを使用可能にする手順は、次のとおりです。

- 1 作業を保管し、使用中のプログラムをすべて終了します。
- 2 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。
- 3 「赤外線ポート」アイコンをクリックします。
- 4 「使用する」をクリックします。
- 5 「OK」をクリックします。

ハードウェア・リソースが他の通信デバイスで使用されていることを示す「注意」が表示される場合があります。その場合は、「デバイスを使用不可にする」をクリックします。

注:

1. 赤外線ポートがすでに使用可能になっていることが確認できた場合は、設定を変更せずに、すぐに使用できます。
2. ThinkPad のシリアル・ポートは、赤外線ポートなど他の通信デバイスにリソースを解放するために、使用不可にすることができます。

赤外線ポートを使用可能にしたあとは、通信ポートとして使用できません。正しく作動しない場合は、通信ソフトウェア・アプリケーション

ョンに問題があるか、通信先のデバイスに問題がある可能性があります。通信先のデバイスに問題がない場合は、ご使用の通信ソフトウェアのオンライン・ヘルプを参照してください。

どのようにすれば、シリアル・ポートを通信ポートとして使用可能にすることができますか？

シリアル・ポートを使用不可にしている場合は、次にシリアル・ポートを使う前に使用可能に設定する必要があります。シリアル・ポートを使用可能にする手順は、次のとおりです。

- 1 使用中の作業とプログラムをすべて保管します。
- 2 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。
- 3 「シリアル・ポート」アイコンをクリックします。
- 4 「使用する」をクリックします。
- 5 「OK」をクリックします。

ハードウェア・リソースが他の通信デバイスで使用されていることを示す「注意」が表示される場合があります。その場合は、「デバイスを使用不可にする」をクリックします。

注:

1. シリアル・ポートがすでに使用可能になっていることが確認できた場合は、設定を変更せずに、すぐに使用できます。
2. ThinkPad の赤外線ポートは、シリアル・ポートなど他の通信デバイスに資源を解放するために、使用不可にできます。

シリアル・ポートを使用可能にしたあとは、通信ポートとして使用できます。正しく作動しない場合は、通信ソフトウェア・アプリケーションに問題があるか、通信先のデバイスに問題がある可能性があります。通信先のデバイスに問題がない場合は、ご使用の通信ソフトウェアのオンライン・ヘルプを参照してください。

オフィスではマウスを外付けで使用し、それ以外ではトラックポイントを使用するには、どうすればよいですか？

トラックポイントには、「自動使用不可」と呼ばれる設定機能が付いています。これは、ThinkPad に外付けマウスが接続されている状態で ThinkPad の電源をオンまたは再起動したときに、トラックポイントを使用不可に設定できる機能です。トラックポイントを使用可能にしたい場合は、外付けマウスを取り外してから ThinkPad を再起動します。

注: 「ThinkPad 機能設定」プログラムを使用して、手動でトラックポイントを設定する手順は、次のとおりです。

- 1 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。
- 2 「トラックポイント」アイコンをクリックします。
- 3 「使用する」、「使用しない」、または「自動使用不可」のどれかを選択します。
- 4 「OK」をクリックします。

LCD と外付け (CRT) ディスプレイを同時に使っているときは、外付け (CRT) ディスプレイから最高解像度で表示できません。なぜですか？

ThinkPad 本体の LCD と CRT ディスプレイの両方に、任意の解像度を設定することができます。ただし、両方を同時に使っている場合、2 つの解像度は同じものになります。ThinkPad 本体の LCD により高い解像度を設定すると、1 度に見られるのは画面の一部だけになってしまいます。隠れている部分は、トラックポイントや他のポインティング・デバイスを動かすことで見ることができます。画面の出力先は、「ThinkPad 機能設定」プログラムの「ディスプレイ装置」アイコンを使って、LCD 単独、CRT ディスプレイ単独、または LCD と CRT ディスプレイ両方のどれかに変更できます。また、**[Fn]** キー+ **[F7]** キーの組み合わせでも、出力先を変更することができます。

外付けディスプレイを設定する手順は、次のとおりです。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、カーソルを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動し、「コントロール パネル」をクリックします。

- 2 「画面」アイコンをダブルクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「設定」タブをクリックします。
- 4 「詳細」ボタンをクリックします。
- 5 「モニタ」タブをクリックします。
- 6 「変更」ボタンをクリックします。
「デバイス・ドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示
されます。
- 7 「次へ」をクリックします。
- 8 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、イン
ストールするドライバを選択する」をクリックし、「次へ」
をクリックします。「すべてのハードウェアを表示」を選択
します。
- 9 ご使用のディスプレイの「製造元」と「モデル」を選択しま
す。「次へ」をクリックして、画面の指示に従います。
- 10 「完了」をクリックして「デバイス・ドライバの更新ウィザ
ード」ウィンドウをクローズします。
- 11 「閉じる」をクリックして「NeoMagic MagicMedia
256AV プロパティ」ウィンドウをクローズします。
- 12 「設定」タブで、「色」と「画面の領域」を設定します。
- 13 「OK」をクリックします。

Windows のプラグ・アンド・プレイ機能が外付けディスプレイを検出しな
い場合、どのようにして外付けディスプレイを設定したらよいですか？

次の手順に従ってください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、カーソルを「設定」、
「コントロール パネル」の順に移動し、「コントロール パネ
ル」をクリックします。
- 2 「画面」アイコンをダブルクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「設定」タブをクリックします。
- 4 「詳細」ボタンをクリックします。

- 5 「モニタ」タブをクリックします。
- 6 「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」がチェックされていることを確認します。
- 7 このオプションがチェックされているにもかかわらず、再始動後もディスプレイが認識されない場合は、「変更」をクリックして、手動でモニターを設定します。「デバイス・ドライバーの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 8 ウィンドウ内のモニタのデバイス・ドライバー情報が正しいか、次の手順でチェックします。
 - a) 「スタート」ボタンをクリックし、カーソルを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動し、「コントロール パネル」をクリックします。
 - b) 「画面」アイコンをダブルクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
 - c) 「設定」タブをクリックします。
 - d) 「詳細」ボタンをクリックします。
 - e) 「アダプタ」タブで、ディスプレイ・デバイス・ドライバーが **NeoMagic MagicMedia 256AV** になっているか確認します。

必要なら、モニタのデバイス・ドライバーをインストールしてください。

注: 外付けディスプレイのプラグ・アンド・プレイ機能は、D-Sub ケーブルで接続されている場合にのみ使用できません。BNC ケーブルでは、使用できません。

どのようにすれば、バッテリーの寿命を最大限に使用することができますか？

バッテリーの寿命を最大限に使用する手順は、次のとおりです。

- バッテリー・モードでバッテリーが完全に空になるまで (バッテリー・インディケーターと電源インディケーターが同時に点滅するまで) バッテリーを使いきります。
- バッテリー・モードで使用する前に、バッテリーを再度フル充電します (AC アダプターを接続した状態で充電し、充電インディケーターが緑になったら、バッテリーはフル充電されたこととなります)。
- 新しいバッテリーや長い期間使用しなかったバッテリーの場合は、次の手順に従ってください。
 1. バッテリー・モードでバッテリーが完全に空になるまで (バッテリー・インディケーターと電源インディケーターが同時に点滅するまで) バッテリーを使いきります。
 2. バッテリー・モードで使用する前に、バッテリーを再度フル充電します (AC アダプターを接続した状態で充電し、充電インディケーターが緑になったら、バッテリーはフル充電されたこととなります)。
 3. 上記のステップを 3 回繰り返します。
- 常に、パワー・モード、スタンバイ・モード、サスペンド・モード、ハイバネーション・モードなどの省電力管理機能を使うようにしてください。

省電力管理機能の詳細 → [ステップ・アップ・ガイド](#)

どのようにすれば、**ThinkPad** に別のオペレーティング・システムをインストールできますか？

—または—

現在使用しているオペレーティング・システム用の **ThinkPad** デバイス・ドライバーは、どこで入手できますか？

新しいオペレーティング・システムとデバイス・ドライバーのインストール方法については、*ステップ・アップ・ガイド* を参照してください。

リカバリー **CD** を使って、**ThinkPad** に出荷時のオペレーティング・システムとアプリケーションを復元するにはどうしたらよいですか？

➡ 145ページの『リカバリー CD の使用』

考慮事項および制限事項

ここでは、知っておく必要のある考慮事項と制限事項をいくつか紹介します。



Windows 98 の場合:

Windows 98 では、サスペンド・モードに入る時間と通常の操作に戻る時間が Windows 95 の場合よりも長くかかります。これは Windows 98 の設計によるもので、ThinkPad の設計によるものではありません。



Windows 95 の場合:

- CD-ROM ドライブのプロパティの設定のために、「ThinkPad 機能設定」プログラムで指定したタイムアウト期間が終了しても、サスペンド・モードやハイバネーション・モードに入れない場合があります。サスペンド・モードやハイバネーション・モードを使用する場合は、次の手順に従って、CD-ROM ドライブのプロパティを変更してください。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、カーソルを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動し、「コントロール パネル」をクリックします。
 2. 「システム」をダブルクリックします。
 3. 「デバイス マネージャ」タブをクリックし、「CD-ROM」をダブルクリックします。
 4. 「CD-ROM」の下にある CD-ROM ドライブ名をクリックしてから、「プロパティ」ボタンをクリックします。
 5. 「設定」タブをクリックし、「オプション」ボックスの「自動挿入」の横のチェック・ボックスをクリックして、チェック・マークを外します。
 6. 「OK」をクリックし、ThinkPad を再起動します。



Windows NT 4.0 の場合:

- Windows NT 4.0 の場合、ドライブが NTFS 形式でフォーマットされていると、ハイバネーション・モードはサポートされません。
- PC カードによっては、PC カード・スロットに入れた場合に、「コントロール・パネル」の「PC カード[PCMCIA]デバイス」ウィンドウのカード情報のリストに (X) というマークが付いている場合がありますが、これはどの機能にも影響しません。



Windows 3.1 の場合:

メモリー不足またはメモリー・エラーが発生した場合は、次のようにしてください。

1. CONFIG.SYS ファイルから不必要なドライバーをアンロードします (たとえば、プリンターを使用していない場合は、プリンター・ドライバーをアンロードします)。
2. DEVICEHIGH 構文を使って、UMB (アッパー・メモリー・ブロック) を再構成します。
3. DOS に対する複数構成セットアップを使用します (DOS に付属の説明書を参照)。

DOS コマンドの MEM /C を使って、DOS のメモリー使用状況を定期的に調べます。



OS/2 Warp 4 の場合:

- HPFS (ハイパフォーマンス・ファイル・システム) 形式を使ってドライブをフォーマットし、システムに合計 64 MB を超えるメモリーが装備されている場合、ハイバネーション・モードはサポートされません。
- 「ThinkPad 機能設定」プログラムを使って COM ポートを正しく設定したにもかかわらず COM ポートが作動しない場合は、次の手順に従ってください。
 1. 「システム設定」をオープンします。
 2. 「ハードウェア・マネージャー」を選択します。
 3. メニューからフォルダーを選択します。
 4. 「プロパティ」を選択します。
 5. 省略時のプルダウン・メニューから「ハードウェアを検出しない」を選択します。選択済みである場合は、設定値を変更します。
 6. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。
 7. COM ポートを希望の値に設定します。
 8. システムを再始動します。
- OS/2 の環境で FAX またはメールを受信するには、FAX 用アプリケーションのモデム設定を次のどれかに設定する必要があります。
 - ハードウェア FIFO 使用可能
 - ハードウェア・フロー制御オン
 - UART 16550A モデム

たとえば、OS/2 FaxWorks では、「ユーティリティー」、「設定」、「モデム・タイプ」、および「**HW FIFO (16550A)** を使用」の順に選択します。

これらの設定値のどれかにモデムを設定していないと、サスペンド・モードで FAX や着信呼び出しを受けることができません。

- OS/2 用の PC カード・デバイス・ドライバーがなくても DOS 用の PC カード・デバイス・ドライバーがあれば、その PC カードは VDM (仮想 DOS マシン) 環境で使用できることがあります。VDM の設定と OS/2、Windows 95、Windows 98 用 PC カード・ディスクトップ上のサンプル構成ファイルについては、*ステップ・アップ・ガイド* を参照してください。(PC カード・インストール・ディスクトップは、「ディスクトップ・ファクトリー」プログラムを使って作成することができます。)



DOS の場合:

- メモリー不足またはメモリー・エラーが発生した場合は、次のようにしてください。
 1. Windows 3.1 に対する処置と同じ処置を試みます。
 2. WIN.INI ファイルから不必要なプログラムをアンロードします (たとえば、AC 動作のための FUELWIN など)。
- DOS 用の「ThinkPad 機能設定」プログラムは、DOS プロンプトから使用できます。プログラムを始動する手順は、次のとおりです。
 1. 「スタート」ボタンをクリックして、「**DOS** プロンプト」アイコンをクリックします。

DOS プロンプト・ウィンドウが表示されます。
 2. DOS プロンプトに PS2 ? と入力します。

「ThinkPad 機能設定」のオンライン・ヘルプ画面が表示されます。

```
C:¥>PS2 ?
```

```
(C) Copyright IBM Corp. 1993,1998. All rights reserved.  
US Government Users Restricted Rights - Use, duplication  
or disclosure restricted by GSA ADP Schedule Contract  
with IBM Corp.
```

```
構文: PS2 [Parameter1] [Parameter2] [Parameter3]
```

```
[Parameter1]のリストを以下に示します。  
'PS2 ?[Parameter]' とタイプすると、  
パラメーターの詳しい説明が表示されます。
```

```
1.省電力関係
```

3. メニューから各項目を選択し、画面上の指示に従って各種機能を設定します。

次のようなバッチ・ファイルを作成して、自分の操作環境に合わせることができます。次のバッチ・ファイルの例では、バッテリー動作時間を長く設定しています。

```
@Echo Off

Rem SAMPLE:Set the parameters to provide maximum power utilization.

Rem =====

PS2 PMode Custom DC           > Nu1
PS2 LCd 3                     > Nu1
PS2 DISK 3                    > Nu1
PS2 P0wer 5                   > Nu1
PS2 SPeed Fixed Slow         > Nu1
PS2 IR Disable                > Nu1
PS2 SErial Off               > Nu1
```

省電力機能の使用

次のアラーム動作を使用可能にすると、ThinkPad は、アラーム・メッセージを表示する前に、サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードに入ります。そして、ThinkPad が通常の操作に戻るとそのメッセージが表示されます。通常の操作に戻るには、「OK」を押します。

通知方法: メッセージを表示する。

電源レベル: アラーム後のコンピュータの動作 (スタンバイ)

注: アラーム動作は次の手順で設定します。

1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。
2. 「省電力」をクリックします。
3. 「アラーム」タブをクリックします。
4. アラームを設定する対象として、「バッテリー低下アラーム」または「バッテリー切れアラーム」のどちらか一方、または両方のチェックボックスをクリックして、それぞれチェック・マークを付けます。

5. 電源レベルの割り合いを設定します。
6. 「アラーム動作...」ボタンをクリックすると、次に表示されるウィンドウでアラーム・アクションを設定することができます。

PC カードの使用

モデム・カードまたはネットワーク・カードなどの通信カードを使用する場合は、次の事を考慮してください。

- PC カード・モデムを使って通信する場合は、ThinkPad をサスペンド・モード (**Fn+F4**) やハイバネーション・モード (**Fn+F12**) に入れたり、「Windows の終了」ウィンドウで「スタンバイ」をクリックしたりしないでください。
- ネットワーク PC カードが ThinkPad の PC カード・スロットに入っている場合は、ThinkPad をサスペンド・モード (**Fn+F4**) やハイバネーション・モード (**Fn+F12**) にしたり、「Windows の終了」ウィンドウで「スタンバイ」をクリックしたりしないでください。

注: ThinkPad をサスペンド・モードにしたい場合は、サスペンド・モードに入る前に、次の手順で「PC カード (PCMCIA) のプロパティ」ウィンドウを使用して PC カードを停止してください。

1. 「スタート」をクリックし、カーソルを「設定」に移動して、「コントロール パネル」をクリックします。
2. 「**PC カード (PCMCIA)**」をダブルクリックします。
3. リストからカードを選択します。
4. 「停止」ボタンをクリックします。

ThinkPad の PC カード・スロットから通信 PC カードを取り出して、使用するために再度入れ直すと、正常に作動しない場合があります。その場合は、ThinkPad を再起動する必要があります。

USB コネクタに関する考慮事項

ThinkPad をサスペンド・モードに入れようとして、その要求が拒否された場合、USB コネクタ内のデバイスが使用不可になる場合があります。このようになったら、USB デバイスのホット・アンプラグおよびホット・プラグ操作を行ってください。

CardWizard に関する考慮事項

PCIC コントローラーを使用不可にしている、デバイス・マネージャで再度、使用可能にする場合は、CardWizard を実行する前に、次の手順で CONFIG.SYS ファイルを修正してください。

1. 「スタート」ボタンをクリックします。
2. 「プログラム」にカーソルを移動してから、「**MS-DOS プロンプト**」をクリックします。
3. コマンド・プロンプトに `cd..` と入力し、**Enter** キーを押します。
4. `edit config.sys` と入力し、**Enter** キーを押します。
5. ファイル内の各行のうち、次の部分が行の先頭にある行から、この部分だけを削除します。
REM - by PC Card (PCMCIA) wizard -
各行のそれ以外の部分は削除しないでください。
6. 更新した CONFIG.SYS ファイルを保管します。
7. システムを再起動します。

2 枚目の CardBus カードの使用

ThinkPad で CardBus カードがすでに構成されている場合は、デバイス・マネージャを使用して 2 枚目の CardBus カードを手動で構成する必要があります。デバイス・マネージャを表示するには、コントロール パネルの「システム」アイコンをクリックします。

マイクロホンの使用

ThinkPad で外付けマイクロホンを使用する場合は、ThinkPad に対応した市販のマイクロホンを使用してください。コンデンサー・マイクロホンなどのマイクロホンによっては、バッテリーが必要です。そのマイクロホンに付属の説明書を参照してください。

マイクロホン/ライン入力ジャックは、次のタイプのマイクロホンをサポートします。

- ダイナミック・マイクロホン
- 電池を使用するタイプのコンデンサー・マイクロホン

ThinkPad のマイクロホン/ライン入力ジャックは、マイクロホン入力またはライン入力のどちらかをサポートし、両方を同時にサポートしません。次の手順で、使用しない機能をミュートにする必要があります。

1. 「スタート」ボタンをクリックします。
2. カーソルを、「プログラム」、「アクセサリー」、「エンターテインメント」、「ボリューム コントロール」の順に移動します。
3. 使用しない機能の方の「ミュート」チェックボックスにチェック・マークを付けます。

問題判別ガイド

次の表で、問題の判別方法と解決方法を示します。

ピープ音が鳴った場合、メッセージが表示された場合、または機能に関する問題が発生した場合:

- 1** 表から症状を見つけ、問題の解決を試みます。 → 112ページの『問題判別表』
- 2** 問題を解決できない場合は、テストを実行し、ハードウェアとデバイス・ドライバーに問題がないことを確認します。 → 143ページの『ThinkPad のテスト』
- 3** エラー・コードを記録して、ThinkPad の修理を依頼します。 → 第5章

ThinkPad 内のソフトウェアを誤って消してしまったり、損傷してしまった場合:

- リカバリー CD やディスクット・ファクトリー・プログラムを使って復元します。 → 145ページの『削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復』

問題判別表

ThinkPad にエラーが発生すると、通常、電源をオンにしたときに、メッセージやエラー・コードが表示されたり、ビープ音が鳴ります。問題判別表から発生した問題を探し、対応するページに進み、そこで指示されている処置をとってください。

問題判別表	ページ
エラー・コードまたは画面上のメッセージ	113
エラー・コードや画面上のメッセージで表示されない問題	119
入力装置の問題	120
サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードの問題	121
LCD の問題	124
インディケータの問題	125
バッテリーの問題	125
CD-ROM ドライブの問題	126
赤外線通信の問題	127
汎用シリアル・バス(USB) の問題	128
PC カードの問題	128
プリンターの問題	133
外付けディスプレイの問題	134
ポート・リプリケータの問題	137
その他のオプションの問題	139
ソフトウェアの問題	141
その他の問題	142

エラー・コードまたは画面上のメッセージ

注: この表の中の x は、任意の文字を表します。

メッセージ	処置
I9990301 I9990302 I9990305 (ハードディスク・ドライブを誤って接続すると、これらのエラー・コードが表示される場合があります。)	ThinkPad が始動ドライブを見つけることができません。次の処置をとってください。 1. ThinkPad の電源をオフにします。 2. F1 キーを押しながら、ThinkPad の電源をオンにし、Easy-Setup を始動します。「Easy-Setup」メニューが表示されるまで F1 キーを押し続けます。 3. 「 Start up 」アイコンを選択します。始動優先順位を設定できない場合は、ThinkPad の修理を依頼します。 4. 始動優先順位ボックスの装置を調べます。始動優先順位ボックス内に省略時のドライブがありますか? 「いいえ」ステップ 5 に進んでください。 「はい」 「 Reset 」アイコンを選択してください。 5. オペレーティング・システムはインストールされていますか? 「はい」 ステップ 7 に進んでください。 「いいえ」 ThinkPad にオペレーティング・システムをインストールしてください。 6. オペレーティング・システムのインストールが終わったら、ThinkPad の電源をオフにします。 7. ThinkPad の電源をオンにします。 同じメッセージが表示される場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。
I99xxxx (上記の I999030x エラー以外のエラー)	ThinkPad の修理を依頼してください。

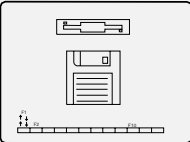
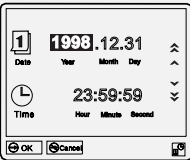
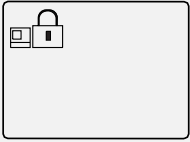

問題判別表

メッセージ	処置
<p>158 (スーパーバイザー・パスワード・エラー)</p>	<p>スーパーバイザー・パスワードは設定されましたが、ハードディスク・ドライブ・パスワードが設定されませんでした。次の処置をとってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. パスワード・プロンプトでスーパーバイザー・パスワードを入力し、Enter キーを押します。 2. POST エラー・プロンプトが表示されたら、Enter キーを押します。 「パスワード」メニューが表示されます。 3. 「スーパーバイザー」アイコンを選択します。 スーパーバイザー・パスワードと同じパスワードが、ハードディスク・ドライブ上に設定されます。 4. Esc を押して、ThinkPad を再起動します。
<p>159 (スーパーバイザー・パスワード・エラー)</p>	<p>ハードディスク・ドライブ・パスワードが、スーパーバイザー・パスワードと同じものに設定されていません。次の処置をとってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. パスワード・プロンプトにスーパーバイザー・パスワードを入力し、Enter キーを押します。 2. ハードディスク・ドライブのパスワード・プロンプトにハードディスク・ドライブ・パスワードを入力し、Enter キーを押します。 3. POST エラー・プロンプトが表示されたら、Enter キーを押します。 「パスワード」メニューが表示されます。 4. 「スーパーバイザー」アイコンを選択します。 スーパーバイザー・パスワードと同じパスワードが、ハードディスク・ドライブに、新しいハードディスク・ドライブ・パスワードとして上書きされます。 5. Esc を押して、ThinkPad を再起動します。
<p>16x または 17 x (未定義の日付または構成エラー)</p>	<p>画面の指示に従ってください。</p>
<p>174 (デバイスの構成エラー)</p>	<p>ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
<p>175、177、178 (EEPROM エラー)</p>	<p>ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
<p>183 (無効なパスワードのエラー)</p>	<p>スーパーバイザー・パスワード・プロンプトに入力したパスワードが無効です。スーパーバイザー・パスワードをチェックしてください。</p>


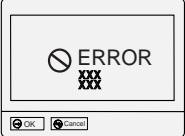
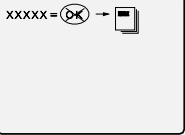


メッセージ	処置
184 (無効なパスワードのエラー)	入力したパスワードは無効です。 ThinkPad の電源をオフにし、5 秒以上待ってからもう一度オンにして、正しいパスワードを入力してください。
185 (始動優先順位エラー)	始動優先順位が無効です。ThinkPad の電源をオフにし、5 秒以上待ってからもう一度オンにして、Easy-Setup で始動優先順位をリセットしてください。
190 (極めて少量のバッテリー残量のエラー)	バッテリー残量がほとんどなくなったため、ThinkPad の電源がオフになりました。 ThinkPad に AC アダプターを接続しバッテリー・パックを充電するか、フル充電したバッテリー・パックに交換してください。
192 (冷却ファンのエラー)	ThinkPad の修理を依頼してください。
195 (ハイバネーションのエラー)	ハイバネーション・モードに入ったときと出たときでシステム構成が異なっているため、ThinkPad は通常の操作状態に戻ることができません。 <ul style="list-style-type: none"> • ThinkPad がハイバネーション・モードに入る前の状態に、システム構成を変更してください。 • メモリー・サイズが変更されている場合は、ハイバネーション・ファイルを作り直してください。
196 (ハイバネーションのエラー)	ThinkPad がハイバネーション・ファイルを読み取ることができません。 ThinkPad の修理を依頼してください。
225 (サポートされていないメモリー)	取り付けられた DIMM はサポートされていません。
2xx (メモリーのエラー)	DIMM オプションが正しく取り付けられているか確認してください。

問題判別表

メッセージ	処置
30x (キーボードのエラー)	<p>システム・キーボードまたは外付けキーボードの上に何も置かれていないことを確認してください。ThinkPad の本体および接続されているすべてのデバイスの電源をオフにしてください。まず、ThinkPad の電源をオンにしてから、次に、接続されているデバイスをオンにします。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、次の処置をとってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 外付けキーボードが接続されている場合は、次の処置をとってください。 <ul style="list-style-type: none"> – ThinkPad の電源をオフにし、外付けキーボードを外してから、ThinkPad の電源をオンにします。システム・キーボードが正しく作動するかどうかを確認します。正しく作動する場合は、外付けキーボードの修理を依頼します。 – 外付けキーボードが正しいコネクタに接続されていることを確認します。 • Easy-Setup の「Test」サブメニューから「Start」アイコンを選択して、ThinkPad をテストしてください。 <ul style="list-style-type: none"> – テスト中に ThinkPad が停止した場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。
6xx (ディスクのエラー)	ThinkPad の修理を依頼してください。
11xx (シリアル・ポートのエラー)	ThinkPad の修理を依頼してください。
12xx (赤外線のエラー)	ThinkPad の修理を依頼してください。
17xx (ハードディスクのエラー)	ThinkPad の修理を依頼してください。
1801 (サポートされていないポート・リプリケーターのエラー)	接続されているポート・リプリケーターがサポートされていません。
24xx (ビデオのエラー)	ThinkPad の修理を依頼してください。
808x (PC カード・スロットのエラー)	ThinkPad の修理を依頼してください。
860x (ポインティング・デバイスのエラー)	マウスまたは外付けキーボードを正しく接続しているかどうかを確認します。正しく接続していない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。

メッセージ	処置
<p>「ディスク」プロンプトと「F1」プロンプト</p> 	<p>ディスク・ドライブに始動可能なディスクが正しく(ラベル面を上、金属シャッター部分を奥に)挿入されていることを確認してください。</p> <p>上記の項目が正しい場合は、F1 キーを押します。それでもこのプロンプトが消えない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
<p>エラー 163 の後、「Date and Time」画面が表示される。</p> 	<p>ThinkPad に日付と時刻が設定されていません。</p> <p>数字を入力するか、▲または▼をクリックして日付と時刻を設定し、「OK」をクリックしてください。</p> <p>始動パスワードとスーパーバイザー・パスワードの両方が設定されている場合は、次の処置をとってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ThinkPad の電源をオンにします。 エラー・コードの後にパスワード・プロンプトが表示されます。 2. 始動パスワードではなく、スーパーバイザー・パスワードを入力します。 エラーの画面が表示されます。 3. 「OK」をクリックするか、Enter キーを押します。 4. 次に表示される画面で日付と時刻を設定して、Enter キーを押す。 システムが再始動します。 <p>注: 始動パスワードが拒否された場合は、Easy-Setup を使って始動パスワードを設定し直してください。</p>
<p>始動パスワード・プロンプト</p> 	<p>始動パスワードまたはスーパーバイザー・パスワードが設定されています。ThinkPad を始動するには、正しいパスワードを入力して Enter キーを押してください (76 ページを参照)。</p> <p>始動パスワードが拒否される場合、スーパーバイザー・パスワードが設定されている可能性があります。スーパーバイザー・パスワードを入力して、Enter キーを押してください。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
<p>ハードディスク・ドライブ・パスワード・プロンプト</p> 	<p>ハードディスク・ドライブ・パスワードが設定されました。ThinkPad を始動するには、正しいパスワードを入力して Enter キーを押してください (76 ページを参照)。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>

問題判別表

メッセージ	処置
<p>「Test」サブメニュー</p> 	<p>「Start」アイコンを選択し、画面の指示に従ってThinkPad をテストしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • テストを完了できなかった場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。 • テストでエラーが検出されなかったにもかかわらず問題がある場合は、『問題判別表』を1つずつチェックしてください。 • テストがエラーを検出して終了した場合は、エラー・コードを記録し、ThinkPad の修理を依頼してください。
<p>POSTエラー・プロンプト</p> 	<p>POST 中にエラーが検出されました。[Enter] キーを押してから、「Test」メニューで「Start」を選択し、テストを実行してください。</p> <p>テストがエラーを検出して終了した場合は、エラー・コードを記録し、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
<p>エラー・プロンプト</p> 	<p>ThinkPad の電源をオフにして Easy-Setup を始動し、「Test」を選択して ThinkPad のテストを実行してください。</p> <p>テストがエラーを検出して終了した場合は、エラー・コードを記録し、ThinkPad の修理を依頼してください。</p> <p>[F1] キーを押せば、エラーを無視してオペレーティング・システムを起動することができます。</p>
<p>DOS 全画面が小さく見える</p> 	<p>640x480 の解像度 (VGA モード) のみをサポートする DOS アプリケーションを使用すると、画面イメージが実際のディスプレイ・サイズより小さく見える場合があります。これは、ThinkPad が他の DOS アプリケーションとの互換性を保っているためです。画面イメージを実際の画面と同じサイズにするには、「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動し、表示先が LCD 単独になっていることを確認します。次に、「LCD」() をクリックしてから、「スクリーン・エクспанション」機能を使用可能にします。(イメージは、多少ゆがんで見える場合があります。)</p> <p>注: [Fn] キー+ [F8] キーの組み合わせでも同様の処置を実行できます。</p>
<p>問題判別表にリストされていない画面やメッセージ</p>	<p>ThinkPad の電源をオフにして Easy-Setup を始動し、「Test」を選択して ThinkPad のテストを実行してください。</p> <p>テストがエラーを検出して終了した場合は、エラー・コードを記録し、ThinkPad の修理を依頼してください。</p> <p>Easy-Setup を始動できない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
<p>xxxxx KB OKが表示されて、ThinkPad が停止する。</p>	<p>ThinkPad の修理を依頼してください。</p>

エラー・コードまたは画面上のメッセージで表示されない問題

問題	処置
<p>画面に何も表示されず、ピープ音が鳴らない。</p> <p>注:ピープ音が鳴ったかどうか不確かな場合は、ThinkPadの電源をいったんオフにしてから、もう一度オンにし、ピープ音が鳴るかどうかを確認してください。</p>	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • バッテリー・パックは正しく取り付けられていますか。 • AC アダプターが ThinkPad に接続されており、電源コードがコンセントに差し込まれていますか。 • ThinkPad の電源がオンになっていますか。(確認のため、電源スイッチをもう一度オンにしてください。) <p>上記の項目に問題がないにもかかわらず画面に何も表示されない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
<p>画面に何も表示されず、ピープ音が鳴らない。</p> <p>注: 外付けディスプレイを使用している場合は、134ページの『外付けディスプレイの問題』に進んでください。</p>	<p>始動パスワードが設定されている場合は、任意のキーを押して始動パスワード・プロンプトを表示させ、正しいパスワードを入力してから Enter キーを押してください(76ページを参照)。</p> <p>始動パスワードが表示されない場合は、ThinkPad の輝度調節つまみが最小輝度に設定されている可能性があります。輝度を正しく調節してください。それでも画面に何も表示されない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
<p>画面に何も表示されず、ピープ音が鳴り続けるか、ピープ音が 2 回以上鳴る。</p>	<p>ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
<p>カーソルだけが表示される。</p>	<p>オペレーティング・システムをインストールし直してから、ThinkPad の電源をオンにしてください。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>

入力装置の問題

問題	処置
ThinkPad が省電力機能のどれかから通常の操作状態に戻ったとき、カーソルが動かない。	Windows を電源管理機能 (APM) オプション付きでインストールしたとき、別冊のステップ・アップ・ガイドの指示どおり正しく行ったかどうかを確認してください。
ThinkPad のキーボードの全部または一部が作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ThinkPad がサスペンド・モードから通常の操作状態に戻った直後にこの問題が発生した場合は、始動パスワードを入力してください。始動パスワードが設定されている場合は、パスワードの入力が必要です。 外付けキーボードが接続されているときは、ThinkPad 本体のキーボードの数値キーパッドは作動しません。これは、故障ではありません。 外付け数値キーパッドまたはマウスが接続されている場合: <ol style="list-style-type: none"> ThinkPad の電源をオフにします。 外付け数値キーパッドまたはマウスを取り外します。 ThinkPad の電源をオンにし、もう一度キーボードを操作します。 これによってキーボードの問題が解決した場合は、外付け数値キーパッド、外付けキーボード、またはマウスの接続を調べてください。 <p>それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
ThinkPad の電源をオンにしたとき、または通常の操作状態に戻ったとき、カーソルがドリフト (浮動) する。	<p>通常の操作状態でトラックポイントを使わない場合に、カーソルがドリフトする場合があります。これは、トラックポイントの特性の 1 つであって、故障ではありません。ドリフトは、次の場合に数秒間発生することがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ThinkPad の電源をオンにしたとき。 ThinkPad が通常の操作状態に戻ったとき。 トラックポイントを長時間使用し続けたとき。 環境温度が変化したとき。
「トラックポイント・プロパティ」ウィンドウの設定を変更した後に、カーソルが動かなくなった。	これは、カーソルの通常の特長です。数秒間待てば、カーソルは通常の状態に戻ります。
マウスまたはポインティング・デバイスが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> マウスまたはポインティング・デバイスのケーブルが、ThinkPad にしっかりと正しい場所に接続されているか確認してください。 トラックポイントを操作してみてください。トラックポイントが作動する場合は、マウスに問題がある可能性があります。 IBM PS/2 マウスと互換性のないマウスを使用する場合は、「ThinkPad 機能設定」プログラムを使ってトラックポイントを使用不可にしてください。 <p>注: 詳細については、マウスに付属のマニュアルを参照してください。</p>




問題	処置
マウス・ボタンが作動しない。	マウス・ドライバーをスタンダード PS/2 ポート・マウスに変更してから、 PS/2 TrackPoint をインストールし直してください。ドライバーのインストール方法については、 <i>ステップ・アップ・ガイド</i> を参照してください。
英文字を入力したのに数字が表示される。	ナム・ロック機能が有効になっています。ナム・ロック機能を解除するには、 Shift キーを押しながら NumLk キーを押してください。
外付け数値キーパッドの全部または一部が作動しない。	外付け数値キーパッドが ThinkPad に正しく接続されているか確認してください。
外付けキーボードの全部または一部が作動しない。	<p>外付けキーボードを使用するには、キーボード/マウス・コネクタを ThinkPad に接続する必要があります。次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • キーボード/マウス・コネクタが ThinkPad に正しく接続されていますか。 • キーボード・コネクタが、キーボード/マウス・コネクタの正しい側に接続されていますか。 <p>上記の項目に問題がない場合は、キーボード/マウス・コネクタを ThinkPad から取り外し、ThinkPad 本体のキーボードが正しく作動するかを確認してください。ThinkPad 本体のキーボードが作動する場合は、キーボード/マウス・コネクタまたは外付けキーボードの修理を依頼してください。</p>

サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードの問題

問題	処置
ThinkPad が自動的にサスペンド・モードに入る。	プロセッサの温度が許容の温度を超えると、ThinkPad は自動的にサスペンド・モードに入ります。これは、故障ではありません。
POST 後ただちに ThinkPad がサスペンド・モードに入る (サスペンド・インディケーターがオンになる)。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • バッテリー・パックは充電されていますか。 • 環境温度が許容される範囲内にありますか。付録A を参照してください。 <p>上記の項目に問題がない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
エラー 190 の後、ThinkPad の電源がただちにオフになる。	バッテリー・パックのバッテリー残量が少なくなっています。ThinkPad に AC アダプターを接続するか、フル充電したバッテリー・パックに交換してください。

問題判別表

問題	処置
ThinkPad がサスペンド・モードから戻らない、または、サスペンド・インディケータがオンになったままで ThinkPad が作動しない。	<p>バッテリー・パックが空になると、ThinkPad は自動的にサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードに入ります。次のどちらかの処置をとってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • フル充電したバッテリー・パックに交換してから、Fn キーを押します。 • ThinkPad に AC アダプターを接続してから、Fn キーを押します。
通常の操作状態に戻ったときに LCD に何も表示されません。	<p>サスペンド・モードに入る前に、外付けディスプレイが接続されていないかを確認してください。ThinkPad がサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードになっているときに、外付けディスプレイを取り外さないでください。ThinkPad が通常の操作状態に戻ったときに外付けディスプレイが接続されていないと、LCD には何も表示されません。この制限事項は、いずれの解像度値も同様です。</p>
ThinkPad が、サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードにならない。	<p>Thinkpad がサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードを使用不可にするオプションを選択していないかどうかを確認してください。詳細情報 ➡ ステップ・アップ・ガイド</p>

問題	処置
<p>ThinkPad が Fn キー+ F12 キーの組み合わせでハイバネーション・モードにならない。</p>	<p>次の手順に従って、ハイバネーション・モードを使用可能にしてください。</p> <p>Windows 98 の場合:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。 2. 「省電力」 () をクリックします。 3. 「ハイバネーション」タブをクリックします。 4. 「ハイバネーションを使用可能にする」ボタンをクリックします。 5. 「すぐ作成する」ボタンをクリックします。 <p>IBM 通信 PC カードを使用している場合、ThinkPad はハイバネーション・モードに入ることができません。</p> <p>ハイバネーション・モードに入るには、通信プログラムを停止してから、PC カードを取り出すか、「コントロール パネル」を使って PC カード・スロットへの電力供給を停止してください。</p> <p>Windows NT の場合:</p> <p>注: Windows NT でハイバネーション・モードを使うには、ハードディスクを FAT 形式でフォーマットする必要があります。Windows NT の省略時である NTFS 形式でハードディスクをフォーマットすると、ハイバネーション・モードは使用できません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。 2. 「省電力」 () をクリックします。 3. 「サスペンド/レジューム・オプション」を () をクリックします。 4. 「ハイバネーションを使用可能にする」をクリックします。 5. 「OK」をクリックします。 <p>IBM 通信 PC カードを使用している場合、ThinkPad はハイバネーション・モードに入ることができません。</p> <p>ハイバネーション・モードに入るには、通信プログラムを停止してから、PC カードを取り出すか、「コントロール パネル」を使って PC カード・スロットへの電力供給を遮断してください。</p>

液晶ディスプレイ (LCD) の問題

問題	処置
画面が判読不能またはゆがんでいる。	<p>次の手順に従って、ディスプレイ・ドライバーが正しくインストールされていることを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックして、カーソルを、「設定」、「コントロール パネル」の順に移動し、「コントロール パネル」をクリックします。 2. 「画面」アイコンをダブルクリックします。 3. 「設定」タブを選択します。 4. 色数と解像度が正しく設定されているかチェックします。 5. 「詳細」ボタンをクリックします。 6. 「アダプタ」タブを選択します。NeoMagic MagicMedia 256AV が表示されているか確認します。 7. 「モニタ」タブをクリックします。 <p>表示されたモニタ・タイプが正しいか確認します。</p>
画面に間違った文字が表示される。	<p>オペレーティング・システムとアプリケーション・プログラムが正しくインストールされているか確認してください。</p> <p>インストールと構成が正しい場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
電源スイッチをオフにしても画面が消えない。	<p>ThinkPad の電源遮断スイッチをボールペンの先などで押して電源をオフしてから、もう一度電源をオンにしてください。</p>
ThinkPad の電源をオンにするたびに、画面上に見えないドットや、色の違うドット、または明るいドットが表示される。	<p>これは、故障ではありません。これは、TFT 液晶テクノロジーの本質的な特性の 1 つです。ThinkPad のディスプレイは、多くの TFT (Thin-Film Transistor) を使用しています。画面上には見えないドット、色が違うドット、または明るいドットが少量存在していることがあります。</p>

インディケータの問題

問題	処置
バッテリー・パックを取り付けているのに、バッテリー残量インディケータがオフになっている。	バッテリー・パック内の過電流保護装置が働いています。数時間待って、もう一度バッテリー・パックを使ってください。それでもインディケータがオンにならない場合は、バッテリー・パックを交換するか、ThinkPad の修理を依頼してください。

バッテリーの問題

問題	処置
電源オフの状態でもバッテリー・パックを3時間充電してもフル充電にならない。	バッテリー・パックが過放電状態になっている可能性があります。次の処置をとってください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. ThinkPad の電源をオフにします。 2. 過放電状態と思われるバッテリー・パックが取り付けられていることを確認します。 3. AC アダプターを ThinkPad に接続し、バッテリー・パックを充電します。 バッテリー・パックを 24 時間充電してもフル充電にならない場合は、新しいバッテリー・パックを使用してください。
バッテリー残量インディケータが空になる前に ThinkPad の電源が遮断される。 —または— バッテリー残量インディケータが空を示した後も ThinkPad を操作できる。	バッテリー・パックの放電と充電を最低 3 回繰り返してください。
フル充電したバッテリー・パックの作動時間が短い。	バッテリー・パックの放電と充電を 3 ~ 6 回繰り返してください。それでも問題が解決しない場合は、新しいバッテリー・パックを使用してください。
ThinkPad がフル充電したバッテリー・パックで作動しない。	バッテリー・パック内の過電流保護装置が働いている可能性があります。ThinkPad の電源を 1 分間オフにしてこの機能をリセットしてから、もう一度電源をオンにしてください。

CD-ROM ドライブの問題

問題	処置
CD-ROM が作動しない。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ThinkPad の電源がオンになっていて、CD-ROM が CD-ROM ドライブに入っていますか。 • CD-ROM ドライブ・トレイはしっかりと閉じていますか。 • デバイス・ドライバーが正しくインストールされていますか。
CD-ROM が回転すると 異音 が出る。	CD-ROM ドライブのカバーが変形している可能性があります。ThinkPad の修理を依頼してください。
CD-ROM 排出ボタンを押しても CD-ROM トレイが出てこない。	CD-ROM 排出予備ボタンの穴にボールペンの先などを入れて CD-ROM トレイを出してください。
CD-ROM のデータを読むことができない。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CD-ROM が汚れていませんか。汚れている場合は、市販の CD-ROM クリーナー・キットで汚れを取り除いてください。 • CD-ROM に欠陥がありませんか。別の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れて確認してください。 • CD-ROM が正しい向き (ラベルのある側を上にする) でトレイにセットされていますか。 • その CD-ROM は、次に示すものと互換性のある形式ですか。 <ul style="list-style-type: none"> – 音楽 CD-ROM – CD-ROM または CD-ROM XA – マルチセッション・フォト CD-ROM – ビデオ CD-ROM

赤外線通信の問題

問題	処置
ThinkPad が赤外線ポートを使って他の装置と通信することができない。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 通信速度は同じですか。 • 赤外線ポートは汚れていませんか。 • ThinkPad と通信先デバイスの上に障害物はありませんか。 • ThinkPad と通信先デバイスとの距離と角度は正しいですか。 • 通信先のコンピューターのアプリケーション・ソフトは、ThinkPad のものと互換性がありますか。 • 直射日光が当たる場所で操作していませんか。 • 赤外線ポートが通信先ポートと直接向き合っていますか。 • 通信は、ThinkPad の LCD からの光に妨げられる場合があります。これを避けるため、LCD を広角度に開いてください。 • ThinkPad で実行している通信アプリケーションと、通信先のコンピューターで実行している通信アプリケーションは同じものですか。詳細については、アプリケーションの説明書を参照してください。
ThinkPad と通信先デバイスとの間で誤ったデータが送信される。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ThinkPad と通信先デバイスとの距離と角度は正しいですか。 • 通信速度は同じですか。 • ThinkPad や通信先デバイスの近くにリモコン装置やワイヤレス・ヘッドホンなど、赤外線を出す装置がありませんか。 • 直射日光が当たる場所で操作していませんか。 • ThinkPad や通信先デバイスの近くに蛍光灯がありませんか。
パラレル・ポートと赤外線ポートの両方に対する DMA チャンネルが使用できない。	<p>ECP を使用可能にしているパラレル・ポート用に DMA3 (初期値) を選択すると、赤外線ポート用の DMA を使用不可にするかどうかを確認するプロンプトが表示されます。パラレル・ポートと赤外線ポートの両方に DMA チャンネルを使用する手順は、次のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「OK」をクリックして、赤外線ポートに対するDMA を使用不可にします。 2. パラレル・コネクタのパネルをクローズします。 3. 「赤外線」ボタンをクリックして、「赤外線」ウィンドウをオープンします。 4. 画面上で、赤外線ポートに対し DMA0 または DMA1 を選択します。 5. オーディオ・デバイスに対する DMA を使用不可にするかどうかを確認する画面が表示されたら、「OK」をクリックします。

汎用シリアル・バス (USB) の問題

問題	原因と処置
汎用シリアル・バス(USB) コネクタに接続したデバイスが作動しない。	<ol style="list-style-type: none"> 汎用シリアル・バス (USB) デバイスが正しく接続されていることを確認します。 「デバイス マネージャ」ウィンドウをオープンし、汎用シリアル・バス (USB) デバイスの設定が正しく、ThinkPad のリソースの割り当てとデバイス・ドライバのインストールが正しく行われていることを確認します。 <p>注: 「スタート」ボタンをクリックしてから、カーソルを、「設定」、「コントロール パネル」の順に移動します。「コントロール パネル」をクリックし、「システム」をダブルクリックします。次に、「システム プロパティ」ウィンドウで「デバイス マネージャ」タブをクリックし、ユニバーサル シリアル バス コントローラの設定を確認します。</p> <p>143ページの『ThinkPad のテスト』を参照して、汎用シリアル・バス (USB) コネクタの診断テストを実行してください。</p>

PC カードの問題

問題	処置
PC カードが「使用可」と表示されるが、正しく作動しない。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> PC カード用に確保されたシステム・リソースが、他のシステム装置と競合していませんか。 ステップ・アップ・ガイドを参照してください。 PC カード用に確保されたリソースの設定が、アプリケーション・プログラムでの設定と一致していますか。 モデム・カードを使用している場合は、COM ポート番号、I/O ポート・アドレス、および IRQ レベルを確認してください。ネットワーク・カードを使用している場合は、I/O ポート・アドレス、IRQ レベル、およびメモリー・ウィンドウ・アドレスを確認してください。PC カードに割り当てられているリソースを調べるには、「ThinkPad 機能設定」プログラムの「PC カード・スロット」と「割り当てられたリソース」タブをクリックします。
PC カード使用時に、システム・リソースの競合が起こる。	<p>ステップ・アップ・ガイドを参照してください。</p>

問題	処置
PC カード・モデムが作動しない。	<p>赤外線ポートが使用不可になっていて、モデムが正しくセットアップされていることを確認してください。</p> <p>「ThinkPad 機能設定」プログラムでモデムに設定した COM ポートが、次の手順のものと同じであり、リソースが競合がないことを確認してください。</p> <p>Windows 98 の場合:</p> <p>モデムをセットアップする手順は、次のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックしてから、カーソルを、「設定」、「コントロール パネル」の順に移動します。 2. 「コントロール パネル」をクリックしてから、「モデム」をダブルクリックします。「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。 3. PC カード (PCMCIA) モデムがウィンドウに表示されていることを確認します。 4. 「ダイヤルのプロパティ」ではなく、「プロパティ」をクリックします。 5. 「接続」タブをクリックします。 6. 「トーンを待ってからダイヤルする」のチェックボックスにチェック・マーク (✓) が付いていたら、クリックしてそれを消去します。 7. 「詳細」ボタンをクリックします。 8. 「エラー制御を使う」のチェックボックスにチェック・マーク (✓) が付いていたら、それをクリックして取ります。 9. 「フロー制御を使う」のチェックボックスをクリックしてチェック・マーク (✓) を付け、「ハードウェア (RTS/CTS)」が選択されていることを確認します。 10. 「OK」をクリックしてウィンドウをクローズします。 11. 「OK」をクリックして「モデムのプロパティ」のウィンドウに戻ります。 12. 「モデムのプロパティ」ウィンドウの「ダイヤルのプロパティ」をクリックし、すべてのボックスに必要事項を入力します。 <p>注: 「ダイヤル方法」の「トーン」か「パルス」のどちらかをクリックしてください。現在の電話機のほとんどは、トーン方式を採用しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 13. 「OK」をクリックします。 14. 「OK」をクリックして、ウィンドウをクローズします。 15. オープンしているすべてのウィンドウをクローズします。 <p>モデムのアプリケーションを再度実行してください。</p>

問題判別表


問題	処置
<p>PC カード・サポート・ソフトウェアが PC カードを認識しない。</p>	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • PC カードの種類がモデム・カード、ATA カード、フラッシュ・カード、または SRAM カードのいずれでもない場合は、そのカード用の適切なクライアント・デバイス・ドライバーがありますか。 • PC カードは、PCMCIA リリース 2.0、2.01、または 2.10 をサポートします。PC カードに付属の説明書を参照してください。 <p>PC カードが、PCMCIA リリース 2.0、2.01、または 2.10 をサポートしない場合、PC カード・ディレクターは使用できません。PC カードの製造会社にご連絡ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • PC カードに診断テストが付属している場合は、それを実行して作動するかを調べてください。
<p>PC カードは PC カード・サポート・ソフトウェアに認識されるが、「使用不可」または「構成不可」のメッセージが表示される。</p>	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • PC カード・イネーブラーがインストールされていますか。 <p>PC カードに付属の説明書を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • PC カードの種類がモデム・カード、ATA カード、フラッシュ・カード、または SRAM カードのどれでもない場合は、そのカード用の適切なクライアント・デバイス・ドライバーがありますか。 • PC カードに対するリソースが正しく確保されていますか。 <p>ステップ・アップ・ガイドを参照してください。</p>
<p>ATA PC カードが正しく作動しない。</p>	<p>ATA PC カードが <i>CardSoft</i> モードで設定されている場合は、システムが正しく認識できないカードがあります。次の手順で、カード・ドライバーを <i>プラグ・アンド・プレイ</i> に変更してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。 2. 「PC カード・スロット」をクリックします。 「PC カード・スロット」ウィンドウが表示されます。 3. 「デバイス・マネージャ」をクリックします。 「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。 4. 「PCMCIA ソケット」をダブルクリックします。 5. 「PCMCIA カード・サービス」をクリックします。 「PCMCIA カード・サービスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。 6. 「ドライバー」タブをクリックしてから、「ドライバーの更新」ボタンをクリックします。 「デバイス・ドライバー・ウィザードの更新」ウィンドウが表示されます。 7. 画面の指示に従ってください。

問題	処置
PC カードをインストールして構成しても、作動しない。	<ul style="list-style-type: none">• モデム・カード: 「モデム コントロール」パネルおよび使用している通信アプリケーションのすべての設定が対応していて、正しいかを確認します。• SCSI カード: SCSI カード用の正しいドライバーがインストールされているか確認します。 注: ThinkPad の操作中にも SCSI カードを挿入することはできますが、できるだけ起動時に挿入するようにしてください。• ネットワーク・カード: すべてのネットワーク構成要素が正しくインストールされているか確認します。• コンボ・カード: コンボ・カード用の正しいドライバーがインストールされているか確認します。システムを再起動してから、コンボ・カードを入れます。



問題判別表

問題	処置
<p>PC カード・タイプのインターフェイスを使用する外付け CD-ROM ドライブやネットワーク PC カードなど、共有メモリーを利用する PC カードを挿入すると、正常に Windows98 の終了または再起動ができない。</p>	<p>これは Windows 98 の問題です。 暫定的な対策として、次の変更を行うことで Windows の終了ができるようになります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」をクリックしてから、カーソルを「設定」、「コントロールパネル」の順に移動します。 2. 「コントロールパネル」をクリックし、「システム」をダブルクリックします。 3. 「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。 4. 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。 5. 「ユニバーサル シリアルバス コントローラ」の左側の「+」をクリックし、「Intel 82371AB/EB PCI to USB Universal Host Controller」をクリックして選択します。 6. 「プロパティ」ボタンをクリックします。 7. 「Intel 82371AB/EB PCI to USB Universal Host Controller のプロパティ」ウィンドウが表示されます。 8. 「リソース」タブをクリックします。 9. 「自動設定を使う」をクリックしてチェックマークを外します。 10. 「I/O の範囲」をクリックして選択します。 11. 「設定の変更」ボタンをクリックします。 12. 「I/O の範囲 の編集」ウィンドウが表示されます。 13. 「競合の情報」に「競合デバイスなし」が表示されているのを確認しながら、「値」の右側の上下矢印のボタンをクリックして、「値」を現在設定されている I/O の範囲から別の範囲に変更します。 14. 「OK」をクリックして、「I/O の範囲 の編集」ウィンドウをクローズします。 15. 「OK」をクリックして、「Intel 82371AB/EB PCI to USB Universal Host Controller のプロパティ」ウィンドウを閉じます。 16. 「変更不可の環境設定の作成」というメッセージが表示されます。 17. 「続行しますか？」に対して、「はい」をクリックします（途中、例外 0E 等のエラーが表示される事もありますが、Enter キーを押してください）。 18. 「閉じる」をクリックして、「システムのプロパティ」ウィンドウをクローズします。 19. 活動中のすべてのウィンドウをクローズします。 20. 「スタート」をクリックしてから、「Windows の終了」をクリックします。 21. 「電源を切れる状態にする」を選択し、「OK」をクリックして、Windows を終了します。途中でストップした場合は、電源スイッチで電源を切ります。

プリンターの問題

問題	処置
プリンターが作動しない。	<p data-bbox="451 398 738 420">次の項目を確認してください。</p> <ul data-bbox="467 445 1289 693" style="list-style-type: none"><li data-bbox="467 445 1023 627">• パラレル・ポートが使用可能になっていますか。<ol data-bbox="507 478 1023 627" style="list-style-type: none"><li data-bbox="507 478 1023 500">1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。<li data-bbox="507 515 1023 560">2. 「パラレル・ポート」 () をクリックします。<li data-bbox="507 569 804 591">3. 「使用する」を選択します。<li data-bbox="507 600 799 622">4. 「OK」をクリックします。<li data-bbox="467 637 1082 658">• プリンターの電源が入っていて、印刷可能になっていますか。<li data-bbox="467 667 1289 689">• プリンターの信号ケーブルが ThinkPad の正しいコネクタに接続されていますか。 <p data-bbox="451 715 1310 798">上記の項目に問題がないにもかかわらず、プリンターが作動しない場合は、プリンターの説明書に記載されているテストを実行してください。このテストでプリンターの問題が検出されない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>

外付けディスプレイの問題

問題	処置
<p>外付けディスプレイに何も表示されない。</p>	<p>次の処置をとってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外付けディスプレイを他の ThinkPad に接続し、作動するかどうかを確認します。 2. 外付けディスプレイを、ご使用の ThinkPad にもう一度接続します。 3. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。 4. 「ThinkPad 機能設定」プログラムのツールバー上の 「CRT ディスプレイ単独」 () または「LCD と CRT ディスプレイ両方」 () をクリックします。 <p>外付けディスプレイに何も表示されない場合は、修理を依頼してください。</p>

問題	処置
<p>外付けディスプレイに現在の解像度よりも高い解像度を設定することができない。</p>	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ディスプレイ・ドライバが正しくインストールされていますか。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」をクリックして、カーソルを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動し、「コントロール パネル」をクリックします。 2. 「画面」アイコンをダブルクリックします。 3. 「画面のプロパティ」ウィンドウで「設定」タブを選択します。 4. 「詳細」ボタンをクリックします。 5. 「アダプタ」タブを選択します。NeoMagic MagicMedia 256AV が表示されているか確認します。違っている場合は、ディスプレイ・ドライバをインストールします。 6. 「OK」ボタンをクリックして、ウィンドウをクローズします。 <p>ディスプレイ・ドライバがインストールされているかどうか不確かな場合は、再インストールしてください。</p> • 適切なディスプレイ・タイプが選択されていますか。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」をクリックして、カーソルを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動し、「コントロール パネル」をクリックします。 2. 「画面」アイコンをダブルクリックします。 3. 「画面のプロパティ」ウィンドウで「設定」タブを選択します。 4. 「詳細」ボタンをクリックします。 5. 「モニタ」タブをクリックし、モニタ・タイプが正しいか確認します。間違っている場合は、次の手順に進みます。 6. 「変更」ボタンをクリックします。 「デバイス・ドライバの更新ウィザード」が表示されます。 7. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」と「すべてのハードウェアを表示」を順に選択します。 8. ご使用のディスプレイの「製造元」と「モデル」を選択し、画面の指示に従います。 9. 「OK」ボタンをクリックして「NeoMagic MagicMedia 256AV のプロパティ」ウィンドウをクローズします。 10. 「設定」タブで、「色」と「画面の領域」を設定します。 11. 「OK」をクリックします。

問題判別表

問題	処置
画面が判読不能またはゆがんでいる。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ディスプレイ・ドライバーは正しくインストールされていますか。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックして、カーソルを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動し、「コントロール パネル」をクリックします。 2. 「画面」アイコンをダブルクリックします。 3. 「画面のプロパティ」のウィンドウで「設定」タブを選択します。 4. 「詳細」ボタンをクリックします。 5. 「アダプタ」タブを選択します。NeoMagic MagicMedia 256AV が表示されているか確認します。もし違っている場合は、ディスプレイ・ドライバーをインストールしてください。 • モニターは正しく設定されていますか。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「画面のプロパティ」の「設定」タブで、「詳細」ボタンをクリックします。 2. 「モニタ」タブをクリックします。 正しいモニタ・タイプが選択されているか確認してください。違っている場合は、正しいモニタ・タイプを選択します。 • 適切なリフレッシュ・レートが選択されていますか。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「画面のプロパティ」の「設定」で、「詳細」ボタンをクリックします。 2. 「アダプタ」タブを選択します。 3. 設定が正しいか確認します。設定が正しいか不確かな場合は、リフレッシュ・レートで「最適」を選択します。 • VGA(640x480の解像度)専用の外付けディスプレイを接続しているかどうか確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> - Fn + F7 を押して、CRT ディスプレイ単独表示に切り替えます。 <p>設定が正しい場合は、外付けディスプレイの説明書に記載されているテストを実行してください。このテストで外付けディスプレイの問題が検出されない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
画面に間違っただ文字が表示される。	<p>オペレーティング・システムとアプリケーション・プログラムが正しい手順でインストールされているか確認してください。</p> <p>正しくインストールされている場合は、外付けディスプレイの修理を依頼してください。</p>

ポート・リプリケーターの問題

問題	処置
ThinkPad の電源をオンにしたとき、または通常の操作状態に戻ったときに、ThinkPad がハング (停止) する。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none">• AC アダプターがポート・リプリケーターに接続されていますか。• ポート・リプリケーターの電源オン・インディケーターがオンになっていますか。• ThinkPad がしっかりとポート・リプリケーターに接続されていますか。 <p>それでも問題が解決しない場合は、ポート・リプリケーターの修理を依頼してください。</p>

問題判別表



問題	処置
<p>ポート・リプリケーターに取り付けられている PC カードが認識されず、PC カード・スロットが使用できない。</p>	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AC アダプターがポート・リプリケーターに接続されていますか。 • ポート・リプリケーターの電源オン・インディケーターがオンになっていますか。 • ThinkPad がしっかりとポート・リプリケーターに接続されていますか。 <p>この問題は、Windows 98 を再インストールしたとき、または Easy-Setup を使用してシステムの初期化をしたときに起こる可能性があります。</p> <p>Windows 98 の設定を確認する手順は、次のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Windows 98 を終了し、ThinkPad の電源をオフにします。 2. AC アダプターをポート・リプリケーターに接続し、ThinkPad をポート・リプリケーターに接続します。 3. ThinkPad の電源をオンにし、Windows 98 を始動します。 4. 「スタート」ボタンをクリックしてから、カーソルを、「設定」、「コントロールパネル」の順に移動します。次に、「コントロールパネル」をクリックし、「システム」をダブルクリックします。 5. 「デバイス・マネージャ」タブをクリックしてから、「システム・デバイス」をクリックし、「PCI バス」をダブルクリックします。 6. 「設定」タブをクリックし、「BIOS を使う」が選択されているか確認します。選択されていない場合は、「BIOS を使う」をクリックします。 7. 「IRQ ステアリング」タブをクリックし、「ACPI BIOS を使って IRQ テーブルを取得する」、「Ms Specification テーブルを使って IRQ テーブルを取得する」、および「リアルモードの PCIBIOS 2.1 コールから IRQ テーブルを取得する」のチェックボックスにチェック・マークが追加されていることを確認します。 8. 「OK」を 2 回クリックします。 9. 画面の指示に従い、ThinkPad を再起動します。 <p>この問題は、初めて PC カードをポート・リプリケーターに取り付けるときにも発生する場合があります。</p> <p>この問題を避けるために、次の手順を実行してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックしてから、カーソルを、「設定」、「コントロールパネル」の順に移動します。 2. 「コントロールパネル」をクリックし、「システム」をダブルクリックします。 3. 「デバイス マネージャ」タブをクリックします。 4. 「更新」と「OK」をクリックします。

問題	処置
ポート・リプリケーターの MIDI コネクタが作動しない。	<p>ポート・リプリケーターの MIDI コネクタを使用可能にするには、「ThinkPad 機能設定」プログラムを使用します。次の手順に従って、MIDI コネクタが使用可能になっていることを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。 2. 「MIDI/ジョイスティック・ポート」をクリックします。 3. MIDI ポートが使用可能になっていることを確認します。使用不可になっている場合は、「使用する」をクリックしてから、「OK」をクリックします。 4. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを終了し、ThinkPad を再起動します。 <p>注: ThinkPad を再起動するときに MIDI デバイス・ドライバをインストールする必要がある場合があります。画面の指示に従い、ご使用のオペレーティング・システムに合ったデバイス・ドライバをインストールしてください。</p>

その他のオプションの問題

問題	処置
取り付けただけの IBM 製オプションが作動しない。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オプションは ThinkPad 用に設計されたものですか。 • オプションが、オプションに付属の説明書または本書に従って正しく取り付けられていますか。 • 取り付けられている他のオプションやケーブル類がしっかりと接続されていますか。 • I/O アドレス、割り込み (IRQ) レベル、DMAチャネルの設定に競合はありませんか。システム・リソースの状況を確認するには、「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動して、各装置のアイコンをクリックしてください。 <p>オプションのテスト・プログラムで問題が検出されなかった場合は、ThinkPad とオプションの修理を依頼してください。</p>
今まで動いていた IBM 製オプションが作動しない。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オプションが ThinkPad にしっかりと接続されていますか。 • そのオプションはテストを正常に終了していますか。オプションにテスト・プログラムが付属していれば、その指示に従ってオプションをテストしてください。 • システムの競合がありませんか (ステップ・アップ・ガイドを参照してください)。 <p>上記の項目に問題がなく、テスト・プログラムでも問題が検出されない場合は、ThinkPad とオプションの修理を依頼してください。</p>

問題判別表

問題	処置
シリアル・ポートが作動しない。	<p>次の手順に従って、シリアル・ポートが使用可能になっていることを確認してください。</p> <p>Windows 98 の場合:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。 2. 「シリアル・ポート」 () をクリックします。 3. 「使用する」を選択します。 4. 「デバイス プロパティ」をクリックします。 5. 「デバイス・マネージャ」ウィンドウで通信ポートをチェックし、設定が正しいか確認します。 6. 「OK」をクリックします。 <p>Windows NT の場合:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。 2. 「シリアル・ポート」 () をクリックします。 3. 「使用する」を選択してから、「COM1」、「COM2」、「COM3」、または「COM4」を選択します。 4. 「閉じる」をクリックします。

ソフトウェアの問題

問題	処置
アプリケーション・プログラムが正しく作動しない。	<p>問題の原因がアプリケーションにあるかどうかを調べるために、次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • そのアプリケーションを使用するために最低限必要のメモリーが ThinkPad にありますか。アプリケーションに付属の説明書を参照してください。 • そのアプリケーションがご使用のオペレーティング・システムで実行できるように設計されていますか。 • 問題のアプリケーション以外は、ThinkPad で正しく実行されますか。 • 必要なデバイス・ドライバーがインストールされていますか。 ➡ ステップ・アップ・ガイド。 • 問題のアプリケーションは、別のコンピューターで正しく作動しますか。 <p>アプリケーション・プログラムを使用しているときにエラー・メッセージが表示された場合は、アプリケーション・プログラムに付属の説明書を参照してください。</p> <p>上記の項目に問題がないにもかかわらず、問題が解決されない場合は、アプリケーション・プログラムのお買い上げ店またはサービス技術員にご連絡ください。</p>

その他の問題

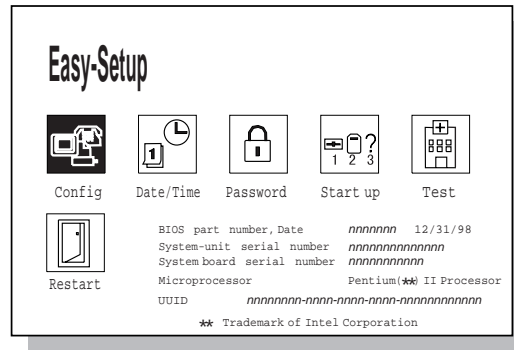
問題	原因または処置
ThinkPad がハングアップした、またはどんな入力もまったく受け付けない。	<ul style="list-style-type: none"> 通信操作をしているときにサスペンド・モードに入ると、ThinkPad がハングアップすることがあります。ネットワークに接続しているときは、サスペンド・タイマーを使用不可にしてください。 ThinkPad の電源をオフにするには、ボールペンの先などで電源遮断スイッチを押します。
電源スイッチをオフにしても ThinkPad の電源がオフにならない。	<p>バッテリー電源を使っていて、サスペンド・インディケーターがオンになっている場合は、バッテリーをフル充電されたものに交換するか、AC アダプターを接続してください。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、ボールペンの先などで電源遮断スイッチを押して ThinkPad の電源をオフにしてください。</p>
ThinkPad をディスクから始動できない。	ThinkPad がディスク・ドライブから起動できるよう、Easy-Setup で始動優先順位が設定されているか確認してください(20ページの『Easy-Setup』を参照)。
使用時に ThinkPad が熱くなると、パフォーマンスが低下する。	<p>次の場合、プロセッサ速度が遅くなることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用する環境温度が高いとき。 高電力消費を必要とする高電力処理を実行するとき。 <p>これは、故障ではありません。</p>
Windows NT 環境で「ThinkPad 機能設定」ウィンドウが正しく表示されない。	<p>インターネット エクスプローラー バージョン 4.0 がインストールされている場合は、アクティブ・デスクトップをアンインストールします。</p> <p>—または—</p> <p>「ThinkPad 機能設定」ウィンドウをクローズして、再起動します。</p> <p>(これによって、この問題が一時的に解決します。)</p>

ThinkPad のテスト

『問題判別表』の処置をとっても ThinkPad の問題が解決しない場合は、Easy-Setupの「Test」機能を使ってThinkPad をテストしてください。

ThinkPad をテストする手順は、次のとおりです。

- 1 **F1** キーを押しながら、ThinkPad の電源をオンにし、Easy-Setup を始動します。「Easy-Setup」メニューが表示されるまで **F1** キーを押し続けます。

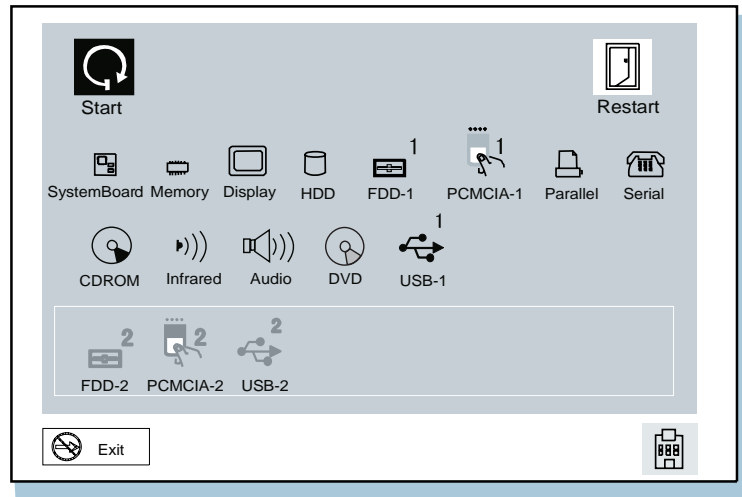


短いビープ音が 1 回鳴ります。ビープ音が鳴ったかどうか不確かな場合は、**Fn** キー+ **PgUp** キーを数回押し、スピーカーの音量を上げてください。ThinkPad の電源をオフにしてから、もう一度オンにしてください。それでもビープ音が聞こえない場合は、スピーカーが作動していません。ThinkPad の修理を依頼してください。

- 2 「Test」アイコンを選択してから、「Start」アイコンを選択するか、「Enter」キーを押します。



テスト中は、キーボードやポインティング・デバイスに触れないでください。



- 最初の画面から変わらない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。
- エラーが検出されると、X という文字がアイコンの左に表示され、その下にエラー・コードが表示されます。エラー・コードを記録し、ThinkPad の修理を依頼してください。

削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復

ここでは、削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復方法について説明します。

リカバリー CD の使用

標準装備のハードディスクの内容を、購入時の状態に復元するためのものです。

Product Recovery CD-ROM パッケージには、Recovery Boot Diskett と初期インストールされているイメージを含む CD-ROM が入っています。

重要

この CD-ROM の回復プログラムは、お客様個人のデータや、カスタマイズした構成の設定をすべて削除します。ハードディスクの内容はすべて、出荷時の状態に設定されます。この CD を使用する前に、必要なデータのバックアップを必ず作成してください。

リカバリー CD のインストールについての詳細情報 → リカバリー CD に付属の説明書

導入済みアプリケーション CD の使用

初期インストール済み ThinkPad 用サポート・ソフトウェアまたはデバイス・ドライバーを回復するには、導入済みアプリケーション CD を使って再インストールします。

ソフトウェアのインストールに関する詳細情報 → ステップ・アップ・ガイド

削除または損傷ソフトウェアの回復

第5章

サービス体制

ご自分で問題を解決できなかった場合は、IBM 特約店または IBM 営業担当員にご連絡ください。

修理サービスを依頼されるときは、次の情報が必要です。

- ThinkPad の ID 番号
- システムに取り付けられているオプション

注: 148 ページのオプション・リストをお使いください。

- エラー・メッセージまたは問題の内容

注: エラー・メッセージが分かっていると、サービス技術員はこのメッセージから必要な処置を判断し、迅速に効率良く問題を対処できます。

149 ページの問題記録用紙をお使いください。

重要

保証期間中であっても、故障の原因がお客様による製品の誤用、事故、変更、不適切な物理環境または操作環境でのご使用、不適切なメンテナンスである場合、修理にかかる費用をご負担いただくこととなります。

修理サービス先の電話番号をここに書き留めておくと便利です。

お使いの ThinkPad に関する情報

オプション・リスト

DIMM

_____ MB

PC カード

ハードディスク・ドライブ _____ MB

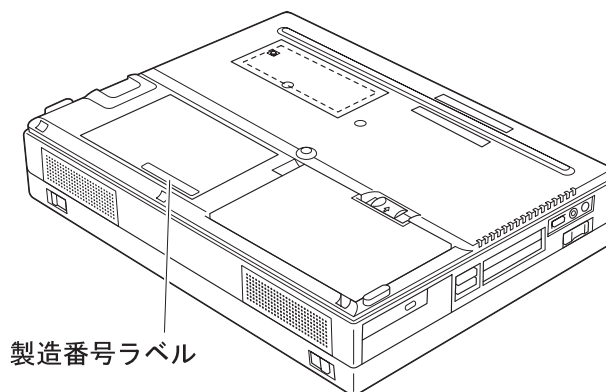
バッテリー・パック

外付けディスク・ドライブ

ID 番号の記録

製造番号のラベルは、ThinkPad 本体の底面にあります。機種と製造番号 (S/N) を次の欄に記録してください。

IBM 製品名	ThinkPad 380Z
機種	2635- _____
製造番号	_____



問題記録用紙

- ThinkPad の情報:

機種: _____

製造番号: _____

購入日: ___/___/___

- 問題のタイプ:

継続する問題 一時的な問題

- エラー・コード:

- オペレーティング・システムとバージョン番号 (ご存じの場合):

DOS バージョン _____

Windows NT バージョン _____

OS/2 バージョン _____

Windows 95 バージョン _____

Windows 3.1 バージョン _____

Windows 98 バージョン _____

- 問題発生時に実行していたアプリケーション・プログラム:

- 問題の症状:

問題の内容を具体的に記載してください。

- 問題を再現できましたか?

はい いいえ

「はい」の場合、どのようにして再現しましたか?

お使いの **ThinkPad** に関する情報

付録A. 製品仕様

本付録では、ThinkPad の機能と仕様について説明します。

機能

プロセッサ

- Intel® モバイル Pentium® II プロセッサ

メモリー

- 標準装備: 32 MB (最大: 96 MB まで増設可能)

ストレージ・デバイス

- アップグレード可能な 2.5 インチのハードディスク・ドライブ

ディスプレイ

TFT テクノロジー使用のカラー・ディスプレイ

- 本体 LCD で最大 1024x768 までの解像度
- 外付けディスプレイで最大 1280x1024 の解像度
- 輝度調節

キーボード

- 89 キー + **Fn** キー
- トラックポイント
- Fn キー機能

ディスケット・ドライブ

高品質のディスケット (IBM のディスケットなど) をご使用になることをお勧めします。

- **2 DD、3.5インチ・ディスケット**
- **2 HD、3.5インチ・ディスケット**

外部インターフェース

- シリアル・コネクタ (EIA-RS232D)
- パラレル・コネクタ (セントロニクス)
- 外付け入力装置コネクタ
- 外付けディスプレイ・コネクタ
- 拡張コネクタ
- PC カード・スロット (タイプ I またはタイプ II の PC カードを 2 枚、またはタイプ III の PC カードを 1 枚使用可能)
- ヘッドホン・ジャック
- マイクロホン/ライン入力ジャック (ダイナミック・マイクロホンまたはバッテリー電源コンデンサー・マイクロホン)
- 赤外線ポート
- 汎用シリアル・バス (USB) コネクタ

仕様

寸法

- 幅: 300 mm
- 奥行き: 233 mm
- 高さ: 62 mm

重量

バッテリー・パック付きの最大構成: 3.3 kg

環境

注:
バッテリー・パックを充電する場合、温度は 10°C 以上ある必要があります。
10°C より低い環境の温度で充電しても、フル充電されない場合があります。

- 温度 (高度 2,438 m 以下):
 - ディスケットが入っていない場合の動作時: 5° ~ 35°C
 - ディスケットが入っている場合の動作時: 10° ~ 35°C
 - 非動作時: 5° ~ 43°C
- 相対湿度:
 - ドライブにディスクが入っていない場合の動作時:
8% ~ 95%
 - ドライブにディスクが入っている場合の動作時:
8% ~ 80%
- 最大高度: 圧力を受けない状態で 3,048 m
 - 最大温度 (高度 3048 m): 31.3°C

発熱量

- 1 時間当たり約 48 Kcal

電源 (AC アダプター)

- 50 ~ 60 Hz での正弦波入力
- AC アダプターの定格入力: 100 ~ 240 V AC、50/60 Hz

リチウム・イオン・バッテリー・パック

- 公称電圧: 10.8 V DC
- 容量: 3.2 AH

仕様

付録B. 取り扱い上のヒント

ここで示す取り扱いに関する注意を守ること、ThinkPad をより長くお使いいただけます。

本付録では、ノート型パソコンの取り扱いに関する一般的な注意事項を紹介します。説明の中には、該当しないものもありますので、チェックリストで、ご使用のThinkPad に付属している物を確認してください。

ノート型パソコンは精密機器のため、取り扱いには注意が必要です。ThinkPad は、通常の操作環境では、問題なく動作するように設計され、テストされた丈夫なノート型パソコンですが、取り扱いには多少の注意が必要です。

次のことは行わないでください。

- ThinkPad を落とす、ぶつけるなど、物理的な衝撃を与える。
- ThinkPad の上に重い物を置く。
- ThinkPad の上に液体をこぼす。
- ThinkPad を水の近くや水中で使用する (感電の恐れがあります)。
- ThinkPad を荷物がいっぱい詰まったスーツケースやバッグに入れる (圧力で LCD が損傷する恐れがあります。)

LCD 上の引っかいたような汚れは、カバーが外から押されたときに、キーボード (トラックポイント・スティックも含む) から付いた汚れの可能性があります。そのような汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ります。汚れが取れない場合は、布に LCD クリーナーを付けてもう一度ふき取ります。その場合は、必ず LCD が乾いてから閉じてください。

- ThinkPad を分解する (ThinkPad を分解し、修理できるのは、専門の修理サービス技術者だけです)。
- ThinkPad の LCD の表面を引っかいたり、ねじったり、たたいたり、押ししたりする。
- LCD とキーボードの間に物を置く。
- LCD の部分を持って ThinkPad を持ち上げる (LCD が開いた状態で ThinkPad を持ち上げる場合は、底 (キーボード) 側を持ってください)。
- LCD を開いた状態または閉じた状態にしておくために、ラッチを改造したり、ラッチにテープを貼ったりする。
- AC アダプターが接続されているときに、ThinkPad を裏返す (アダプター・プラグが損傷する可能性があります)。
- ハードディスク・ドライブがデータにアクセスしているとき (インディケーターがオンになっているとき) は、ThinkPad を動かさないでください。
- 温度が 5° C 以下または 35° C 以上になる場所で、ThinkPad を使用または、保管する。
- モーター、磁石、テレビ、冷蔵庫、大型スピーカーなど、強い電磁波を発する電気器具から、13 cm 以内に ThinkPad を近づける。
- 激しく振動する場所、たとえば車内などに、ThinkPad を常置する。このような環境で使用できるモデルの情報については、(ThinkPad にとって厳しい環境 (156ページ) を参照してください。)
- ThinkPad から取り外している外付けまたは着脱式のハードディスク・ドライブ、ディスク・ドライブ、および CD-ROM ドライブなどを引っかいたり、落としたりする。
- ディスケット・ドライブや CD-ROM ドライブの中央部分を押す。
- ディスケットをディスク・ドライブに入れるときに、斜めに入れる (ディスクをまっすぐに入れないと、ドライブを損傷する恐れがあります)。
- ディスケットに複数のラベルを貼る (複数のラベルやとれかかったラベルは、ドライブ内ではがれたり破れたりして、引っかかってしまう可能性があります)。
- CD-ROM トレイのレンズに触れる
- CD-ROM の縁を持たずに表面に触れる。
- PBX (構内交換機) やその他のデジタル電話回線をモデムに接続する (一般に、PC カード・モデムには、PSTN (公衆交換電話網) のみをお使いいただけます。PSTN 以外の電話回線を使うと、モデムが損傷する可能性があります。お使いの電話回線が不明な場合は、電話会社にお問い合わせください。多くのホテルやオフィス・ビルは、デジタル電話回線を使っています。このような場所では、電話回線に接続する前に、必ず確認してください)。
- ThinkPad の操作中やバッテリーの充電中に、ThinkPad 本体をひざや身体の一部に長時間接触させる (通常の操作中、ThinkPad は少量の熱を発生します。この熱は、システム動作のレベルおよびバッテリー充電レベルによって変化します)。

次のことを行うようにしてください。

- CD-ROM ドライブやディスク・ドライブを使用しないときは、CD キャリング・ケースや外付けディスク・ドライブ取り付けキットに入れて保管する。

取り扱い上のヒント

- ハードディスク・ドライブ、ディスクット・ドライブ、および CD-ROM ドライブを取り付けるときは、本書の指示に従い、必要な部分のみを押すようにする。
- ThinkPad を、精密電子機器として取り扱う。
- ビニール袋などによる窒息の危険を回避するため、梱包材を、お子様の手の届かない場所に保管する。
- ThinkPad に関する最新情報を入手するために、定期的に IBM の Web ページをチェックする。(URL は <http://www.ibm.co.jp/pc/thinkpad/index.html>)

ThinkPad のお手入れ

ときどき ThinkPad を次のように手入れしてください。

- 中性洗剤を軽く含ませた柔らかい布で本体の外側をふく (クリーナーを直接 LCD やキーボードにスプレーしないでください)。
- LCD を、乾いた柔らかい布で軽くふく。

ThinkPad の携帯

ThinkPad を携帯するときは、次の指示に従って本体およびデータを損傷させないように注意してください。


- CD-ROM ドライブやディスクット・ドライブから CD-ROM やディスクットをすべて取り出してください。
- 本体に接続しているデバイスの電源をすべてオフにしてください。
- ThinkPad の電源をオフにするか、サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードに入ってから LCD を閉じます。サスペンド・モードのときはサスペンド・インディケーターがオンになっていて、電源がオフのときやハイバネーション・モードのときは電源表示ライトがオフになっていることを確認してください。
- 本体に外付けで接続しているケーブルやコード類をすべて抜いてください。
- ThinkPad のドア部分やカバーがすべて閉じていることを確認してください。
- 適度なクッションと保護の役目をする高品質のキャリング・ケースを使用してください。

ハードディスク・ドライブがデータにアクセスしているとき (インディケーターが点滅しているとき) は、ThinkPad を動かさないでください。ThinkPad を携帯するときは、インディケーターがオフになっていることを必ず確認してからにしてください。

バッテリーの寿命を長持ちさせるには

ThinkPad で消費される電力は、使用頻度、操作環境の温度、使用されない場合の期間などの条件によって変動します。次に示すヒントを守ることによって、バッテリーの寿命を長持ちさせることができます。

- 新しいバッテリーをはじめて充電する場合は、電池の化学的特性により、フル充電できないことがあります。バッテリー容量を最大限にするには、バッテリーの充放電 (フル充電後、完全に使いきる動作) を 3 回繰り返してください。これにより、バッテリーの性能が完全に発揮されます。バッテリーを数か月使用しなかった場合も、同じ処置をとってください。
- 電力が残っている間は、バッテリー・バックを充電しないでください。完全に放電されていないバッテリー・バックを再充電すると、バッテリーの寿命を短くします。
- いったんバッテリー・バックの充電を始めたら、フル充電されるまでバッテリー・バックを使わないでください。
- 可能な限り、ThinkPad の省電力機能を使うようにしてください。
 - スタンバイ
 - サスペンド
 - ハイバネーション

詳細情報  ステップ・アップ・ガイド

- LCD の輝度を抑えてください。
- 電源管理機能 (APM) を使用してください。各オペレーティング・システムには、専用の電源管理機能が付属しています。
- モデム、シリアル・ポート、赤外線ポートなどの内蔵シリアル・デバイスを使用していないときは、それらへの電源供給を停止してください。
- ThinkPad を長期間使用しない場合は、バッテリー・バックを取り外し、涼しい場所で保管してください。

ThinkPad にとって厳しい環境

モバイル・コンピューターを使って仕事をする人の中には、高温、高湿度、物理的な衝撃など、厳しい操作環境で情報を管理したり、通信しなければならない方もいます。たとえば建築現場作業、集配作業、修理サービス作業、公益事業などが、厳しい環境に耐えられるようなモバイル・コンピューターを必要とする作業の例と言えます。ThinkPad は、このような環境での使用を前提としたコンピューターではありません。

付録C. 特記事項

本書において、日本では発表されていない IBM 製品 (機械およびプログラム)、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのような IBM 製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBM ライセンス・プログラムまたは他の IBM 製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBM によって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBM および他社は、本書で説明する主題に関する特許権 (特許出願を含む)、商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用権等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用権等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032
東京都港区六本木 3 丁目 2-31
AP事業所
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

西暦 2000 年対応および説明

ある製品が 2000 年対応と言えるのは、その製品をその製品の説明書とともに使用したときに、1999 年と 2000 年にまたがる日付データの処理、引き渡し、および受け取りが正しくできる場合です。ただし、その製品で使用される他のすべての製品 (たとえば、ソフトウェア、ハードウェア、およびファームウェア) が、その製品と日付データを正確に交換できることが条件です。

特記事項

この IBM PC ハードウェア製品は、1999 年と 2000 年にまたがる 4 桁の日付情報を正しく処理するように設計されています。ご使用の IBM コンピューターが 1999 年から 2000 年に移る瞬間にオンになっている場合は、必ず、それをいったんオフにしてから、もう一度オンにするか、オペレーティング・システムを再起動して、内蔵クロックが新しい世紀に対応するためにリセットできるようにしてください。

この IBM PC 製品は、使用されているソフトウェアや、その製品とデータを交換しているソフトウェアが西暦 2000 年対応でない場合には、エラーの発生を防ぐことはできません。この製品に付属の IBM ソフトウェアは西暦 2000 年対応ですが、この製品に他社のソフトウェアが付属している場合もあります。IBM では、そのソフトウェアが西暦 2000 年に対応しているかについては保証はできません。西暦 2000 年に対応しているかの確認、制限事項の確認、またはソフトウェア更新について知りたい場合は、そのソフトウェアの開発者に連絡してください。

IBM PC 製品と西暦 2000 年対応のについて詳しく知りたい場合は、IBM の Web サイト (<http://www.ibm.co.jp/ad2000>) にアクセスしてください。そこで提供されている情報とツールが、西暦 2000 年の移行計画 (特に、複数の IBM PC をお持ちの場合) の手助けをします。IBM では、そこで提供している更新情報を定期的にチェックすることをお勧めします。

商標

次の用語は、米国およびその他の国における IBM 社の商標です。

IBM	PS/2
Operating System/2	RediSafe
OS/2	ThinkPad
PC Card Director	トラックポイント
	WIN-OS/2

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows 98、および Windows 95 のロゴは、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Intel®、Pentium®、および MMX™ は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標または登録商標です。

その他の会社名、製品名、およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

特記事項

この用語集には、*IBM Dictionary of Computing* (New York: McGraw-Hill, 1994)からの用語と定義を翻訳したものを掲載しています。

AC (ac). 交流。

AC 電源 (ac power). 電源コンセントから ThinkPad に供給される電力。

ANSI (American National Standards Institute). 米国規格協会。

APM. 電源管理機能 (Advanced Power Management (APM))

アプリケーション・プログラム (application program). ThinkPad 上でワード・プロセッシングやスプレッドシートの作成など特定のタスクを実行するプログラム。

ASCII (American National Standard Code for Information Interchange). 情報交換用米国標準コード。

ATA PC カード (ATA PC Card). 記憶装置 PC カードなどの、AT アタッチメント・ハードディスク・ドライブ・インターフェースを備えた PC カード。

AUTOEXEC.BAT (AUTOEXEC.BAT). DOS の始動プロシージャーが入っているファイル。ThinkPad が起動されるたびに、DOS はこのファイルに保存されている一連のコマンドを実行する。

バックアップ・コピー (backup copy). 通常、ファイルまたはファイル・グループの複写を指す。元のファイルが不注意で変更されたり破壊されたりした場合に備えて保管される。

BIOS (Basic Input/Output System) (基本入出力システム). ディスケット・ドライブ、

ハードディスク・ドライブおよびキーボードとの対話のような基本ハードウェア動作を制御するマイクロコード。

ビットマップ・グラフィックス (bitmap graphics). (1) ディスプレイ上のすべての点を直接アドレス指定できるグラフィックス形式。(2) マルチメディア・アプリケーションにおいて、イメージとして表示可能なコンピューターのメモリーや記憶装置中にあるグラフィックス形式。

再起動、ブート (boot). オペレーティング・システムをロードして、コンピューター・システムが作動する準備を行うこと。

bps. 1秒あたりのビット数。シリアル送信では、装置やチャンネルが文字を送信する、ある瞬間のビット速度。

バス (bus). 2 つの終端の間にある複数の装置間でデータを転送するための機能。それぞれの時点で、1 つの装置のみが送信を行うことができる。

キャッシュ・メモリー (cache memory). メイン・メモリーよりも小型で処理速度が速い特殊メモリー。プロセッサが次に要求しそうなメイン・メモリー内の命令やデータのコピーなどを一時的に保管しておくメモリー。

CD-I (Compact disc-interactive). 対話式コンパクト・ディスク。

組み合わせキー (combination keys). 同時に複数のキーを押すことにより、特定の機能を実行するキーの組み合わせ。

CONFIG.SYS (CONFIG.SYS). ファイルの一種であり、デバイス・ドライバをロードしたり、情報処理用にシステム・メモリーのスペースを確保したりする一連のコマンドが入っている。このファイルは、システム始動時に DOS によって参照、実行される。

構成 (configuration). (1) 情報処理システムのハードウェアおよびソフトウェアを編成して相互に接続した形態。(2) データ処理システムを構成する装置およびプログラムの物理的/論理的配置。(3) システム、サブシステムまたはネットワークを構成する装置やプログラム。

CRT (Cathode ray tube display). 陰極線管ディスプレイ。

デバイス・ドライバ (device driver). (1) デバイス (入出力装置) を接続して使用するために必要なコードが入っているファイル。オペレーティング・システムは、画面用、キーボード用、プリンター用、ディスク・ドライブ用、ハードディスク・ドライブ用およびその他の補助装置用にそれぞれデバイス・ドライバをロードする。(2) コンピューターが特定の周辺機器、たとえば、プリンター、ビデオ・ディスク・プレーヤー、CD ドライブなどと通信できるようにするプログラム。(3) 入出力装置とプロセッサ間のインターフェースを制御するサブルーチンの集合。

DIMM (Dual inline memory module). 拡張メモリーの種類。

ディレクトリー (directory). 他のファイルやディレクトリーの名前および制御情報が登録されているファイルの種類。

ディスク・ファクトリー. デバイス・ドライバとオペレーティング・システムのインストール・ディスクを作成するプリロード・プログラム。

DMA (Direct memory access). ディレクト・メモリー・アクセス。プロセッサの介入なしで行われるメモリーと入出力装置間のデータ転送。

ダブルクリック (double-click). 選択対象からポインターを離さずに、ユーザーが定義した時間の間隔内で、マウスのボタンを 2 回押しして離す動作。

DRAM (dynamic Random Access Memory).

DSP (Digital Signal Processor). デジタル・シグナル・プロセッサ。

ECP (Extended Capability Port).

EDO DRAM (Extended data output dynamic random access memory).

EGA (Enhanced graphics adapter). 拡張グラフィックス・アダプター。

EIA (Electronics Industries Association). 米国電子工業会。

EIA-232D (EIA-232D). EIA インターフェース規格。通信装置とそれに対するワークステーションを接続するインターフェース回線の物理的特性、電子的特性および機能特性を定義している。25ピン・コネクタと不平衡回線電圧が使用される。

EMS (Expanded memory specification). 拡張 (EMS) メモリー。

FAQ (Frequently asked questions). よく聞かれる質問。

ファックス (fax). (1) ファクシミリ機器。(2) ファクシミリ機器によって送信された文書。

FDD. フロッピー・ディスク・ドライブ。

固定 (fixed disk). パーソナル・コンピューター環境での固定ディスクは、ハードディスクのことを指す。

フラッシュ・メモリー (Flash memory). 電氣的に再書き込み可能な記憶装置。

フォルダー (folder). 文書を保存して編成するために使用されるファイル。

バッテリー・メーター (fuel gauge). バッテリー・パックの現在の電力残量を常時画面上に表示するインディケーター。

HHR (Half-horizontal resolution). 半水平解像度。

ハイバネーション (hibernation). ThinkPad の省電力機能の1つ。ThinkPad のメモリーで現在実行されているデータやアプリケーションをハードディスク上に保管する機能。ハイバネーションに入ると、電力を節約するために電源を自動的にオフにする。再び電源をオンにすると、オペレーティング・システムを再起動せずに、ハイバネーションに入ったときと同じデータとアプリケーションをただちにメモリー上に復元する。

高解像度モード (high-resolution mode). 640x480 ドットの解像度を上回るビデオ解像度。

アイコン (icon). 画面に表示される図形記号。トラックポイントやマウスなどのポインティング・デバイスでアイコンを指し示すことで、特定の機能やアプリケーションを選択、実行することができる。

IDE (Integrated device electronics). 統合装置エレクトロニクス。

IR (Infrared). 赤外線。

IrDA. Infrared data association

ISA (Industry standard architecture). 業界標準アーキテクチャー。

ISO (International Organization for Standardization). 国際標準化機構。

JEIDA (Japan Electronics Industry Development Association). 日本電子工業開発協会。

キロバイト (kilobyte (KB)). 1024 バイト。

LAN (Local area network). ローカル・エリア・ネットワーク。

LCD (Liquid crystal display). 液晶ディスプレイ。

MCI (Media Control Interface). メディア制御インターフェース。

メガバイト (megabyte (MB)). 1024キロバイト。約 100 万バイト。

メモリー (memory). 一般には、ランダム・アクセス・メモリー (RAM) のことを指し、キロバイト (KB) またはメガバイト (MB) などの情報単位で容量が示される。

MHz (Megahertz). メガヘルツ。

マイクロコード (microcode). 製品の中で使用される 1 つまたは複数のマイクロ命令の集合。プロセッサやその他のシステム構成要素の機能を実行するために、配線回路の代わりに使用される。

MIDI (Musical Instrument Digital Interface). 楽器デジタル・インターフェース。

モデム (modem). コンピューターを電話回線に接続して、別の場所にあるコンピューターと通信できるようにする装置。

パラレル・ポート (parallel port). 通常、プリンターや入出力装置などを接続するためのポート。データを 1 回に 1 バイトずつ送信する。

部分的サスペンド・モード (partial suspend mode). スタンバイ・モードの一種で、コンピューターが正常にサスペンド・モードに入れなかった場合に入るモード。このモードでは、電源オン・パスワードが設定されるとコンソールはロックされる。

パスワード (password). コンピューターの不正使用を規制するために指定する一連の文字または数字。

PC カード (PC Card). PCMCIA 規格に準拠しているカード。

ペル (pel). 画素。

パーソナライゼーション・エディター (Personalization Editor). 複数の ThinkPad が使用されている場所で個々の ThinkPad を識別したり、盗難から防止するのに役立つ機能。

画素 (picture element). コンピューター・グラフィックスでのディスプレイ表面の最小要素。個別に色および輝度を割り当てることができる。

ピクセル (pixel). 画素。

ポインティング・デバイス (pointing device). 画面上でポインターを移動させるために使用するマウス、トラックポイント、ジョイスティックなどの装置。

ポップアップ・メニュー (pop-up menu). デ스플레이画面上の特定のポイントに表示されるウィンドウ、またはメニュー。

ポート・リプリケーター (port replicator). 追加の PC カード・スロットやポートを提供することで、ThinkPad の機能を拡張するオプション。

POST (Power-on self-test). 始動時自己診断テスト。

省電力モード (power mode). 電力を節約するためのバッテリー操作モード。ThinkPad では、ハイ・パフォーマンス、オート、カスタマイズの 3 種類の省電力モードが使用できる。

プロンプト (prompt). プログラムがユーザーに何らかの応答を要求する場合に送付する、可視メッセージまたは可聴メッセージ。

プルダウン・メニュー (pull-down menu). 特定のポイントやラインまたは画面最上部の近くから画面下方に表示されるメニュー。

リブート (reboot). ThinkPad を再起動すること。電源オンと同じ効果がある。

レジューム (resume). サスペンド・モードから再び ThinkPad が通常の操作状態に戻ることに。

ROM (Read-only memory). 読み出し専用メモリー。

SDRAM (Synchronous Dynamic Random Access Memory).

シリアル・ポート (**serial port**). 表示装置、プリンター、モデム、プロッターや、ライト・ペンおよびマウスなどのポインティング・デバイスを接続するためのポート。データを 1 回に 1 ビットずつ送信する。

サスペンド (suspend). 電力消費を減らすために、ThinkPad のすべての操作を停止すること。

SVGA (Super Video Graphics Adapter).

TFT (Thin-film transistor).

トラックポイント (**TrackPoint**). ThinkPad の組み込み式ポインティング・デバイス。

TSRs (Terminate-and-stay-resident programs). 常駐プログラム。メモリーにロードされ、常時アクセスできるようにメモリー内にとどまるメモリー常駐プログラム。

USB (Universal serial bus). 汎用シリアル・バス。

垂直方向拡大機能 (**vertical expansion**). 文字表示モードでのビデオ表示技法で、垂直方向の文字ドット数を調節することによって、ビデオ・イメージを LCD 画面全体に合わせる方式。

VESA (Video Electronics Standards Association). ビデオ電子規格協会。

VGA (Video graphics array). ビデオ・グラフィックス・アレイ。最大 640x480 ドットまでの解像度の画像を生成するビデオ・モード。

VSYNC (Vertical synchronization frequency). 垂直同期波。

XMS (Extended memory specification). 拡張メモリー。

日本語、英字、数字、特殊文字の順に配列されています。なお、濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

〔ア行〕

安全に正しくお使いいただくために xii
位置

正面図 2

底面図 6

背面図 4

エラー・コード 113

エラー・メッセージ 113

オプションの問題 139

〔カ行〕

仮想画面機能 62

画面

設定 96

問題 119, 124

キーボードの機能

数値キーボード 16

トラックポイント 10

Fn キー 13

機能 151

クリーニング 156

携帯 156

〔サ行〕

最新のソフトウェアの入手方法 34

システム状況インディケータ 7

問題 125

始動パスワード

設定 76

変更または消去 80

要約 74

仕様 153

シリアル・コネクタ

設定 97

シリアル・ポート

問題 140

スーパーバイザー・パスワード

設定 76

変更または消去 82

要約 75

数値キーボード、設定

キーボード 16

外付け 54

赤外線ポート

設定 96

問題 127

外付けキーボード

設定 56

問題 120

外付け数値キーボード、設定 54

外付けディスプレイ

設定 59, 98

プラグアンドプレイ 99

問題 134

外付けマウス

設定 54, 98

問題 120

ソフトウェアの回復 145

ソフトウェアの再インストール 33, 102

ソフトウェアの問題 141

〔タ行〕

ディスクット・ファクトリー

要約 33

ディスプレイ

解像度 62

テスト 143

導入済みアプリケーション CD
 使用 145
 トラックポイント
 カスタマイズ 40
 キャップの交換 12
 使用可能または使用不可 58
 要約 10
 トラックポイントの感度 42
 取り扱い上のヒント 155

〔ナ行〕

入力装置の問題 120

〔ハ行〕

パーソナライゼーション・エディター
 削除 89
 設定 86
 ハードディスク
 アップグレード 49
 ハードディスク・ドライブのアップグレード
 49
 ハードディスク・ドライブ・パスワード
 設定 76
 変更または消去 80
 要約 74
 パスワード
 スーパーバイザー権限 84
 設定 76
 入力 76
 変更または消去 80
 要約 74
 バックアップ
 情報 33
 バッテリー
 交換 35
 バッテリーの寿命を最大長にする 101,
 156
 問題 125
 汎用シリアル・バス (USB) の問題 128
 プリンターの問題 133
 プレス・セレクト、トラックポイント 40

ポート・リプリケーター
 情報 70
 問題 137

〔マ行〕

メモリー
 取り付け 44
 取り外し 47
 要約 43
 モデム、PC カード 68
 問題
 問題判別ガイド 111
 問題判別
 インディケータの問題 125
 エラー・コードまたは画面上のメッセージ
 113
 エラー・コードまたは画面上のメッセージ
 で表示されない問題 119
 サスペンドの問題 121
 赤外線通信の問題 127
 外付けディスプレイの問題 134
 その他のオプションの問題 139
 その他の問題 142
 ソフトウェアの問題 141
 入力装置の問題 120
 ハイバネーション機能の問題 121
 バッテリーの問題 125
 汎用シリアル・バス (USB) の問題 128
 プリンターの問題 133
 ポート・リプリケーターの問題 137
 CD-ROM ドライブの問題 126
 LCD の問題 124
 PC カードの問題 128

〔ラ行〕

リカバリー CD
 使用 145
 ロック
 セキュリティー・システム 90
 パスワード 74

C

CD-ROM
 問題 126
CD-ROM ドライブ、使用 17
ConfigSafe 34

E

Easy-Setup 20

F

Fn キーの組み合わせ 14

L

LCD 問題 124

P

PC カード
 挿入 64
 取り外し 67
 問題 128
 PC カード・モデム、使用 68
Product Recovery CD-ROM
 要約 33

T

ThinkPad 機能設定プログラム 29
 Windows NT のウィンドウ 31
 Windows 98 のウィンドウ 30
ThinkPad にとって厳しい環境 156

IBM

部品番号: 27L2685

Printed in Japan



27L2685

Grid Definitions

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
NNTE	C79EPSET	i	xiii, 21, 29, 30, 44, 54, 59, 64, 68, 103, 103, 103, 104, 104, 105, 106, 153
NINDEX	C79EPSET	i	
IDEX	C79EPSET	i	

Table Definitions

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
SOFT	C79EPSET	i	
SHAD	C79EPSET	i	153
AX2	C79EPSET	i	155, 156
AX	C79EPSET	i	
THEAD	C79EPSET	i	
BOX	C79EPSET	i	18, 61, 65, 70, 71
BOX2	C79EPSET	i	12, 13, 21, 22, 47, 79
NTE	C79EPSET	i	10, 11, 15, 16, 16, 23, 23, 24, 29, 35, 41, 46, 49, 51, 53, 55, 58, 61, 61, 62, 62, 63, 64, 67, 70, 70, 71, 77, 78, 79, 81, 84, 87, 88, 90, 144
SYMBL	C79EPLOC	8	8, 8, 8
TBL0	C79EPLOC	8	9
TBL1	C79EPLOC	8	8
FNKEY	C79EPFNK	14	14, 14, 15
INT	C79EPFNK	14	14, 14, 15
NNTE	UGDEP3ES	25	25, 25
INTN	UGDEP3ES	25	25
2PCOL	UGDEPPNT	54	54, 56
HEAD	C79EP3DI	62	62
BASE	C79EP3DI	63	63
TTABLE	UGCOMTSG	63	63

&

COV	UGCOMTSG	111	111, 111
TROUBLE	C79EPTSC	111	111, 111
SERIALT	UGDEPSE	113	113, 119, 120, 121, 124, 125, 125, 126, 127, 128, 128, 133, 134, 137, 139, 141, 142
SERIALF	UGDEPSE	148	148, 148, 148
SERIALH	UGDEPSE	148	148
		148	

Headings

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
SINF	C79EPMST SCRIPT	xii	安全に正しくお使いいただくために ii
LASER	C79EPMST SCRIPT	xv	レーザーに関する承諾事項
FAMIL	C79EPMST SCRIPT	1	第1章, ご使用の ThinkPad について
LOCT	C79EPMST SCRIPT	2	各部の機能と名称
STATUS	C79EPLOC	7	システム状況インディケータ 3, 5, 5
PTGSTK	UGDEPKBD	10	トラックポイント
HKFUN	C79EPFNK	13	Fn キー機能
EMBPAD	UGCOMNUK	16	数値キーパッド 3, 8
CDROM	C79EPMST SCRIPT	17	CD-ROM ドライブ
TU	C79EPMST SCRIPT	20	ThinkPad ユーティリティ・プログラム
EASYS	C79EPMST SCRIPT	20	Easy-Setup 142
TPFUN	C79EPMST SCRIPT	29	ThinkPad 機能設定プログラム 13, 58, 60
BKUPSYS	C79EPMST SCRIPT	33	システムのバックアップ
WEB	UGCOMBAK	34	最新のソフトウェアの入手方法
RMVBTT	C79EPMST SCRIPT	35	バッテリー・バックの交換 49, 53
SYSP	C79EPMST SCRIPT	39	第2章, ThinkPad のカスタマイズ
CUSTMT	C79EPMST SCRIPT		

		40	トラックポイントのカスタマイズ 10, 12
EXMEM	C79EPMST SCRIPT	43	メモリーの増設
RHDD	C79EPMST SCRIPT	49	ハードディスク・ドライブのアップグレード 5
ATNUM	C79EPMST SCRIPT	54	マウス、数値キーパッド、および外付けキーボードの接続
SMOUSE	C79EPMST SCRIPT	58	トラックポイントの使用不可 55
DISPLY	C79EPMST SCRIPT	59	外付けディスプレイの接続
DSVGA	C79EP3DI	62	解像度、色数、およびリフレッシュ・レート 61
INSTCA	C79EPMST SCRIPT	64	PC カードの取り付け v
MPCC	C79EPUPC	68	PC カード・モデム (オプション) の取り付け
CBSOCK	UGCOMUPR	72	CardBus スロットを使用可能にするには (Windows 98 の場合)
SECUR	C79EPMST SCRIPT	73	第3章, システムの保護
PASSWRD	UGCOMSEC	74	パスワードの使用 24
ENTPASS	UGCOMSEC	76	パスワードの入力
SETPASS	UGCOMSEC	76	パスワードの設定 117, 117, 119
REMPop	UGCOMSEC	80	パスワードの変更または消去
PERS	UGCOMSEC	86	パーソナライゼーション・エディターの使用
KENSIN	C79EPMST SCRIPT	90	ロック機能の使用
SCREW	C79EPMST SCRIPT	91	セキュリティーねじの使用 5, 53
SOLV	C79EPMST SCRIPT	93	第4章, 問題が起こったら...
QANDA	C79EPMST SCRIPT	94	よく聞かれる質問とその答え
RNL05	UGCOMLIM	109	2 枚目の CardBus カードの使用
CHARTS	C79EPMST SCRIPT	112	問題判別表 111
ECODES	C79EPTSC	113	エラー・コードまたは画面上のメッセージ 112
PRB2	C79EPTSC	119	エラー・コードまたは画面上のメッセージで表示されない問題 112
INP	C79EPTSC		

		120	入力装置の問題 112
SAVEP	C79EPTSC	121	サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードの問題 112
LCDPR	C79EPTSC	124	液晶ディスプレイ (LCD) の問題 112
INDPRB	C79EPTSC	125	インディケータの問題 112
BATPRB	C79EPTSC	125	バッテリーの問題 112
CDPRB	C79EPTSC	126	CD-ROM ドライブの問題 112
IRPRB	C79EPTSC	127	赤外線通信の問題 112
USBPRB	C79EPTSC	128	汎用シリアル・バス (USB) の問題 112
PCPRB	C79EPTSC	128	PC カードの問題 112
PRNPRB	C79EPTSC	133	プリンターの問題 112
EXTDIS	C79EPTSC	134	外付けディスプレイの問題 112, 119
PRPRB	C79EPTSC	137	ポート・リプリケータの問題 112
OOPPRB	C79EPTSC	139	その他のオプションの問題 112
SFTPRB	C79EPTSC	141	ソフトウェアの問題 112
GENPR	C79EPTSC	142	その他の問題 112
TESTS	C79EPMST SCRIPT	143	ThinkPad のテスト 28, 111, 128
RCD	C79EPMST SCRIPT	145	削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復 33, 111
RECOVCD	C79EPRCD	145	リカバリー CD の使用 33, 102
FACT	C79EPRCD	145	導入済みアプリケーション CD の使用 33
SERVICE	C79EPMST SCRIPT	147	第5章, サービス体制 111

&

INFOR	UGDEPSE	148	お使いの ThinkPad に関する情報 147
RECID	UGDEPSE	148	ID 番号の記録
PRBSEET	UGDEPSE	149	問題記録用紙 147
SPECIF	C79EPMST SCRIPT	151	付録A, 製品仕様 121
FTRS	C79EPSPC	151	機能
SPECS	C79EPSPC	153	仕様
CARE	C79EPMST SCRIPT	155	付録B, 取り扱い上のヒント ii
NOTIC	C79EPMST SCRIPT	157	付録C, 特記事項 ii
TRADEM	UGCOMNT1	158	商標
GLOSS	C79EPMST SCRIPT	161	用語集

Index Entries

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
SYSIN	C79EPLOC	7	(1) システム状況インディケータ

List Items

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
PULLC	C79EPRBP	37	7
05	UGCOMSEC	81	4 80
COM	UGCOMSEC	82	7
CHANS	UGCOMSEC	83	8 82
SET	UGCOMSEC	89	10 88
OPSYS	C79EPTSC	113	5 113

&

TOTCOMP	C79EPTSC	113	7	
				113
RSTAT	C79EPTES	143	1	

Revisions

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
FIRST	C79EPSET	i	5, 5, 10, 10, 15, 15, 25, 25, 26, 26, 27, 27, 29, 29, 30, 30, 31, 31, 35, 35, 37, 37, 40, 40, 40, 40, 46, 46, 47, 47, 49, 49, 53, 53, 55, 55, 58, 58, 60, 60, 61, 61, 61, 61, 62, 63, 64, 64, 65, 65, 66, 66, 66, 66, 70, 70, 70, 70, 71, 71, 72, 72, 72, 72, 75, 75, 87, 87, 88, 88, 96, 96, 96, 96, 97, 97, 99, 99, 99, 100, 101, 101, 155, 155, 163, 163
SEC	C79EPSET	i	12, 12, 22, 22, 22, 22, 70, 70, 71, 71, 75, 75, 113, 114, 114, 114, 115, 115, 116, 116, 120, 120, 140, 140, 151, 151, 151, 151, 155, 155, 156, 156
APP	C79EPSET	i	
EDIT	C79EPSET	i	iv, iv, v, v, 29, 29, 30, 30, 51, 51, 58, 58, 68, 68, 99, 99, 100, 100, 104, 104, 124, 124, 127, 127, 135, 135, 136, 136, 136, 136, 136, 136, 136, 138, 138, 155, 155, 156, 156

Spots

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
SAFE	UGCOMSAF		
IRPORT	C79EPLOC	xiv	(no text)
BACK	C79EPLOC	3	(no text)
VOLCON	C79EPLOC	4	(no text)
PRINX	C79EPLOC	5	(no text)
SYSST	C79EPLOC	5	(no text)
STKP	UGDEPKBD	7	(no text)
HKFN	C79EPFNK	10	(no text)
CDRD	C79EPROM	13	(no text)
		17	(no text)

&

STUP	UGDEP3ES	24	(no text)
MEMTES	UGDEP3ES	28	(no text)
			46
REPACK	C79EPRBP	35	(no text)
MEMSPT	C79EPMEM	43	(no text)
DIMM	C79EPMEM	44	(no text)
			46
DISTP	UGCOMDTP	58	(no text)
SRES	C79EP3DI	62	(no text)
SECC	C79EPMST SCRIPT	73	(no text)
SOLVE	C79EPMST SCRIPT	93	(no text)
FAQ01	C79EPFAQ	96	(no text)
			94
FAQ02	C79EPFAQ	96	(no text)
			94
FAQ03	C79EPFAQ	97	(no text)
			94
FAQ04	C79EPFAQ	98	(no text)
			94
FAQ05	C79EPFAQ	98	(no text)
			94
FAQ06	C79EPFAQ	99	(no text)
			94
FAQ07	C79EPFAQ	101	(no text)
			94
FAQ08	C79EPFAQ	102	(no text)
			94
FAQ09	C79EPFAQ	102	(no text)
			94
E7777	C79EPTSC	118	(no text)
HIBP	C79EPTSC	121	(no text)
DISST	C79EPTSC	125	(no text)
PCPRBS	C79EPTSC	128	(no text)
OPTION	C79EPTSC	139	(no text)
SOFT	C79EPTSC	141	(no text)

&

IDNUM	UGDEPSE	148	(no text)
FSPC	C79EPSPC	151	(no text)
RUGG	C79EPUSE	156	ThinkPad にとって厳しい環境 155
BIT	UGCOMGLO	161	(no text)

Processing Options

Runtime values:

Document fileid	C79EPMST SCRIPT
Document type	USERDOC
Document style	YMHWART8
Profile	EDFPRF40
Service Level	0028
SCRIPT/VS Release	4.0.0
Date	98.08.12
Time	14:21:52
Device	PSA
Number of Passes	3
Index	YES
SYSVAR G	INLINE
SYSVAR X	YES

Formatting values used:

Annotation	NO
Cross reference listing	YES
Cross reference head prefix only	NO
Dialog	LABEL
Duplex	YES
DVCF conditions file	(none)
DVCF value 1	(none)
DVCF value 2	(none)
DVCF value 3	(none)
DVCF value 4	(none)
DVCF value 5	(none)
DVCF value 6	(none)
DVCF value 7	(none)
DVCF value 8	(none)
DVCF value 9	(none)
Explode	NO
Figure list on new page	YES
Figure/table number separation	YES
Folio-by-chapter	NO
Head 0 body text	(none)
Head 1 body text	第
Head 1 appendix text	付録
Hyphenation	NO
Justification	NO
Language	JAPA
Keyboard	395

&

Layout OFF
Leader dots YES
Master index (none)
Partial TOC (maximum level) (none)
Partial TOC (new page after) INLINE
Print example id's NO
Print cross reference page numbers YES
Process value (none)
Punctuation move characters (none)
Read cross-reference file (none)
Running heading/footing rule NONE
Show index entries NO
Table of Contents (maximum level) (none)
Table list on new page YES
Title page (draft) alignment LEFT
Write cross-reference file (none)

Imbed Trace

Page 0	C79EPSET
Page 0	C79EPSYM
Page ii	C79EPINT
Page iv	C79EPHIG
Page x	C79EPATB
Page x	UGCOMICN
Page xii	UGCOMSAF
Page xv	C79EPLAS
Page 2	C79EPLOC
Page 10	C79EPHRD
Page 10	UGDEPKBD
Page 13	C79EPFNK
Page 16	UGCOMNUK
Page 17	C79EPROM
Page 20	UGDEP3ES
Page 29	UGDEP3TF
Page 33	UGCOMBAK
Page 35	C79EPRBP
Page 40	UGCOMTRP
Page 43	C79EPMEM
Page 49	C79EPHDD
Page 54	UGDEPPNT
Page 58	UGCOMDTP
Page 59	C79EP3DI
Page 64	C79EPUPC
Page 70	UGCOMUPR
Page 73	UGCOMSEC
Page 90	UGDEPLOK
Page 91	C79EPUSS
Page 94	C79EPFAQ
Page 103	UGCOMLIM
Page 111	UGCOMTSG
Page 112	C79EPTSC
Page 143	C79EPTES
Page 145	C79EPRCD

&

Page 147	UGDEPSE
Page 151	C79EPSP
Page 155	C79EPUSE
Page 157	UGCOMNT1
Page 161	UGCOMGLO
Page 165	DBCS DSMDBIX